

平成 24 年 1 月 30 日 (月)  
社会保障審議会人口部会  
開始時解禁

平成 24 年 1 月 30 日

【照会先】

国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部  
部長 金子隆一 第 3 室長 石井 太  
(代表電話) 03 (5253) 1111 (内線 4470・4471)  
(直通電話) 03 (3595) 2984

報道関係者 各位

## 日本の将来推計人口(平成 24 年 1 月推計)

平成 72(2060)年の人口は 8,674 万人、65 歳以上人口割合は 39.9%

国立社会保障・人口問題研究所は、平成 22 年国勢調査の確定数が公表されたことを受けて、これを出発点とする新たな全国将来人口推計(日本の将来推計人口)を行いましたので、その結果を公表します。

日本の将来推計人口とは、全国の将来の出生、死亡、ならびに国際人口移動について仮定を設け、これらに基づいてわが国の将来の人口規模ならびに男女・年齢構成の推移について推計を行ったものです(対象は外国人を含めた日本に在住する総人口)。複数の仮定に基づく複数の推計によって将来の人口推移について一定幅の見通しを与えています。今回の推計では、平成 22(2010)年までの実績値をもとにして、平成 72(2060)年までの人口について推計しました(参考推計は平成 122(2110)年まで)。

### 【推計結果のポイント】

#### 1 今後わが国では人口減少が進み、平成 72(2060)年の推計人口は 8,674 万人

・今後わが国の人口は減少する見通しであり、平成 22(2010)年国勢調査による 1 億 2,806 万人から、平成 42(2030)年に 1 億 1,662 万人となり、平成 60(2048)年には 1 億人を割って 9,913 万人となり、平成 72(2060)年には 8,674 万人になるものと推計される(ただし、出生中位(死亡中位)推計による。以下同様)。したがって、平成 72(2060)年までの 50 年間で、人口は 4,132 万人(当初人口の 32.3%)の減少が見込まれる。(p.1)

・同推計期間に、年少人口(0-14 歳人口)は当初の 1,684 万人から 791 万人へと 893 万人(当初人口の 53.0%)の減少、生産年齢人口(15-64 歳人口)は 8,173 万人から 4,418 万人へと 3,755 万人(同 45.9%)の減少が見込まれる。これに対し老年人口(65 歳以上人口)は 2,948 万人から 3,464 万人へと 516 万人(同 17.5%)増加する。(p.2~3)

#### 2 人口高齢化が進行し、平成 72(2060)年の 65 歳以上人口割合は 39.9%

・同推計期間に、年少人口割合は当初の 13.1%から 9.1%へと 4.0 ポイントの減少、生産年齢人口割合は 63.8%から 50.9%へと 12.9 ポイントの減少が見込まれる。これに対し老年人口割合は 23.0%から一貫して上昇し、平成 72(2060)年には 39.9%へと 16.9 ポイント増加する。(p.2~3)

#### 3 長期仮定、合計特殊出生率は 1.35、平均寿命は男性 84.19 年、女性 90.93 年

・推計の前提となる合計特殊出生率は、平成 22(2010)年 1.39 から途中平成 36(2024)年に最低値 1.33 を経て、長期的には 1.35 に収束する。平均寿命は、平成 22(2010)年男性 79.64 年、女性 86.39 年から伸長し、平成 72(2060)年に男性 84.19 年、女性 90.93 年に到達する。

(p.7~9)

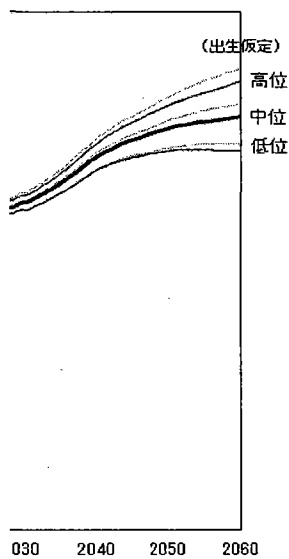
## 「日本の将来推計人口（平成 24 年 1 月推計）」の訂正について

1 月 26 日に実施した事前レクにて配布した資料に以下の通り誤りがありましたので訂正致します。

- 19 頁 図 1-2 グラフの右外の「高位・中位・低位」の順番

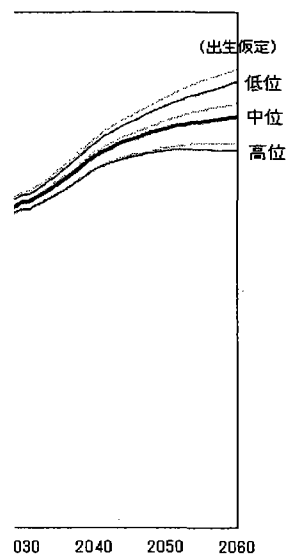
<誤>

の推移  
推計 —



<正>

の推移  
推計 —



- 43 頁 囲み内 2 行目

<誤> 平成 122(2100)年について参考推計を行った。

<正> 平成 122(2110)年について参考推計を行った。

[担当] 国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部  
部長 金子隆一 第3室長 石井太  
(代表電話) 03(5253)1111 (内線 4470・4471)  
(直通電話) 03(3595)2984

# 日本の将来推計人口 (平成24年1月推計)

————— 平成23(2011)年～平成72(2060)年 —————  
附：参考推計 平成73(2061)年～平成122(2110)年

---

## I 日本の将来推計人口について

### II 推計結果の概要

〔出生3仮定（死亡中位仮定）の推計結果〕

1. 総人口の推移
2. 年齢3区分別人口規模、および構成の推移
3. 従属人口指数の推移
4. 人口ピラミッドの変化

〔出生中位仮定（死亡高位・低位仮定）の推計結果〕

1. 死亡高位仮定による推計結果の概要
2. 死亡低位仮定による推計結果の概要

〔出生高位・低位仮定（死亡高位・低位仮定）の推計結果〕

### III 推計方法の概要

1. 基準人口
2. 出生率、および出生性比の仮定
3. 生残率の仮定（将来生命表）
4. 国際人口移動率（数）の仮定

《結果および仮定の要約》

《出生3仮定（死亡中位）推計結果》

《出生中位（死亡高位・低位）推計結果》

《各種推計結果比較》

《仮定値》

《参考推計結果》



## 日本の将来推計人口（平成 24 年 1 月推計）

国立社会保障・人口問題研究所は、平成 22 年国勢調査の人口等基本集計結果、ならびに同年人口動態統計の確定数が公表されたことを踏まえ、これら最新実績値に基づいた新たな全国将来人口推計を行った。以下、その概要を報告する。本推計は旧人口問題研究所時代を含め、同研究所による全国将来推計人口の公表としては 14 回目にあたる。

### I 日本の将来推計人口について

日本の将来推計人口とは、全国の将来の出生、死亡、ならびに国際人口移動について仮定を設け、これらに基づいてわが国の将来の人口規模、ならびに年齢構成等の人口構造の推移について推計を行ったものである。将来の出生、死亡等の推移は不確実であることから、本推計では複数の仮定に基づく複数の推計を行い、これらにより将来の人口推移について一定幅の見通しを与えるものとしている。

推計の対象は、外国人を含め、日本に常住する総人口とする。これは国勢調査の対象と同一の定義である。推計の期間は、平成 22(2010)年国勢調査を出発点として、平成 72(2060)年までとし、各年 10 月 1 日時点の人口について推計する。ただし、参考として平成 122(2110)年までの人口（各年 10 月 1 日時点）を計算して附した。

推計の方法は、人口変動要因である出生、死亡、国際人口移動について男女年齢別に仮定を設け、コーホート要因法により将来の男女別年齢別人口を推計した。仮定の設定は、それぞれの要因に関する実績統計に基づき、人口統計学的な投影手法によって行った（詳しくは「III 推計方法の概要」参照）。

### II 推計結果の概要

日本の将来推計人口では、将来の出生推移・死亡推移についてそれぞれ中位、高位、低位の 3 仮定を設け、それらの組み合わせにより 9 通りの推計を行っている。以下では、まず出生 3 仮定と死亡中位仮定を組み合わせた 3 推計の結果の概要について記述し、次いで出生 3 仮定と死亡高位、および死亡低位とを組み合わせた結果の概要について記述する。なお、以下の記述では各推計はその出生仮定と死亡仮定の組み合わせにより、たとえば出生中位（死亡中位）推計などと呼ぶことにする。

〔出生 3 仮定（死亡中位仮定）の推計結果〕

#### 1. 総人口の推移

人口推計の出発点である平成 22(2010)年の日本の総人口は同年の国勢調査によれば 1 億 2,806 万人であった。出生中位推計の結果に基づけば、この総人口は、以後長期の人口減少過程に入る。平成 42(2030)年の 1 億 1,662 万人を経て、平成 60(2048)年には 1 億人を割って 9,913 万人となり、平成 72(2060)年には 8,674 万人になるものと推計される（表 1-1、図 1-1）。

出生高位推計によれば、総人口は平成 66(2054)年に 1 億人を割って 9,962 万人となり、平成 72(2060)年に 9,460 万人になるものと推計される（表 1-2、図 1-1）。

一方、出生低位推計では平成 56(2044)年に 1 億人を割り、平成 72(2060)年には 7,997 万人になるものと推計される（表 1-3、図 1-1）。

## 2. 年齢 3 区分別人口規模、および構成の推移

### (1) 年少（0～14 歳）人口、および構成比の推移

出生数（日本人）は昭和 48 年(1973)年の 209 万人から平成 22(2010)年の 107 万人まで減少してきた。その結果、年少(0～14 歳)人口（外国人を含む総人口）も 1980 年代初めの 2,700 万人規模から平成 22(2010)年国勢調査の 1,684 万人まで減少した。

出生中位推計の結果によると、年少人口は平成 27(2015)年に 1,500 万人台へと減少する（表 1-1、図 1-3）。その後も減少が続き、平成 58(2046)年には 1,000 万人を割り、平成 72(2060)年には 791 万人の規模になるものと推計される。

出生高位ならびに低位推計によって、今後の出生率仮定の違いによる年少人口の傾向をみると、出生高位推計においても、年少人口は減少傾向に向かい、平成 72(2060)年には 1,087 万人となる（表 1-2）。出生低位推計では、より急速な年少人口の減少が見られ、平成 42(2030)年に 1,000 万人を割り、平成 72(2060)年には 562 万人となる（表 1-3）。

こうした年少人口の減少を総人口に占める割合によって見ると、出生中位推計によれば、平成 22(2010)年の 13.1%から減少を続け、平成 37(2025)年に 11.0%となった後、平成 56(2044)年に 10%台を割り、平成 72(2060)年には 9.1%となる（表 1-1、図 1-4）。

出生高位推計では、年少人口割合の減少はやや緩やかで、平成 25(2013)年に 13%台を割り、平成 72(2060)年に 11.5%となる（表 1-2）。

出生低位推計では、年少人口割合の減少は急速で、平成 24(2012)年に 13%台を割り、平成 36(2024)年に 10%台を割り込んだ後、平成 72(2060)年に 7.0%となる（表 1-3）。

### (2) 生産年齢（15～64 歳）人口、および構成比の推移

生産年齢人口（15～64 歳）は戦後一貫して増加を続け、平成 7(1995)年の国勢調査では 8,726 万人に達したが、その後減少局面に入り、平成 22(2010)年国勢調査によると 8,173 万人となっている。

将来の生産年齢人口は、出生中位推計の結果によれば、平成 25(2013)年、平成 39(2027)年、平成 63(2051)年にはそれぞれ 8,000 万人、7,000 万人、5,000 万人を割り、平成 72(2060)年には 4,418 万人となる（表 1-1、図 1-3）。

出生高位ならびに低位推計では、生産年齢人口は平成 37(2025)年までは中位推計と同一である。その後の出生仮定による違いをみると、高位推計では生産年齢人口の減少のペースはやや遅く、平成 70(2058)年に 5,000 万人を割り、平成 72(2060)年には 4,909 万人となる（表 1-2）。低位推計では、生産年齢人口はより早いペースで減少し、平成 59(2047)年に 5,000 万人を割り、平成 72(2060)年には 4,000 万人をも割り込んで、3,971 万人となる（表 1-3）。

出生中位推計による生産年齢人口割合は、平成 22(2010)年の 63.8%から減少を続け、平成 29(2017)年には 60%台を割った後、平成 52(2040)年に現在の水準よりおよそ 10 ポイント低い 53.9%を経て、平成 72(2060)年には 50.9%となる（表 1-1、図 1-4）。

出生高位推計においても、生産年齢人口割合は当初から一貫して減少を示し、平成

72(2060)年には中位推計結果より1ポイント高い51.9%となる。

出生低位推計では、生産年齢人口割合の減少は年少人口の急速な減少にともなって一定の期間は相対的に緩やかとなるため60%台を割るのは中位推計より1年遅い平成30(2018)年である。しかし、その後に減少は加速し、平成72(2060)年には49.7%と中位推計より1.2ポイント低くなる。

### (3) 老年(65歳以上)人口、および構成比の推移

老年(65歳以上)人口の推移は、死亡仮定が同一の場合、50年間の推計期間を通して出生3仮定で同一となる。すなわち、老年人口は平成22(2010)年現在の2,948万人から、団塊世代が参入を始める平成24(2012)年に3,000万人を上回り、平成32(2020)年には3,612万人へと増加する(表1-1、表1-2、表1-3、図1-3)。その後しばらくは緩やかな増加期となるが、平成45(2033)年に3,701万人となった後、第二次ベビーブーム世代が老年人口に入った後の平成54(2042)年に3,878万人でピークを迎える。その後は一貫した減少に転じ、平成72(2060)年には3,464万人となる。

老年人口割合を見ると、平成22(2010)年現在の23.0%から、出生3仮定推計とも平成25(2013)年には25.1~2%で4人に1人を上回り、その後出生中位推計では、平成47(2035)年に33.4%で3人に1人を上回り、50年後の平成72(2060)年には39.9%、すなわち2.5人に一人が老年人口となる(表1-1、図1-2)。

出生高位推計では、平成49(2037)年に33.3%で3人に1人となり、平成72(2060)年には36.6%、すなわち2.7人に一人が老年人口である(表1-2、図1-2)

また、出生低位推計では、平成45(2033)年に33.3%で3人に1人となり、平成72(2060)年には43.3%、すなわち2.3人に一人が老年人口となる(表1-3、図1-2)

将来の出生水準の違いによる高齢化の程度の差を、出生高位と出生低位の推計結果の比較によってみると、平成42(2030)年には出生低位推計では32.3%、出生高位推計では30.9%と1.4ポイントの差があるが、この差はその後さらに拡大し、平成72(2060)年には、出生低位43.3%、出生高位36.6%と6.7ポイントの差が生じる(図1-2)。

すでに見たように老年人口自体の増加は、平成32(2020)年頃より減速し、平成54(2042)年をピークにその後減少するにもかかわらず、出生中位仮定・低位仮定で向こう50年間老年人口割合が増加を続けるのは、年少人口、ならびに生産年齢人口の減少が続くことによる相対的な増大が続くからである。

### 3. 従属人口指数の推移

生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の相対的な大きさを比較し、生産年齢人口の扶養負担の程度を大まかに表すための指標として従属人口指数がある。出生中位推計に基づく老年従属人口指数(生産年齢人口100に対する老年人口の比)は、平成22(2010)年現在の36.1(働き手2.8人で高齢者1人を扶養)から平成34(2022)年に50.2(同2人で1人を扶養)へ上昇し、平成72(2060)年には78.4(同1.3人で1人を扶養)となるものと推計される(表1-4)。一方、年少従属人口指数(生産年齢人口100に対する年少人口の比)は、平成22(2010)年現在の20.6(働き手4.9人で年少者1人を扶養)の水準から今後17~20の水準の範囲で推移する。低出生率によって年少人口が減少するにもかかわらず、平成41(2029)年頃より年少従属人口指数が一定水準以下に低下しないのは、生産年齢人口も同時に減少していくからである。

年少従属人口指数と老年従属人口指数を合わせた値を従属人口指数と呼び、生産年齢人口に対する年少・老年人口全体の扶養負担の程度を表す。出生中位推計における従属人口指数は、生産年齢人口の縮小傾向のもとで、平成 22(2010)年現在の 56.7 から平成 49(2037)年に 80.0 に上昇し、その後平成 72(2060)年に 96.3 に達する。

出生高位推計における従属人口指数は、出生中位推計に比べ年少従属人口指数が高いため当初これより高く推移するが、平成 56(2044)年以降は逆転し、平成 72(2060)年には 92.7 となる。逆に出生低位推計における従属人口指数は、当初出生中位推計の同指標より低く推移するが、平成 55(2043)年に逆転し、平成 72(2060)年には 101.4 に達する。

#### 4. 人口ピラミッドの変化

日本の人口ピラミッドは、過去における出生数の急増減、たとえば昭和 20(1945)～21(1946)年終戦にともなう出生減、昭和 22(1947)～24(1949)年の第1次ベビーブーム、昭和 25(1950)～32(1957)年の出生減、昭和 41(1966)年の丙午（ひのえうま）の出生減、昭和 46(1971)年～49(1974)年の第2次ベビーブームとその後の出生減などにより、著しい凹凸を持つ人口ピラミッドとなっている（図 1-5(1)）。

平成 22(2010)年の人口ピラミッドは第1次ベビーブーム世代が 60 歳代の前半、第2次ベビーブーム世代が 30 歳代後半にあるが、出生中位推計によってその後の形状の変化を見ると、平成 42(2030)年に第1次ベビーブーム世代は 80 歳代の前半、第2次ベビーブーム世代は 50 歳代後半となる。したがって、平成 42(2030)年頃までの人口高齢化は第1次ベビーブーム世代が高年齢層に入ることを中心とするものであることがわかる（図 1-5(2)）。

その後、平成 72(2060)年までの高齢化の進展は、第2次ベビーブーム世代が高年齢層に入るとともに、低い出生率の下で世代ごとに人口規模が縮小して行くことを反映したものとなっている（図 1-5(3)）。

#### 〔出生中位仮定（死亡高位・低位仮定）の推計結果〕

##### 1. 死亡高位仮定による推計結果の概要

死亡高位推計は死亡中位推計よりも高い死亡率、すなわち死亡率改善のペースが遅く、平均寿命が低めに推移することを仮定した推計である。したがって、死亡数は多くなり、同じ出生仮定の下では人口は少なめに推移する。すなわち、出生中位（死亡中位）推計による平成 72(2060)年の総人口が 8,674 万人であるのに対し、出生中位（死亡高位）推計による同年の総人口は、8,532 万人にまで減少する。一方、年齢3区分別人口、およびその構成を見ると、出生中位（死亡高位）推計による年少人口は平成 72(2060)年で 790 万人（構成比 9.3%）、生産年齢人口は 4,410 万人（同 51.7%）、老年人口は 3,332 万人（同 39.1%）となっており、出生中位（死亡中位）推計の結果と比較した場合、人口はいずれも少ないが、とくに老年人口が少なく、老年人口割合が低い推計結果となることが特徴である（表 2-1、表 3-4）。

##### 2. 死亡低位仮定による推計結果の概要

死亡低位推計は死亡中位推計よりも低い死亡率、すなわち死亡率改善のペースが速く、平均寿命が高めに推移することを仮定した推計である。したがって、死亡数は少なくなり、同じ出生仮定の下では人口は多めに推移する。すなわち、出生中位（死亡中位）推計によ



る平成 72(2060)年の総人口が 8,674 万人であるのに対し、出生中位（死亡低位）推計による平成 72(2060)年の総人口は、8,815 万人となる。一方、年齢 3 区分別人口、およびその構成を見ると、出生中位（死亡低位）推計による年少人口は平成 72(2060) 年で 792 万人（構成比 9.0%）、生産年齢人口は 4,426 万人（同 50.2%）、老年人口は 3,597 万人（同 40.8%）となっており、出生中位（死亡中位）推計による結果と比較した場合、人口はいずれも多いが、とくに老年人口が多く、老年人口割合が高い推計結果となることが特徴である（表 2-2、表 3-4）。

〔出生高位・低位仮定（死亡高位・低位仮定）の推計結果〕※

日本の将来推計人口では、上述した推計の他に出生高位・低位仮定と死亡高位・低位仮定を組み合わせた 4 通りの推計を行っている。最も総人口が多く推移する出生高位（死亡低位）推計によれば、平成 72(2060)年に 9,602 万人、逆に最も少なく推移する出生低位（死亡高位）推計によれば、同年 7,856 万人となる（表 3-1）。また、最も老年人口割合が高く推移する出生低位（死亡低位）推計によれば、同割合は平成 72(2060)年に 44.2%、最も低く推移する出生高位（死亡高位）推計によれば、同年 35.8%となる（表 3-4）。

※ 本概要では当該推計の主要な結果表の掲載を省略した。同表については国立社会保障・人口問題研究所ホームページを参照のこと。

### Ⅲ 推計方法の概要

日本の将来推計人口における推計方法は、これまでと同様にコーホート要因法を基礎としている。コーホート要因法とは、年齢別人口の加齢にともなう生ずる年々の変化をその要因（死亡、出生、および人口移動）ごとに計算して将来の人口を求める方法である。すでに生存する人口については、加齢とともに生ずる死亡と国際人口移動を差し引いて将来の人口を求める。また、新たに生まれる人口については、再生産年齢人口に生ずる出生数とその生存数、ならびに人口移動数を順次算出して求め、翌年の人口に組み入れる。

このコーホート要因法によって将来人口を推計するためには、男女年齢別に分類された(1) 基準人口、ならびに同様に分類された(2) 将来の出生率（および出生性比）、(3) 将来の生残率、(4) 将来の国際人口移動率（数）に関する仮定が必要である。本推計では、これらの仮定の設定については、これまでと同様に各要因に関する統計指標の実績値に基づいて、人口統計学的な投影を実施することにより行った。ただし、将来の出生、死亡等の推移は不確実であることから、本推計では複数の仮定を設定し、これらに基づく複数の推計を行うことによって将来の人口推移について一定幅の見通しを与えるものとしている。

#### 1. 基準人口

推計の出発点となる基準人口は、総務省統計局『平成 22 年国勢調査による基準人口』による平成 22(2010)年 10 月 1 日現在男女年齢各歳別人口（総人口）を用いた。これは、総務省統計局が国勢調査による人口を基準としてその後の人口の推計を行うため、平成 22 年国勢調査人口（人口等基本集計結果）に含まれる国籍及び年齢不詳人口をあん分して、平成 22 年国勢調査による基準人口（平成 22 年 10 月 1 日現在）として算出したものである。

#### 2. 出生率、および出生性比の仮定

本推計において将来の出生数を推計するためには、当該年次における女性の年齢別出生率が必要である。これを推計する方法として、本推計ではコーホート出生率法を用いた。これは女性の出生コーホート（同一年に生まれた集団）ごとにそのライフコース上の出生過程を観察し、出生過程が完結していないコーホートについては、完結に至るまでの年齢ごとの出生率を推定する方法である。将来各年次の年齢別出生率ならびに合計特殊出生率は、コーホート別の率を年次別の率に組み換えることにより得る。なお、出生率動向の測定の精密化を図る観点から、日本人女性に発生する出生に限定した出生率を対象として実績動向の把握を行い、これに基づいて総人口の出生動向を推計した。したがって、以下に記述する結婚、出生に関する指標の仮定値は、すべて日本人女性における事象に関するものである（外国人女性の出生率の扱いについては後述）。

コーホートの年齢別出生率は出生順位別に生涯の出生確率、出生年齢等を指標としたモデルによって統計的推定ないし仮定設定が行われた。すなわち、出生過程途上のコーホートでは、過程途上の実績値により生涯の出生過程の統計的推定を行うが、実績値が少ないか、あるいはまったく存在しない若いコーホートについては、参照コーホートに対して別途推計された指標をもとに各コーホートの出生過程完了時の指標を算出した。なお、参照コーホートは平成 7(1995)年生まれとし、その初婚行動、夫婦の出生行動、ならびに離死別・再婚行動に関する各指標を実績統計に基づいて投影により求め、それらの結果として算定されるコーホート合計特殊出生率、ならびに出生順位別出生分布を定めた。

なお、出生率の将来推移は不確実であることから、出生仮定についてはこれまでと同様に以下の三つの仮定（中位、高位、低位）を設け、それぞれについて将来人口推計を行うこととした。これにより現状から見た出生変動にともなう将来人口の想定し得る変動幅を与えるものとしている。

（１）出生中位の仮定について

① コーホート別にみた女性の平均初婚年齢は、昭和 35(1960)年出生コーホートの 25.7 歳から平成 7 (1995)年出生コーホートの 28.2 歳まで進み、平成 22(2010)年出生コーホートまではほぼ同水準で推移し以後は変わらない。

② 生涯未婚率は昭和 35(1960)年出生コーホートの 9.4%から平成 7 (1995)年出生コーホートの 20.1%まで上昇し、平成 22(2010)年出生コーホートまではほぼ同水準で推移し以後は変わらない。

③ 夫婦の完結出生児数は、晩婚・晩産の影響および夫婦の出生行動の変化によって変動する。夫婦の出生行動の変化を示す係数（結婚出生力変動係数）は、妻が昭和 10(1935)～29(1954)年出生コーホートを基準（1.0）として以後低下し、平成 7 (1995)年出生コーホートの 0.920 に至り、平成 22(2010)年出生コーホートまではほぼ同水準で推移し以後は変わらない。この係数と①②に示される初婚行動の変化によって、夫婦の完結出生児数は昭和 33～37(1958～62)年出生コーホートの 2.07 人から平成 7 (1995)年出生コーホートの 1.74 人まで低下し、以後同水準で推移する。

④ 出生率に対する離婚や死別、再婚の効果は、それらを経験した女性の完結出生児数とそれら配偶関係構造変化の動向により求めた。その結果、出生過程を完結した初婚どうし夫婦の出生水準を基準（1.0）として、離死別・再婚の効果は、昭和 35(1960)年出生コーホートの実績値 0.962 から平成 7 (1995)年出生コーホートの 0.938 まで進み、以後は変わらない。

以上、①～④の結果から、日本人女性のコーホート合計特殊出生率は、昭和 35(1960)年出生コーホートの実績値 1.808 から平成 7 (1995)年出生コーホートの 1.301 まで低下し、平成 22(2010)年出生コーホートまではほぼ同水準で推移し、以後は変わらない。

以上により得られたコーホート年齢別出生率を年次別の出生率に組み替え、さらに実績から求めた外国人女性出生率とのモーメント間の関係を一定と仮定して外国人女性の年齢別出生率を求めた。これらにより人口動態統計と同定義の出生率（外国籍女性が生んだ日本国籍出生児も含めた出生率—下式参照）を推計の際に算出することが可能となる。

人口動態統計の合計特殊出生率の定義

$$\text{(合計特殊出生率)} = \sum_{\text{年齢(15～49歳)合計}} \frac{\left( \begin{array}{c} \text{日本人女性} \\ \text{の出生数} \end{array} \right) + \left( \begin{array}{c} \text{外国人女性の生んだ} \\ \text{日本国籍児の数} \end{array} \right) \text{※}}{\text{(日本人女性人口)}}$$

※外国人女性の生んだ日本国籍児とは、日本人を父とする児である。

なお、平成 23(2011)年 3 月に発生した東日本大震災の影響により、平成 23(2011)年 12 月以降の出生数に短期的変動が見込まれるため、平成 23(2011)年および平成 24(2012)年については、阪神淡路大震災が発生した平成 7 (1995)年における出生数の変動実績ならびに最近における妊娠届出数等を参考にして別途推計し、これを仮定値として用いた。

以上の結果、人口動態統計と同定義による合計特殊出生率は、実績値が 1.39 であった平

成 22(2010)年から平成 26(2014)年まで、平成 24(2012)年の 1.37 を除き、概ね 1.39 で推移する。その後平成 36(2024)年の 1.33 に至るまで緩やかに低下し、以後やや上昇して平成 42(2030)年の 1.34 を経て、平成 72(2060)年には 1.35 へと推移する（表 4-1、図 4-1）。

### （２）出生高位の仮定について

① コーホート別にみた女性の平均初婚年齢は平成 7 (1995)年出生コーホートの 27.9 歳まで進み、平成 22(2010)年出生コーホートまではほぼ同水準で推移し以後は変わらない。

② 生涯未婚率は平成 7 (1995)年出生コーホートの 14.7%を経過、平成 22(2010)年出生コーホートで 14.3%に至り以後は変わらない。

③ 夫婦の出生行動の変化を示す結婚出生力変動係数は、妻が昭和 10(1935)～29(1954)年出生コーホートを基準（1.0）として以後一旦低下するが、平成 7 (1995)年出生コーホートまでに再び 1.0 に回復する。この係数と上記の初婚行動の変化によって、夫婦の完結出生児数は平成 7 (1995)年出生コーホートの 1.91 人を経過、平成 22(2010)年出生コーホートで 1.92 人に至り、以後は変わらない。

④ 出生率に対する離死別、再婚の効果は、昭和 35(1960)年出生コーホートの実績値 0.962 から平成 7 (1995)年出生コーホートの 0.937 まで進み以後は変わらない。

以上、①～④の結果から、日本人女性のコーホート合計特殊出生率は、昭和 35(1960)年出生コーホートの実績値 1.808 から平成 7 (1995)年出生コーホートの 1.531 を経て、平成 22(2010)年出生コーホートの 1.541 に至り以後は変わらない。

東日本大震災の影響につき、出生中位仮定と同様の処置を行った後、以上に対応する人口動態統計と同定義の合計特殊出生率は、平成 22(2010)年の実績値 1.39 から平成 23(2011)年に 1.44 となった後、平成 32(2020)年に 1.61 を経て、平成 72(2060)年には 1.60 へと推移する（表 4-1、図 4-1）。

### （３）出生低位の仮定について

① コーホート別にみた女性の平均初婚年齢は平成 7 (1995)年出生コーホートの 28.5 歳を経過、平成 22(2010)年出生コーホートで 28.6 歳に至り以後は変わらない。

② 生涯未婚率は平成 7 (1995)年出生コーホートの 26.2%まで進み、平成 22(2010)年出生コーホートで 26.6%に至り以後は変わらない。

③ 夫婦の出生行動の変化を示す結婚出生力変動係数は、妻が昭和 10(1935)～29(1954)年出生コーホートを基準（1.0）として以後低下し、平成 7 (1995)年出生コーホートの 0.842 を経て、平成 22(2010)年出生コーホートで 0.845 に至り以後は変わらない。この係数と上記の初婚行動の変化によって、夫婦の完結出生児数は平成 7 (1995)年出生コーホートの 1.57 人まで低下し、平成 22(2010)年出生コーホートまで同水準で推移し以後は変わらない。

④ 出生率に対する離死別、再婚の効果は、昭和 35(1960)年出生コーホートの実績値 0.962 から平成 7 (1995)年出生コーホートの 0.938 まで進み以後は変わらない。

以上、①～④の結果から、日本人女性のコーホート合計特殊出生率は、昭和 35(1960)年出生コーホートの実績値 1.808 から平成 7 (1995)年出生コーホートの 1.087 を経て、平成 22(2010)年出生コーホートの 1.079 に至り以後は変わらない。

東日本大震災の影響につき、出生中位仮定と同様の処置を行った後、以上に対応する人口動態統計と同定義の合計特殊出生率は、平成 22(2010)年の実績値 1.39 から平成 23(2011)年に 1.31 となった後、平成 35(2023)年に 1.08 台まで低下し、その後わずかに上昇を示し

て平成 72(2060)年には 1.12 へと推移する（表 4-1、図 4-1）。

将来の出生数を男児と女児に分けるための出生性比（女児数 100 に対する男児数の比）については、2006～2010 年の 5 年間の実績値である 105.5 を、平成 23(2011)年以降一定として用いた。

### 3. 生残率の仮定（将来生命表）

ある年の人口から翌年の人口を推計するには男女年齢各歳別の生残率が必要である。将来の生残率を得るためには将来生命表を作成する必要がある。本推計ではこれを作成する方法として現在国際的に標準的な方法とされるリー・カーター・モデルを採用しつつ、これに対して世界の最高水準の平均寿命を示すわが国の死亡動向の特徴に適合させるため、新たな機構を加えて用いた。リー・カーター・モデルは、年齢別死亡率を、標準となる年齢パターン、死亡の一般的水準（死亡指数）、死亡指数の動きに対する年齢別死亡率変化率および誤差項に分解することで、死亡の一般的水準の変化に応じて年齢ごとに異なる死亡率の変化を記述するモデルである。本推計では、若年層ではリー・カーター・モデルを用いつつ、高齢層では、死亡率改善を死亡率曲線の高齢側へのシフトとして表現するモデル（線形差分モデル）を組みあわせることにより、死亡率改善のめざましいわが国の死亡状況に適合させた。なお、線形差分モデルとは、高齢死亡率曲線の横方向へのシフトの差分を年齢の線形関数によって記述するモデルである。

死亡指数の将来推計にあたっては、最近 40 年間で徐々に緩やかになっている死亡水準の変化を反映させるために、昭和 45(1970)年以降のデータを用い、男女の死亡率の整合性を図る観点から両者同時に関数当てはめを行った。また、線形差分モデルに用いる高齢部の死亡率曲線のシフト量については過去 15 年間の死亡指数に対する変化率を用いて将来推計し、勾配については直近の平均値（過去 5 年分）を将来に向けて固定した。

また、近年の死亡水準の改善が従来理論の想定を超えた動向を示しつつあることから、前回推計同様、今後の死亡率推移ならびに到達水準については不確実性が高いものと判断し、複数の仮定を与えることによって一定の幅による推計を行うものとした。すなわち、標準となる死亡率推移の死亡指数パラメータの分散をブートストラップ法等により求め、これを用いて死亡指数が確率 99%で存在する区間を推定して、死亡指数がその上限を推移する高死亡率推計である「死亡高位」仮定、下限を推移する低死亡率推計である「死亡低位」仮定を付加した。

以上の手続きにより求められたパラメータと変数から最終的に平成 72(2060)年までの死亡率を男女別各歳別に算出し、将来生命表を推計した。なお、平成 23(2011)年については東日本大震災が発生したことから、人口動態統計の死亡数、及び警察庁、岩手・宮城・福島県警察による被害状況データを用い、震災の影響を織り込んだ生命表を別途算定して仮定した。

#### (1) 死亡中位の仮定について

標準的な将来生命表に基づく、平成 22(2010)年に男性 79.64 年、女性 86.39 年であった平均寿命は、平成 32(2020)年に男性 80.93 年、女性 87.65 年、平成 42(2030)年に男性 81.95 年、女性 88.68 年となり、平成 72(2060)年には男性 84.19 年、女性 90.93 年となる（表 4-2、図 4-2）。

## (2) 死亡高位の仮定について

死亡高位の仮定では、中位仮定に比べて死亡率が高めに、したがって平均寿命は低めに推移する。その結果、この仮定においては、平均寿命は平成 42(2030)年に男性 81.25 年、女性 87.97 年となり、平成 72(2060)年には男性 83.22 年、女性 89.96 年となる。

## (3) 死亡低位の仮定について

死亡低位の仮定では、中位仮定に比べて死亡率が低めに、したがって平均寿命は高めに推移する。その結果、この仮定においては、平均寿命は平成 42(2030)年に男性 82.65 年、女性 89.39 年となり、平成 72(2060)年には男性 85.14 年、女性 91.90 年となる。

## 4. 国際人口移動率(数)の仮定

国際人口移動の動向は、国際化の進展や社会経済情勢の変化、また出入国管理制度や関連規制等によって大きな影響を受ける。また、内外における社会経済事象や災害の発生は国際人口移動に大きな変動をもたらすことがある。近年では同時多発テロ(2001 年)、新型肺炎の発生(2002～3 年)、リーマンショック(2008 年)などがこれにあたる。さらには、平成 23(2011)年 3 月に発生した東日本大震災はわが国における外国人の出入国に大きな変動をもたらした。

国際人口移動数・率の実績値の動向をみると、日本人と外国人では異なった推移傾向を示している。また人口学的にみると日本人の移動は人口の年齢構造による影響を受けるが、外国人の場合にはわが国の人口規模あるいは年齢構造との関係は限定的である。そのため、本推計においては国際人口移動の仮定は日本人と外国人とに分け、日本人については入国超過率、外国人については入国超過数を基礎として仮定値の設定を行った。

日本人の国際人口移動の実績をみると、概ね出国超過の傾向がみられる。また、男女別入国超過率(純移動率)の年齢パターンも比較的安定していることから、平成 16(2004)～21(2009)年における日本人の男女年齢別入国超過率の平均値を求め(ただし、年齢ごとに最大値、最小値を除く 4 か年の値を用いる)、これらから偶然変動を除くための平滑化を行い、平成 23(2011)年以降における日本人の入国超過率とした(表 4-3、図 4-3)。

外国人の国際人口移動の実績をみると、不規則な上下動を繰り返しつつも、概ね入国超過数の増加傾向が続いてきた。ただし、直近の年次においてはリーマンショックや東日本大震災に起因する大規模な出国超過が生じるなど、外国人の出入国傾向は短期間に大きな変動を示している。そこで、昭和 45(1970)年以降の外国人入国超過数のうち社会経済事象・災害等の影響により一時的に大きく変動したとみなされる年のデータを除いたうえで、入国超過数の長期趨勢を投影することにより平成 42(2030)年までの仮定値とした。ただし、東日本大震災の影響による出国超過の影響については、平成 24(2012)年までの仮定値に反映させた。なお、各年の男女別入国超過数は、昭和 45(1970)年以降における入国超過数の男女性比の平均値を用いて算出し、それらの年齢別割合については、実績値の得られる昭和 61(1986)～平成 22(2010)年の平均値を平滑化して用いた(表 4-4～5、図 4-4～5)。ただし、長期的には外国人の国際人口移動の規模をわが国の人口規模と連動させる必要があるため、各推計において平成 42(2030)年の男女年齢別入国超過率(ただし日本人・外国人を合わせた総人口を分母とする)を求め、以降これを一定とした。

日本の将来推計人口（平成24年1月推計）  
《 結果 および 仮定 の 要約 》

推計結果の要約（死亡中位推計）

出生率仮定 [長期の合計特殊出生率]		中位仮定 [ 1.35 ]	高位仮定 [ 1.60 ]	低位仮定 [ 1.12 ]	平成18年12月推計 中位仮定 [ 1.26 ]
死亡率仮定 [長期の平均寿命]		死亡中位仮定 [ 男=84.19年 ] [ 女=90.93年 ]			男=83.67年 女=90.34年
総人口	平成22(2010)年	12,806万人	12,806万人	12,806万人	12,718万人
		↓	↓	↓	↓
	平成42(2030)年	11,662万人	11,924万人	11,417万人	11,522万人
		↓	↓	↓	↓
	平成67(2055)年	9,193万人	9,880万人	8,593万人	8,993万人
	平成72(2060)年	8,674万人	9,460万人	7,997万人	
年少（0～14歳）人口	平成22(2010)年	1,684万人 13.1%	1,684万人 13.1%	1,684万人 13.1%	1,648万人 13.0%
		↓	↓	↓	↓
	平成42(2030)年	1,204万人 10.3%	1,432万人 12.0%	999万人 8.7%	1,115万人 9.7%
		↓	↓	↓	↓
	平成67(2055)年	861万人 9.4%	1,140万人 11.5%	638万人 7.4%	752万人 8.4%
	平成72(2060)年	791万人 9.1%	1,087万人 11.5%	562万人 7.0%	
生産年齢（15～64歳）人口	平成22(2010)年	8,173万人 63.8%	8,173万人 63.8%	8,173万人 63.8%	8,128万人 63.9%
		↓	↓	↓	↓
	平成42(2030)年	6,773万人 58.1%	6,807万人 57.1%	6,733万人 59.0%	6,740万人 58.5%
		↓	↓	↓	↓
	平成67(2055)年	4,706万人 51.2%	5,114万人 51.8%	4,330万人 50.4%	4,595万人 51.1%
	平成72(2060)年	4,418万人 50.9%	4,909万人 51.9%	3,971万人 49.7%	
老年（65歳以上）人口	平成22(2010)年	2,948万人 23.0%	2,948万人 23.0%	2,948万人 23.0%	2,941万人 23.1%
		↓	↓	↓	↓
	平成42(2030)年	3,685万人 31.6%	3,685万人 30.9%	3,685万人 32.3%	3,667万人 31.8%
		↓	↓	↓	↓
	平成67(2055)年	3,626万人 39.4%	3,626万人 36.7%	3,626万人 42.2%	3,646万人 40.5%
	平成72(2060)年	3,464万人 39.9%	3,464万人 36.6%	3,464万人 43.3%	

### 推計方法の要約

人口変動要因である出生、死亡、国際人口移動について仮定を設け、コーホート要因法により将来の人口を推計した。仮定は、各要因に関する実績統計に基づき、人口統計学的な投影手法によって設定した。

#### (1) 出生仮定の要約

1995 年生まれ女性コーホート(参照コーホート)の結婚および出生指標に仮定を設け、年長のコーホートの実績値または統計的推定値から参照コーホートの仮定値を経て、2010 年生まれコーホートまで徐々に変化し、以後は一定となるものと仮定した。

仮定の種類	出生仮定指標	前提			合計特殊出生率			平成18年12月推計
		現在の実績値 1960年生まれの世代		仮定 1995年生まれの世代 (参照コーホート)	平成22 (2010)年 実績	経過	平成72 (2060)年	平成67 (2055)年
中位の仮定	(1) 平均初婚年齢	25.7歳	→ 上昇	28.2歳	1.39	最高値 平成25 (2013)年 1.39	1.35	1.26
	(2) 生涯未婚率	9.4%	→ 上昇	20.1%		最低値 平成36 (2024)年 1.33		
	(3) 夫婦完結出生児数	2.07人	→ 減少	1.74人				
	(4) 離死別再婚効果	0.962	→ 減少	0.938				
高位の仮定	(1) 平均初婚年齢	同上	→ 上昇	27.9歳	1.39	最高値 平成32 (2020)年 1.61	1.60	1.55
	(2) 生涯未婚率		→ 上昇	14.7%		最低値 平成22 (2010)年 1.39		
	(3) 夫婦完結出生児数		→ 減少	1.91人				
	(4) 離死別再婚効果		→ 減少	0.937				
低位の仮定	(1) 平均初婚年齢	同上	→ 上昇	28.5歳	1.39	最高値 平成22 (2010)年 1.39	1.12	1.06
	(2) 生涯未婚率		→ 上昇	26.2%		最低値 平成35 (2023)年 1.09		
	(3) 夫婦完結出生児数		→ 減少	1.57人				
	(4) 離死別再婚効果		→ 減少	0.938				

出生性比：平成 18(2006)～22(2010)年の出生性比 (105.5) を一定とした。

#### (2) 死亡仮定の要約

昭和 45(1970)～平成 22(2010)年の死亡実績に基づき、「死亡中位」(平成 72(2060)年男性 84.19 年、女性 90.93 年) の仮定を設定するとともに、パラメータが確率 99%で存在する区間に従い「死亡高位」(同年男性 83.22 年、女性 89.96 年)、「死亡低位」(同年男性 85.14 年、女性 91.90 年) の仮定を設定した。

平均寿命	実績		平成18年12月推計 平成67(2055)年
	平成22(2010)年	死亡中位仮定 平成72(2060)年	
男性	79.64 年	→ 84.19 年	83.67 年
女性	86.39 年	→ 90.93 年	90.34 年

#### (3) 国際人口移動仮定の要約

日本人については、平成 16(2004)～平成 21(2009)年における男女年齢別入国超過率 (純移動率) の平均値を一定とした。外国人については、昭和 45(1970)年以降における入国超過数の趨勢を投影することによって仮定値とした。ただし、東日本大震災の影響を受けた平成 23(2011)年は男女とも出国超過となるが、平成 24(2012)年以降は入国超過となり、平成 42(2030)年に男性 3.4 万人、女性 3.8 万人になる。それ以降は、男女年齢別に外国人入国超過率 (総人口を分母とする) を一定とした。



《 出生3仮定(死亡中位)推計結果 》



表1-1 総人口、年齢3区分(0～14歳, 15～64歳, 65歳以上)別人口及び年齢構造係数:出生中位(死亡中位)推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 22 (2010)	128,057	16,839	81,735	29,484	13.1	63.8	23.0
23 (2011)	127,753	16,685	81,303	29,764	13.1	63.6	23.3
24 (2012)	127,498	16,493	80,173	30,831	12.9	62.9	24.2
25 (2013)	127,247	16,281	78,996	31,971	12.8	62.1	25.1
26 (2014)	126,949	16,067	77,803	33,080	12.7	61.3	26.1
27 (2015)	126,597	15,827	76,818	33,952	12.5	60.7	26.8
28 (2016)	126,193	15,574	75,979	34,640	12.3	60.2	27.5
29 (2017)	125,739	15,311	75,245	35,182	12.2	59.8	28.0
30 (2018)	125,236	15,056	74,584	35,596	12.0	59.6	28.4
31 (2019)	124,689	14,800	74,011	35,877	11.9	59.4	28.8
32 (2020)	124,100	14,568	73,408	36,124	11.7	59.2	29.1
33 (2021)	123,474	14,318	72,866	36,290	11.6	59.0	29.4
34 (2022)	122,813	14,049	72,408	36,356	11.4	59.0	29.6
35 (2023)	122,122	13,766	71,920	36,436	11.3	58.9	29.8
36 (2024)	121,403	13,505	71,369	36,529	11.1	58.8	30.1
37 (2025)	120,659	13,240	70,845	36,573	11.0	58.7	30.3
38 (2026)	119,891	12,959	70,349	36,584	10.8	58.7	30.5
39 (2027)	119,102	12,706	69,799	36,597	10.7	58.6	30.7
40 (2028)	118,293	12,466	69,187	36,640	10.5	58.5	31.0
41 (2029)	117,465	12,242	68,522	36,701	10.4	58.3	31.2
42 (2030)	116,618	12,039	67,730	36,849	10.3	58.1	31.6
43 (2031)	115,752	11,856	67,224	36,673	10.2	58.1	31.7
44 (2032)	114,870	11,692	66,330	36,848	10.2	57.7	32.1
45 (2033)	113,970	11,544	65,412	37,013	10.1	57.4	32.5
46 (2034)	113,054	11,410	64,441	37,203	10.1	57.0	32.9
47 (2035)	112,124	11,287	63,430	37,407	10.1	56.6	33.4
48 (2036)	111,179	11,171	62,357	37,651	10.0	56.1	33.9
49 (2037)	110,220	11,060	61,229	37,931	10.0	55.6	34.4
50 (2038)	109,250	10,951	60,059	38,239	10.0	55.0	35.0
51 (2039)	108,268	10,842	58,917	38,508	10.0	54.4	35.6
52 (2040)	107,276	10,732	57,866	38,678	10.0	53.9	36.1
53 (2041)	106,275	10,618	56,888	38,769	10.0	53.5	36.5
54 (2042)	105,267	10,500	55,985	38,782	10.0	53.2	36.8
55 (2043)	104,253	10,377	55,117	38,759	10.0	52.9	37.2
56 (2044)	103,233	10,249	54,308	38,676	9.9	52.6	37.5
57 (2045)	102,210	10,116	53,531	38,564	9.9	52.4	37.7
58 (2046)	101,185	9,978	52,810	38,398	9.9	52.2	37.9
59 (2047)	100,158	9,835	52,098	38,225	9.8	52.0	38.2
60 (2048)	99,131	9,689	51,385	38,057	9.8	51.8	38.4
61 (2049)	98,103	9,539	50,683	37,881	9.7	51.7	38.6
62 (2050)	97,076	9,387	50,013	37,676	9.7	51.5	38.8
63 (2051)	96,048	9,233	49,386	37,430	9.6	51.4	39.0
64 (2052)	95,021	9,077	48,773	37,171	9.6	51.3	39.1
65 (2053)	93,993	8,922	48,180	36,891	9.5	51.3	39.2
66 (2054)	92,964	8,767	47,613	36,585	9.4	51.2	39.4
67 (2055)	91,933	8,614	47,063	36,257	9.4	51.2	39.4
68 (2056)	90,901	8,464	46,520	35,916	9.3	51.2	39.5
69 (2057)	89,865	8,319	45,956	35,591	9.3	51.1	39.6
70 (2058)	88,826	8,178	45,391	35,257	9.2	51.1	39.7
71 (2059)	87,783	8,042	44,791	34,951	9.2	51.0	39.8
72 (2060)	86,737	7,912	44,183	34,642	9.1	50.9	39.9

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』(国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口)による。

表1-2 総人口、年齢3区分(0～14歳, 15～64歳, 65歳以上)別人口及び年齢構造係数:出生高位(死亡中位)推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 22 (2010)	128,057	16,839	81,735	29,484	13.1	63.8	23.0
23 (2011)	127,785	16,717	81,303	29,764	13.1	63.6	23.3
24 (2012)	127,582	16,578	80,173	30,831	13.0	62.8	24.2
25 (2013)	127,402	16,435	78,996	31,971	12.9	62.0	25.1
26 (2014)	127,191	16,309	77,803	33,080	12.8	61.2	26.0
27 (2015)	126,947	16,177	76,818	33,952	12.7	60.5	26.7
28 (2016)	126,669	16,050	75,979	34,640	12.7	60.0	27.3
29 (2017)	126,356	15,928	75,245	35,182	12.6	59.6	27.8
30 (2018)	126,006	15,827	74,584	35,596	12.6	59.2	28.2
31 (2019)	125,620	15,731	74,011	35,877	12.5	58.9	28.6
32 (2020)	125,196	15,664	73,408	36,124	12.5	58.6	28.9
33 (2021)	124,735	15,579	72,866	36,290	12.5	58.4	29.1
34 (2022)	124,239	15,474	72,408	36,356	12.5	58.3	29.3
35 (2023)	123,709	15,353	71,920	36,436	12.4	58.1	29.5
36 (2024)	123,149	15,251	71,369	36,529	12.4	58.0	29.7
37 (2025)	122,559	15,141	70,845	36,573	12.4	57.8	29.8
38 (2026)	121,943	14,979	70,380	36,584	12.3	57.7	30.0
39 (2027)	121,302	14,823	69,882	36,597	12.2	57.6	30.2
40 (2028)	120,638	14,659	69,338	36,640	12.2	57.5	30.4
41 (2029)	119,951	14,490	68,760	36,701	12.1	57.3	30.6
42 (2030)	119,243	14,320	68,073	36,849	12.0	57.1	30.9
43 (2031)	118,514	14,150	67,692	36,673	11.9	57.1	30.9
44 (2032)	117,767	13,982	66,938	36,848	11.9	56.8	31.3
45 (2033)	117,003	13,817	66,172	37,013	11.8	56.6	31.6
46 (2034)	116,222	13,658	65,361	37,203	11.8	56.2	32.0
47 (2035)	115,427	13,505	64,515	37,407	11.7	55.9	32.4
48 (2036)	114,620	13,360	63,609	37,651	11.7	55.5	32.8
49 (2037)	113,802	13,223	62,647	37,931	11.6	55.0	33.3
50 (2038)	112,974	13,093	61,642	38,239	11.6	54.6	33.8
51 (2039)	112,140	12,969	60,663	38,508	11.6	54.1	34.3
52 (2040)	111,300	12,851	59,770	38,678	11.5	53.7	34.8
53 (2041)	110,457	12,738	58,949	38,769	11.5	53.4	35.1
54 (2042)	109,611	12,630	58,199	38,782	11.5	53.1	35.4
55 (2043)	108,766	12,525	57,482	38,759	11.5	52.8	35.6
56 (2044)	107,921	12,424	56,820	38,676	11.5	52.7	35.8
57 (2045)	107,078	12,327	56,188	38,564	11.5	52.5	36.0
58 (2046)	106,239	12,232	55,610	38,398	11.5	52.3	36.1
59 (2047)	105,403	12,139	55,039	38,225	11.5	52.2	36.3
60 (2048)	104,570	12,048	54,465	38,057	11.5	52.1	36.4
61 (2049)	103,741	11,958	53,902	37,881	11.5	52.0	36.5
62 (2050)	102,915	11,868	53,371	37,676	11.5	51.9	36.6
63 (2051)	102,091	11,778	52,884	37,430	11.5	51.8	36.7
64 (2052)	101,269	11,686	52,412	37,171	11.5	51.8	36.7
65 (2053)	100,446	11,592	51,963	36,891	11.5	51.7	36.7
66 (2054)	99,623	11,496	51,542	36,585	11.5	51.7	36.7
67 (2055)	98,797	11,397	51,143	36,257	11.5	51.8	36.7
68 (2056)	97,967	11,295	50,756	35,916	11.5	51.8	36.7
69 (2057)	97,134	11,191	50,352	35,591	11.5	51.8	36.6
70 (2058)	96,295	11,084	49,953	35,257	11.5	51.9	36.6
71 (2059)	95,450	10,976	49,524	34,951	11.5	51.9	36.6
72 (2060)	94,600	10,865	49,093	34,642	11.5	51.9	36.6

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』(国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口)による。

表1-3 総人口、年齢3区分(0～14歳, 15～64歳, 65歳以上)別人口及び年齢構造係数:出生低位(死亡中位)推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 22 (2010)	128,057	16,839	81,735	29,484	13.1	63.8	23.0
23 (2011)	127,710	16,643	81,303	29,764	13.0	63.7	23.3
24 (2012)	127,388	16,384	80,173	30,831	12.9	62.9	24.2
25 (2013)	127,054	16,088	78,996	31,971	12.7	62.2	25.2
26 (2014)	126,655	15,773	77,803	33,080	12.5	61.4	26.1
27 (2015)	126,188	15,418	76,818	33,952	12.2	60.9	26.9
28 (2016)	125,657	15,037	75,979	34,640	12.0	60.5	27.6
29 (2017)	125,066	14,638	75,245	35,182	11.7	60.2	28.1
30 (2018)	124,421	14,241	74,584	35,596	11.4	59.9	28.6
31 (2019)	123,729	13,841	74,011	35,877	11.2	59.8	29.0
32 (2020)	122,996	13,464	73,408	36,124	10.9	59.7	29.4
33 (2021)	122,226	13,071	72,866	36,290	10.7	59.6	29.7
34 (2022)	121,423	12,659	72,408	36,356	10.4	59.6	29.9
35 (2023)	120,592	12,236	71,920	36,436	10.1	59.6	30.2
36 (2024)	119,735	11,837	71,369	36,529	9.9	59.6	30.5
37 (2025)	118,855	11,436	70,845	36,573	9.6	59.6	30.8
38 (2026)	117,954	11,062	70,308	36,584	9.4	59.6	31.0
39 (2027)	117,034	10,744	69,692	36,597	9.2	59.5	31.3
40 (2028)	116,095	10,457	68,998	36,640	9.0	59.4	31.6
41 (2029)	115,139	10,204	68,234	36,701	8.9	59.3	31.9
42 (2030)	114,166	9,988	67,328	36,849	8.7	59.0	32.3
43 (2031)	113,176	9,807	66,697	36,673	8.7	58.9	32.4
44 (2032)	112,169	9,654	65,668	36,848	8.6	58.5	32.8
45 (2033)	111,146	9,524	64,608	37,013	8.6	58.1	33.3
46 (2034)	110,106	9,411	63,492	37,203	8.5	57.7	33.8
47 (2035)	109,051	9,308	62,335	37,407	8.5	57.2	34.3
48 (2036)	107,980	9,213	61,117	37,651	8.5	56.6	34.9
49 (2037)	106,895	9,120	59,844	37,931	8.5	56.0	35.5
50 (2038)	105,796	9,026	58,531	38,239	8.5	55.3	36.1
51 (2039)	104,683	8,927	57,247	38,508	8.5	54.7	36.8
52 (2040)	103,557	8,823	56,056	38,678	8.5	54.1	37.3
53 (2041)	102,419	8,710	54,940	38,769	8.5	53.6	37.9
54 (2042)	101,271	8,589	53,900	38,782	8.5	53.2	38.3
55 (2043)	100,114	8,457	52,898	38,759	8.4	52.8	38.7
56 (2044)	98,949	8,316	51,956	38,676	8.4	52.5	39.1
57 (2045)	97,777	8,165	51,048	38,564	8.4	52.2	39.4
58 (2046)	96,600	8,006	50,197	38,398	8.3	52.0	39.7
59 (2047)	95,420	7,838	49,357	38,225	8.2	51.7	40.1
60 (2048)	94,237	7,664	48,516	38,057	8.1	51.5	40.4
61 (2049)	93,052	7,483	47,687	37,881	8.0	51.2	40.7
62 (2050)	91,866	7,299	46,891	37,676	7.9	51.0	41.0
63 (2051)	90,680	7,113	46,137	37,430	7.8	50.9	41.3
64 (2052)	89,493	6,926	45,397	37,171	7.7	50.7	41.5
65 (2053)	88,307	6,740	44,675	36,891	7.6	50.6	41.8
66 (2054)	87,120	6,558	43,977	36,585	7.5	50.5	42.0
67 (2055)	85,933	6,381	43,295	36,257	7.4	50.4	42.2
68 (2056)	84,744	6,210	42,618	35,916	7.3	50.3	42.4
69 (2057)	83,554	6,048	41,916	35,591	7.2	50.2	42.6
70 (2058)	82,362	5,894	41,211	35,257	7.2	50.0	42.8
71 (2059)	81,168	5,750	40,467	34,951	7.1	49.9	43.1
72 (2060)	79,972	5,617	39,713	34,642	7.0	49.7	43.3

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』(国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口)による。

表1-4 人口の平均年齢, および年齢構造指数: 出生中位・高位・低位(死亡中位)推計

年次	出生中位(死亡中位)推計				出生高位(死亡中位)推計				出生低位(死亡中位)推計			
	平均年齢 (歳)	従属人口指数			平均年齢 (歳)	従属人口指数			平均年齢 (歳)	従属人口指数		
		総数	年少人口	老年人口		総数	年少人口	老年人口		総数	年少人口	老年人口
平成22 (2010)	45.0	56.7	20.6	36.1	45.0	56.7	20.6	36.1	45.0	56.7	20.6	36.1
23 (2011)	45.3	57.1	20.5	36.6	45.3	57.2	20.6	36.6	45.3	57.1	20.5	36.6
24 (2012)	45.6	59.0	20.6	38.5	45.6	59.1	20.7	38.5	45.6	58.9	20.4	38.5
25 (2013)	45.9	61.1	20.6	40.5	45.9	61.3	20.8	40.5	46.0	60.8	20.4	40.5
26 (2014)	46.2	63.2	20.7	42.5	46.1	63.5	21.0	42.5	46.3	62.8	20.3	42.5
27 (2015)	46.5	64.8	20.6	44.2	46.4	65.3	21.1	44.2	46.7	64.3	20.1	44.2
28 (2016)	46.8	66.1	20.5	45.6	46.6	66.7	21.1	45.6	47.0	65.4	19.8	45.6
29 (2017)	47.1	67.1	20.3	46.8	46.9	67.9	21.2	46.8	47.4	66.2	19.5	46.8
30 (2018)	47.4	67.9	20.2	47.7	47.1	68.9	21.2	47.7	47.7	66.8	19.1	47.7
31 (2019)	47.7	68.5	20.0	48.5	47.4	69.7	21.3	48.5	48.0	67.2	18.7	48.5
32 (2020)	48.0	69.1	19.8	49.2	47.6	70.5	21.3	49.2	48.4	67.6	18.3	49.2
33 (2021)	48.3	69.5	19.7	49.8	47.8	71.2	21.4	49.8	48.7	67.7	17.9	49.8
34 (2022)	48.5	69.6	19.4	50.2	48.0	71.6	21.4	50.2	49.0	67.7	17.5	50.2
35 (2023)	48.8	69.8	19.1	50.7	48.2	72.0	21.3	50.7	49.3	67.7	17.0	50.7
36 (2024)	49.1	70.1	18.9	51.2	48.4	72.6	21.4	51.2	49.7	67.8	16.6	51.2
37 (2025)	49.3	70.3	18.7	51.6	48.6	73.0	21.4	51.6	50.0	67.8	16.1	51.6
38 (2026)	49.5	70.4	18.4	52.0	48.8	73.3	21.3	52.0	50.2	67.8	15.7	52.0
39 (2027)	49.8	70.6	18.2	52.4	49.0	73.6	21.2	52.4	50.5	67.9	15.4	52.5
40 (2028)	50.0	71.0	18.0	53.0	49.2	74.0	21.1	52.8	50.8	68.3	15.2	53.1
41 (2029)	50.2	71.4	17.9	53.6	49.3	74.4	21.1	53.4	51.1	68.7	15.0	53.8
42 (2030)	50.4	72.2	17.8	54.4	49.5	75.2	21.0	54.1	51.3	69.6	14.8	54.7
43 (2031)	50.6	72.2	17.6	54.6	49.7	75.1	20.9	54.2	51.5	69.7	14.7	55.0
44 (2032)	50.8	73.2	17.6	55.6	49.8	75.9	20.9	55.0	51.8	70.8	14.7	56.1
45 (2033)	51.0	74.2	17.6	56.6	49.9	76.8	20.9	55.9	52.0	72.0	14.7	57.3
46 (2034)	51.2	75.4	17.7	57.7	50.1	77.8	20.9	56.9	52.2	73.4	14.8	58.6
47 (2035)	51.3	76.8	17.8	59.0	50.2	78.9	20.9	58.0	52.4	74.9	14.9	60.0
48 (2036)	51.5	78.3	17.9	60.4	50.3	80.2	21.0	59.2	52.7	76.7	15.1	61.6
49 (2037)	51.7	80.0	18.1	61.9	50.4	81.7	21.1	60.5	52.9	78.6	15.2	63.4
50 (2038)	51.8	81.9	18.2	63.7	50.5	83.3	21.2	62.0	53.1	80.8	15.4	65.3
51 (2039)	51.9	83.8	18.4	65.4	50.6	84.9	21.4	63.5	53.3	82.9	15.6	67.3
52 (2040)	52.1	85.4	18.5	66.8	50.7	86.2	21.5	64.7	53.4	84.7	15.7	69.0
53 (2041)	52.2	86.8	18.7	68.1	50.8	87.4	21.6	65.8	53.6	86.4	15.9	70.6
54 (2042)	52.4	88.0	18.8	69.3	50.9	88.3	21.7	66.6	53.8	87.9	15.9	72.0
55 (2043)	52.5	89.1	18.8	70.3	51.0	89.2	21.8	67.4	54.0	89.3	16.0	73.3
56 (2044)	52.6	90.1	18.9	71.2	51.0	89.9	21.9	68.1	54.2	90.4	16.0	74.4
57 (2045)	52.8	90.9	18.9	72.0	51.1	90.6	21.9	68.6	54.4	91.5	16.0	75.5
58 (2046)	52.9	91.6	18.9	72.7	51.2	91.0	22.0	69.0	54.6	92.4	15.9	76.5
59 (2047)	53.0	92.2	18.9	73.4	51.2	91.5	22.1	69.5	54.8	93.3	15.9	77.4
60 (2048)	53.1	92.9	18.9	74.1	51.3	92.0	22.1	69.9	55.0	94.2	15.8	78.4
61 (2049)	53.3	93.6	18.8	74.7	51.4	92.5	22.2	70.3	55.2	95.1	15.7	79.4
62 (2050)	53.4	94.1	18.8	75.3	51.4	92.8	22.2	70.6	55.4	95.9	15.6	80.3
63 (2051)	53.5	94.5	18.7	75.8	51.5	93.0	22.3	70.8	55.6	96.5	15.4	81.1
64 (2052)	53.7	94.8	18.6	76.2	51.5	93.2	22.3	70.9	55.8	97.1	15.3	81.9
65 (2053)	53.8	95.1	18.5	76.6	51.6	93.3	22.3	71.0	56.0	97.7	15.1	82.6
66 (2054)	53.9	95.3	18.4	76.8	51.7	93.3	22.3	71.0	56.2	98.1	14.9	83.2
67 (2055)	54.1	95.3	18.3	77.0	51.7	93.2	22.3	70.9	56.4	98.5	14.7	83.7
68 (2056)	54.2	95.4	18.2	77.2	51.8	93.0	22.3	70.8	56.6	98.8	14.6	84.3
69 (2057)	54.3	95.5	18.1	77.4	51.8	92.9	22.2	70.7	56.8	99.3	14.4	84.9
70 (2058)	54.4	95.7	18.0	77.7	51.9	92.8	22.2	70.6	56.9	99.9	14.3	85.6
71 (2059)	54.5	96.0	18.0	78.0	51.9	92.7	22.2	70.6	57.1	100.6	14.2	86.4
72 (2060)	54.6	96.3	17.9	78.4	52.0	92.7	22.1	70.6	57.3	101.4	14.1	87.2

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』(国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口)による。従属人口指数とは、従属人口を生産年齢人口(15~64歳人口)で除した比であり、本表では生産年齢人口100に対する従属人口を表している。従属人口のうち年少人口(0~14歳人口)のみを除した比を年少従属人口指数、老年人口(65歳以上人口)のみを除した比を老年従属人口指数と呼び、表では単に年少人口、老年人口と標記している。従属人口指数は年少従属人口指数と老年従属人口指数の和となる。

図1-1 総人口の推移  
 — 出生中位・高位・低位（死亡中位）推計 —

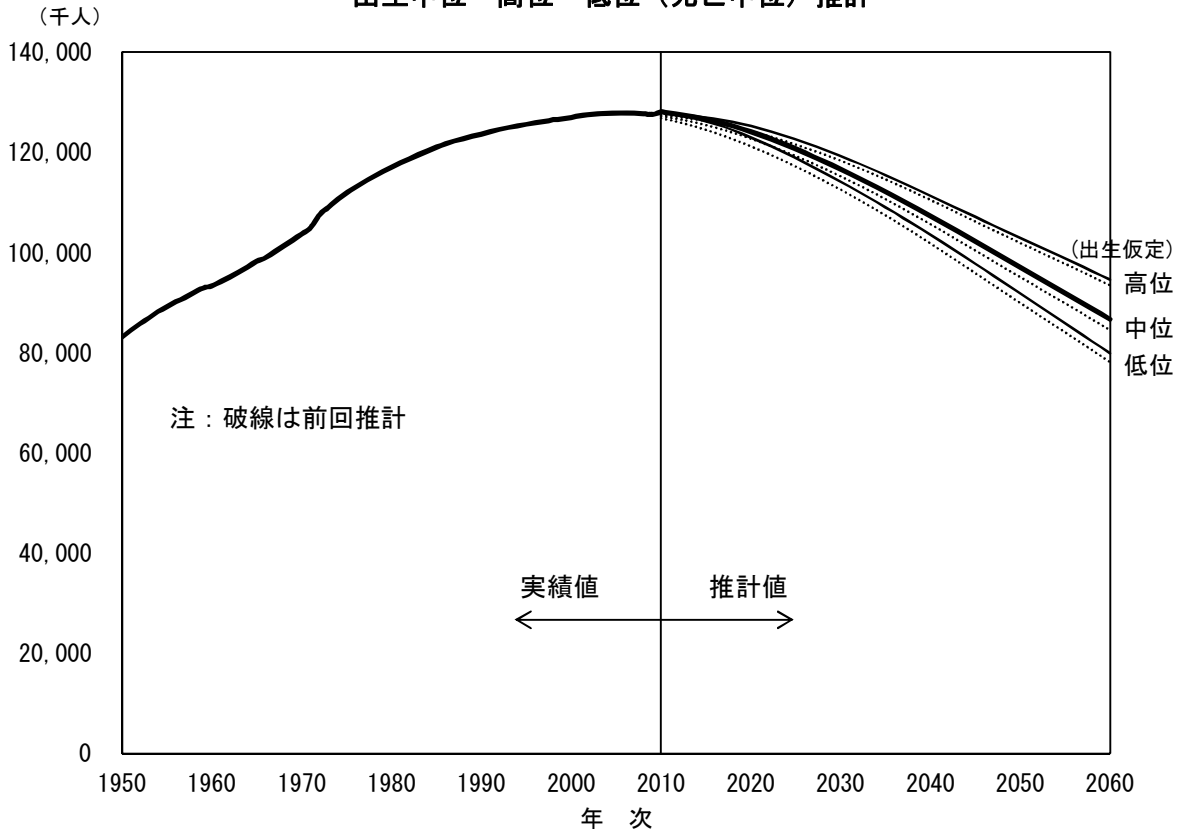


図1-2 老年（65歳以上）人口割合の推移  
 — 出生中位・高位・低位（死亡中位）推計 —

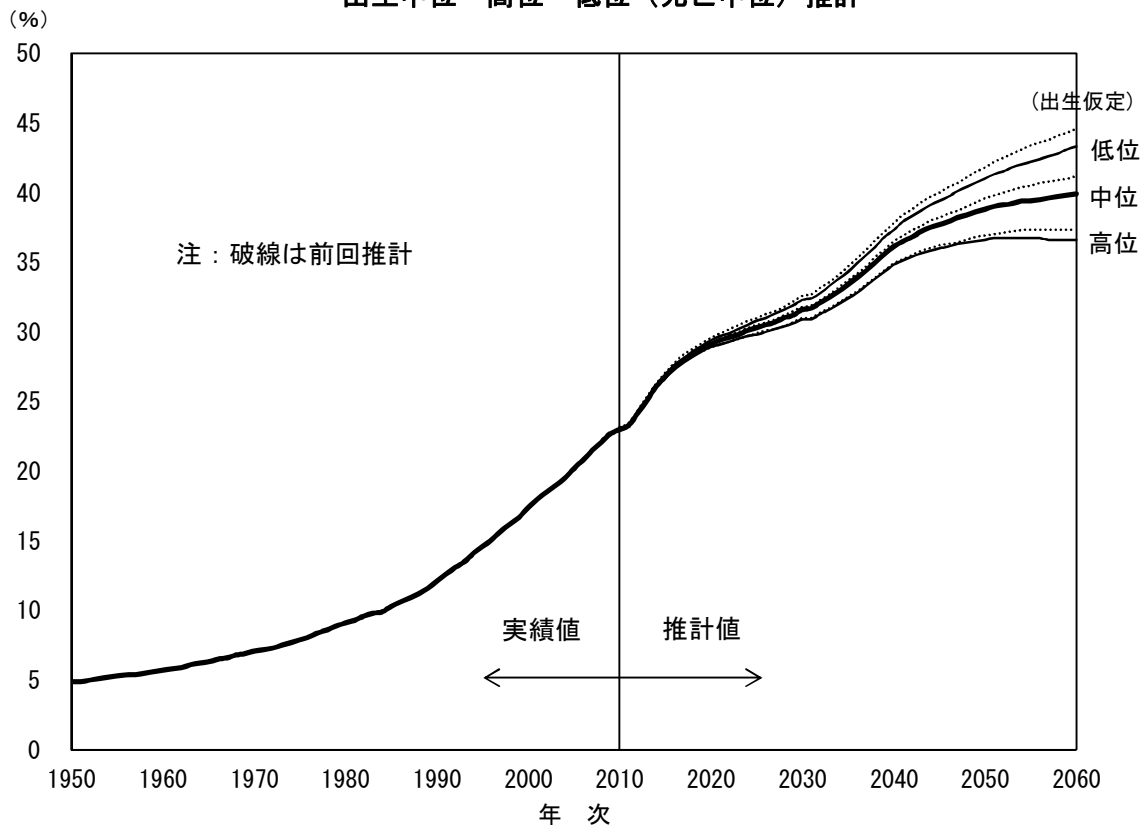


図1-3 年齢3区分別人口の推移  
 — 出生中位（死亡中位）推計 —

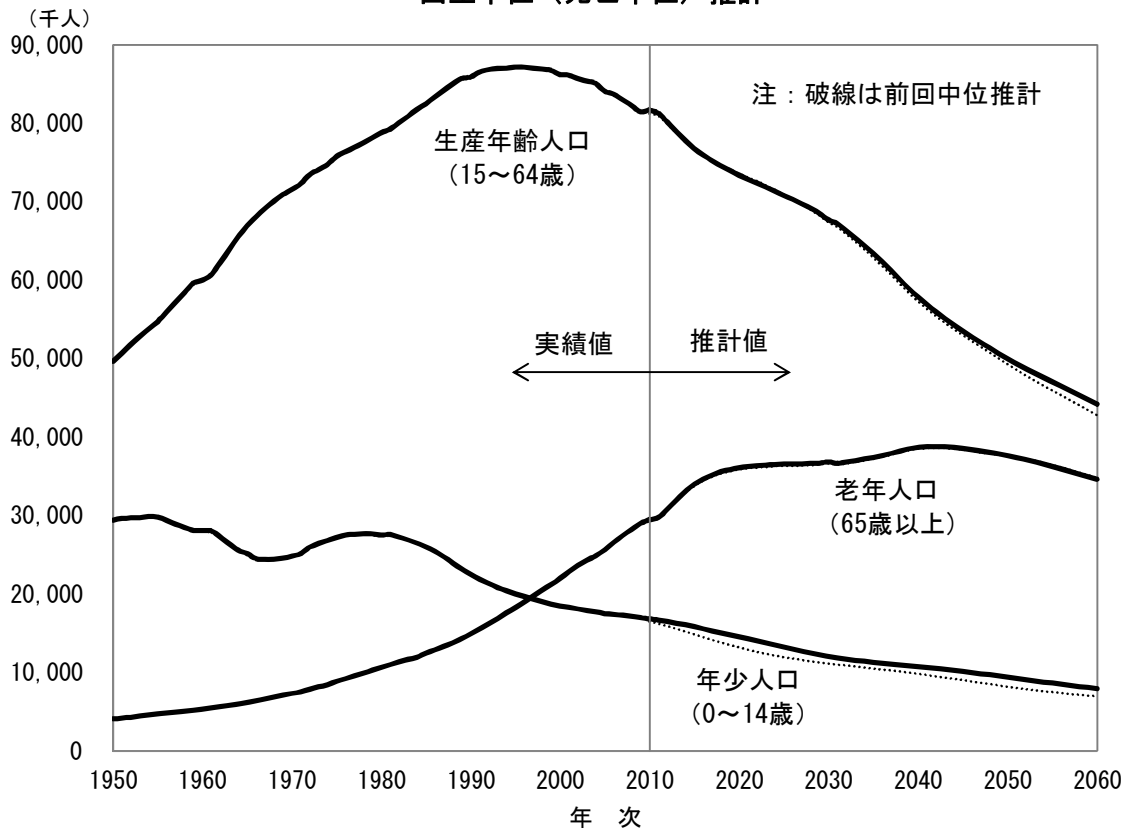


図1-4 年齢3区分別人口割合の推移  
 — 出生中位（死亡中位）推計 —

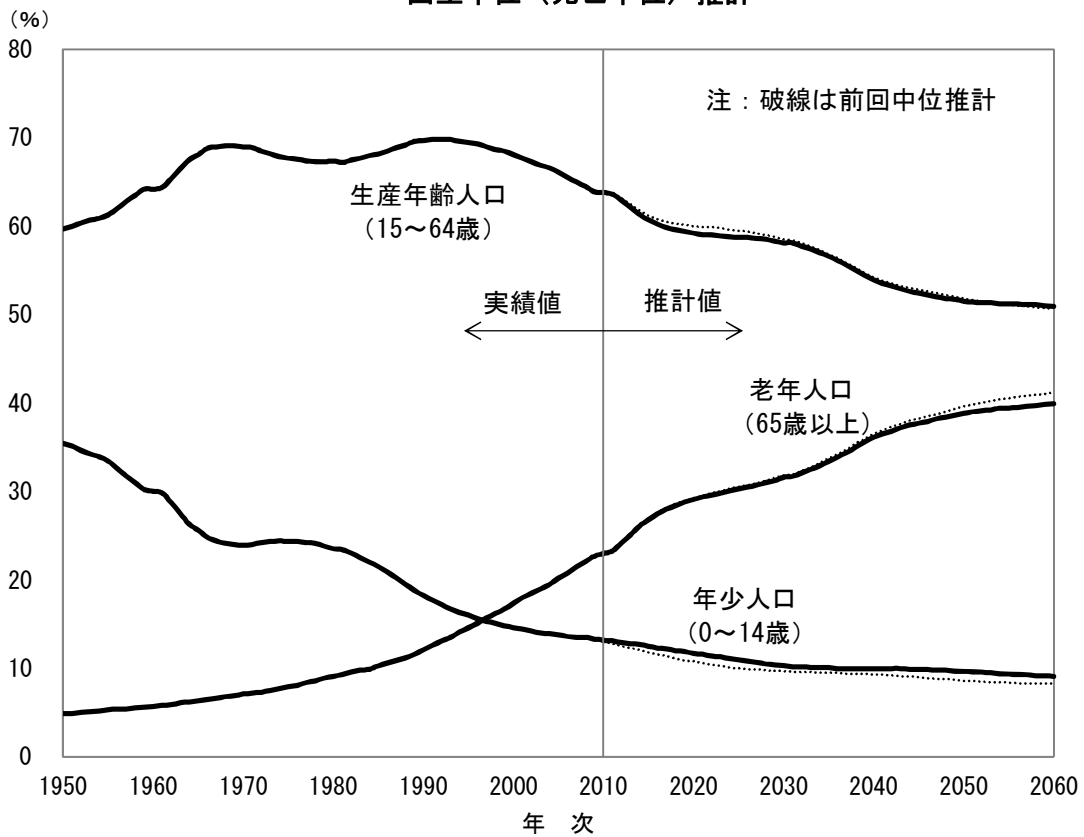
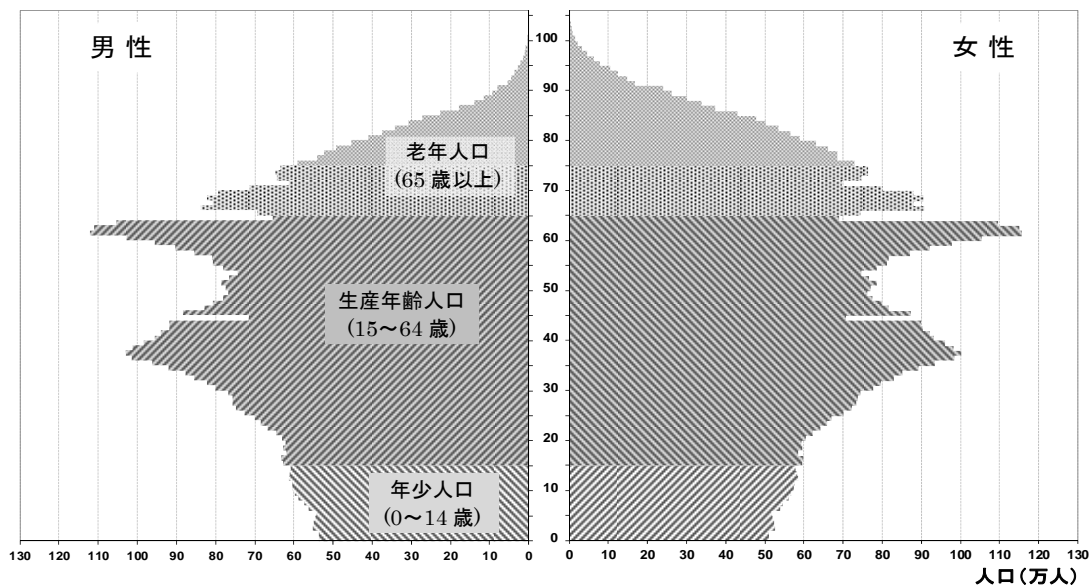


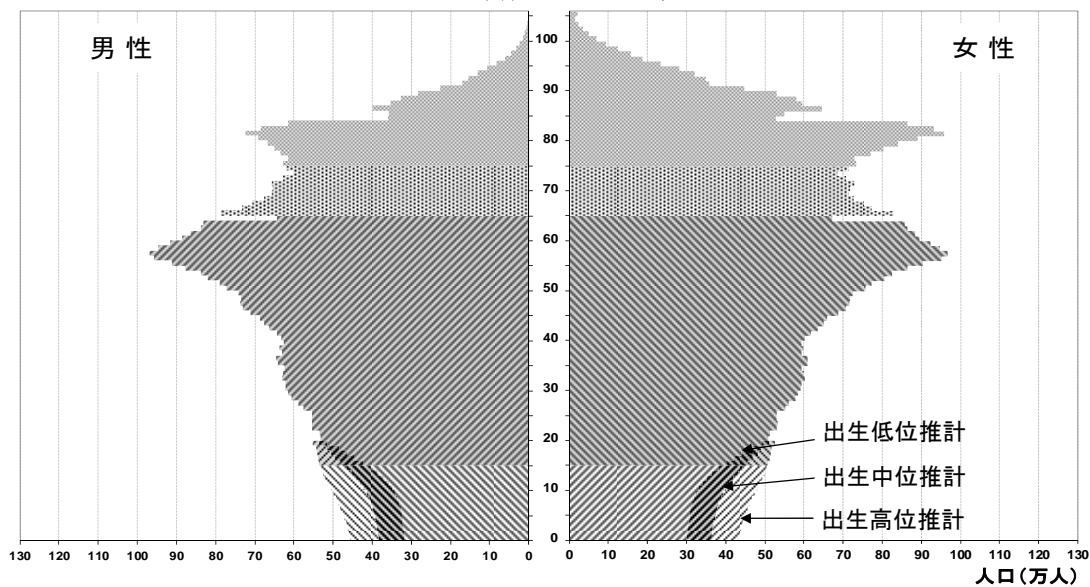


図1-5 人口ピラミッドの変化：出生3仮定（死亡中位）推計

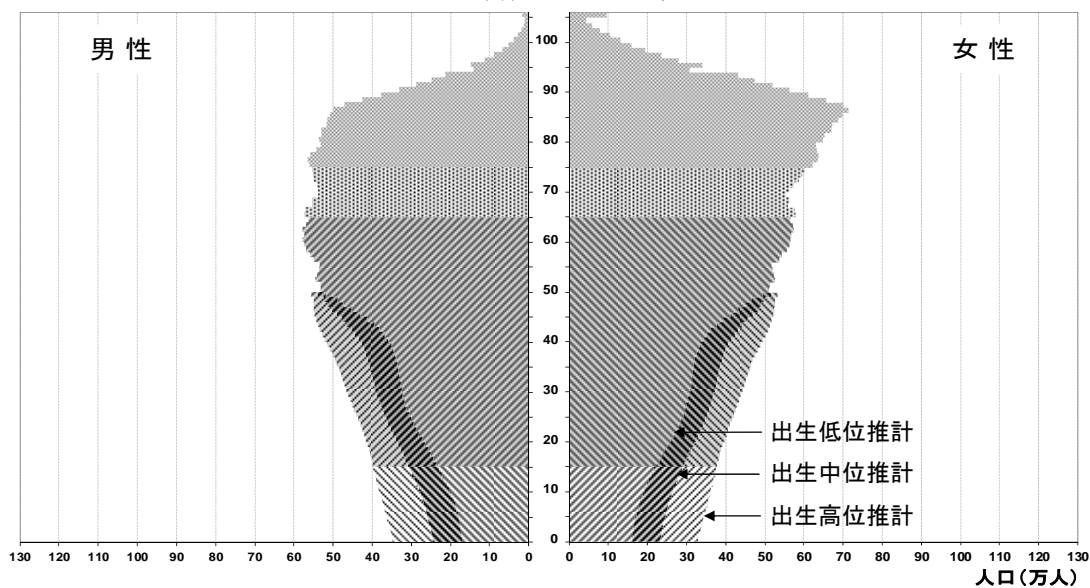
(1) 平成22(2010)年



(2) 平成42(2030)年



(3) 平成72(2060)年





## 《 出生中位(死亡高位・低位)推計結果 》

※ 本概要では出生高位・低位仮定（死亡高位・低位仮定）の主な推計結果表の掲載を省略した。同表については国立社会保障・人口問題研究所ホームページを参照のこと。



表2-1 総人口、年齢3区分(0～14歳, 15～64歳, 65歳以上)別人口及び年齢構造係数:出生中位(死亡高位)推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 22 (2010)	128,057	16,839	81,735	29,484	13.1	63.8	23.0
23 (2011)	127,690	16,684	81,295	29,711	13.1	63.7	23.3
24 (2012)	127,360	16,492	80,157	30,711	12.9	62.9	24.1
25 (2013)	127,040	16,279	78,972	31,788	12.8	62.2	25.0
26 (2014)	126,674	16,065	77,774	32,836	12.7	61.4	25.9
27 (2015)	126,259	15,825	76,784	33,650	12.5	60.8	26.7
28 (2016)	125,795	15,571	75,941	34,283	12.4	60.4	27.3
29 (2017)	125,283	15,308	75,202	34,773	12.2	60.0	27.8
30 (2018)	124,725	15,052	74,537	35,136	12.1	59.8	28.2
31 (2019)	124,126	14,796	73,960	35,369	11.9	59.6	28.5
32 (2020)	123,488	14,564	73,354	35,571	11.8	59.4	28.8
33 (2021)	122,816	14,314	72,808	35,694	11.7	59.3	29.1
34 (2022)	122,111	14,044	72,347	35,720	11.5	59.2	29.3
35 (2023)	121,378	13,761	71,855	35,762	11.3	59.2	29.5
36 (2024)	120,619	13,499	71,301	35,818	11.2	59.1	29.7
37 (2025)	119,837	13,235	70,775	35,828	11.0	59.1	29.9
38 (2026)	119,034	12,953	70,276	35,805	10.9	59.0	30.1
39 (2027)	118,211	12,701	69,723	35,787	10.7	59.0	30.3
40 (2028)	117,369	12,460	69,109	35,800	10.6	58.9	30.5
41 (2029)	116,509	12,236	68,441	35,832	10.5	58.7	30.8
42 (2030)	115,633	12,033	67,647	35,953	10.4	58.5	31.1
43 (2031)	114,740	11,850	67,139	35,751	10.3	58.5	31.2
44 (2032)	113,830	11,686	66,244	35,900	10.3	58.2	31.5
45 (2033)	112,905	11,538	65,325	36,041	10.2	57.9	31.9
46 (2034)	111,965	11,404	64,353	36,208	10.2	57.5	32.3
47 (2035)	111,011	11,281	63,341	36,389	10.2	57.1	32.8
48 (2036)	110,044	11,165	62,268	36,611	10.1	56.6	33.3
49 (2037)	109,065	11,054	61,141	36,871	10.1	56.1	33.8
50 (2038)	108,075	10,945	59,972	37,158	10.1	55.5	34.4
51 (2039)	107,075	10,836	58,831	37,408	10.1	54.9	34.9
52 (2040)	106,067	10,726	57,780	37,562	10.1	54.5	35.4
53 (2041)	105,052	10,612	56,803	37,637	10.1	54.1	35.8
54 (2042)	104,030	10,493	55,900	37,637	10.1	53.7	36.2
55 (2043)	103,003	10,370	55,032	37,601	10.1	53.4	36.5
56 (2044)	101,974	10,242	54,224	37,508	10.0	53.2	36.8
57 (2045)	100,941	10,109	53,447	37,386	10.0	52.9	37.0
58 (2046)	99,908	9,971	52,725	37,212	10.0	52.8	37.2
59 (2047)	98,873	9,828	52,014	37,031	9.9	52.6	37.5
60 (2048)	97,839	9,682	51,301	36,856	9.9	52.4	37.7
61 (2049)	96,804	9,532	50,598	36,674	9.8	52.3	37.9
62 (2050)	95,769	9,380	49,929	36,461	9.8	52.1	38.1
63 (2051)	94,734	9,225	49,301	36,208	9.7	52.0	38.2
64 (2052)	93,699	9,070	48,688	35,941	9.7	52.0	38.4
65 (2053)	92,662	8,914	48,095	35,653	9.6	51.9	38.5
66 (2054)	91,623	8,759	47,527	35,337	9.6	51.9	38.6
67 (2055)	90,582	8,606	46,977	34,998	9.5	51.9	38.6
68 (2056)	89,537	8,457	46,434	34,646	9.4	51.9	38.7
69 (2057)	88,489	8,311	45,869	34,309	9.4	51.8	38.8
70 (2058)	87,437	8,170	45,304	33,963	9.3	51.8	38.8
71 (2059)	86,381	8,034	44,704	33,643	9.3	51.8	38.9
72 (2060)	85,321	7,904	44,096	33,321	9.3	51.7	39.1

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』(国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口)による。

表2-2 総人口、年齢3区分(0～14歳, 15～64歳, 65歳以上)別人口及び年齢構造係数:出生中位(死亡低位)推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 22 (2010)	128,057	16,839	81,735	29,484	13.1	63.8	23.0
23 (2011)	127,808	16,685	81,310	29,813	13.1	63.6	23.3
24 (2012)	127,624	16,494	80,188	30,943	12.9	62.8	24.2
25 (2013)	127,441	16,282	79,017	32,143	12.8	62.0	25.2
26 (2014)	127,207	16,068	77,829	33,310	12.6	61.2	26.2
27 (2015)	126,917	15,829	76,850	34,239	12.5	60.6	27.0
28 (2016)	126,573	15,576	76,015	34,981	12.3	60.1	27.6
29 (2017)	126,175	15,314	75,285	35,575	12.1	59.7	28.2
30 (2018)	125,726	15,059	74,628	36,038	12.0	59.4	28.7
31 (2019)	125,230	14,804	74,059	36,367	11.8	59.1	29.0
32 (2020)	124,690	14,572	73,459	36,659	11.7	58.9	29.4
33 (2021)	124,111	14,323	72,920	36,868	11.5	58.8	29.7
34 (2022)	123,495	14,054	72,465	36,976	11.4	58.7	29.9
35 (2023)	122,846	13,771	71,980	37,095	11.2	58.6	30.2
36 (2024)	122,168	13,510	71,432	37,226	11.1	58.5	30.5
37 (2025)	121,462	13,246	70,911	37,305	10.9	58.4	30.7
38 (2026)	120,731	12,964	70,417	37,350	10.7	58.3	30.9
39 (2027)	119,977	12,712	69,870	37,395	10.6	58.2	31.2
40 (2028)	119,201	12,471	69,261	37,469	10.5	58.1	31.4
41 (2029)	118,404	12,247	68,597	37,560	10.3	57.9	31.7
42 (2030)	117,588	12,044	67,807	37,737	10.2	57.7	32.1
43 (2031)	116,751	11,861	67,304	37,586	10.2	57.6	32.2
44 (2032)	115,896	11,697	66,411	37,788	10.1	57.3	32.6
45 (2033)	115,023	11,549	65,494	37,979	10.0	56.9	33.0
46 (2034)	114,133	11,415	64,523	38,194	10.0	56.5	33.5
47 (2035)	113,226	11,292	63,513	38,421	10.0	56.1	33.9
48 (2036)	112,304	11,176	62,440	38,688	10.0	55.6	34.4
49 (2037)	111,367	11,065	61,312	38,990	9.9	55.1	35.0
50 (2038)	110,417	10,957	60,141	39,319	9.9	54.5	35.6
51 (2039)	109,454	10,848	58,998	39,607	9.9	53.9	36.2
52 (2040)	108,479	10,737	57,946	39,796	9.9	53.4	36.7
53 (2041)	107,495	10,624	56,968	39,904	9.9	53.0	37.1
54 (2042)	106,501	10,505	56,064	39,932	9.9	52.6	37.5
55 (2043)	105,500	10,382	55,196	39,921	9.8	52.3	37.8
56 (2044)	104,492	10,254	54,387	39,851	9.8	52.0	38.1
57 (2045)	103,480	10,122	53,610	39,749	9.8	51.8	38.4
58 (2046)	102,464	9,984	52,888	39,592	9.7	51.6	38.6
59 (2047)	101,446	9,842	52,177	39,427	9.7	51.4	38.9
60 (2048)	100,426	9,695	51,463	39,267	9.7	51.2	39.1
61 (2049)	99,405	9,546	50,761	39,099	9.6	51.1	39.3
62 (2050)	98,385	9,394	50,091	38,900	9.5	50.9	39.5
63 (2051)	97,365	9,239	49,464	38,661	9.5	50.8	39.7
64 (2052)	96,345	9,084	48,851	38,410	9.4	50.7	39.9
65 (2053)	95,325	8,928	48,259	38,138	9.4	50.6	40.0
66 (2054)	94,305	8,774	47,691	37,840	9.3	50.6	40.1
67 (2055)	93,285	8,621	47,142	37,522	9.2	50.5	40.2
68 (2056)	92,263	8,471	46,600	37,192	9.2	50.5	40.3
69 (2057)	91,239	8,326	46,035	36,879	9.1	50.5	40.4
70 (2058)	90,213	8,184	45,471	36,557	9.1	50.4	40.5
71 (2059)	89,183	8,049	44,871	36,264	9.0	50.3	40.7
72 (2060)	88,150	7,919	44,263	35,968	9.0	50.2	40.8

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』(国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口)による。

表2-3 人口の平均年齢, および年齢構造指数: 出生中位(死亡中位・高位・低位) 推計

年次	出生中位(死亡中位)推計				出生中位(死亡高位)推計				出生中位(死亡低位)推計			
	平均年齢 (歳)	従属人口指数			平均年齢 (歳)	従属人口指数			平均年齢 (歳)	従属人口指数		
		総数	年少人口	老年人口		総数	年少人口	老年人口		総数	年少人口	老年人口
平成22 (2010)	45.0	56.7	20.6	36.1	45.0	56.7	20.6	36.1	45.0	56.7	20.6	36.1
23 (2011)	45.3	57.1	20.5	36.6	45.3	57.1	20.5	36.5	45.3	57.2	20.5	36.7
24 (2012)	45.6	59.0	20.6	38.5	45.6	58.9	20.6	38.3	45.6	59.2	20.6	38.6
25 (2013)	45.9	61.1	20.6	40.5	45.9	60.9	20.6	40.3	46.0	61.3	20.6	40.7
26 (2014)	46.2	63.2	20.7	42.5	46.1	62.9	20.7	42.2	46.3	63.4	20.6	42.8
27 (2015)	46.5	64.8	20.6	44.2	46.4	64.4	20.6	43.8	46.6	65.2	20.6	44.6
28 (2016)	46.8	66.1	20.5	45.6	46.7	65.6	20.5	45.1	46.9	66.5	20.5	46.0
29 (2017)	47.1	67.1	20.3	46.8	47.0	66.6	20.4	46.2	47.2	67.6	20.3	47.3
30 (2018)	47.4	67.9	20.2	47.7	47.3	67.3	20.2	47.1	47.5	68.5	20.2	48.3
31 (2019)	47.7	68.5	20.0	48.5	47.5	67.8	20.0	47.8	47.8	69.1	20.0	49.1
32 (2020)	48.0	69.1	19.8	49.2	47.8	68.3	19.9	48.5	48.1	69.7	19.8	49.9
33 (2021)	48.3	69.5	19.7	49.8	48.1	68.7	19.7	49.0	48.4	70.2	19.6	50.6
34 (2022)	48.5	69.6	19.4	50.2	48.3	68.8	19.4	49.4	48.7	70.4	19.4	51.0
35 (2023)	48.8	69.8	19.1	50.7	48.6	68.9	19.2	49.8	49.0	70.7	19.1	51.5
36 (2024)	49.1	70.1	18.9	51.2	48.8	69.2	18.9	50.2	49.3	71.0	18.9	52.1
37 (2025)	49.3	70.3	18.7	51.6	49.1	69.3	18.7	50.6	49.5	71.3	18.7	52.6
38 (2026)	49.5	70.4	18.4	52.0	49.3	69.4	18.4	50.9	49.8	71.5	18.4	53.0
39 (2027)	49.8	70.6	18.2	52.4	49.5	69.5	18.2	51.3	50.0	71.7	18.2	53.5
40 (2028)	50.0	71.0	18.0	53.0	49.7	69.8	18.0	51.8	50.3	72.1	18.0	54.1
41 (2029)	50.2	71.4	17.9	53.6	49.9	70.2	17.9	52.4	50.5	72.6	17.9	54.8
42 (2030)	50.4	72.2	17.8	54.4	50.1	70.9	17.8	53.1	50.7	73.4	17.8	55.7
43 (2031)	50.6	72.2	17.6	54.6	50.3	70.9	17.7	53.2	50.9	73.5	17.6	55.8
44 (2032)	50.8	73.2	17.6	55.6	50.5	71.8	17.6	54.2	51.1	74.5	17.6	56.9
45 (2033)	51.0	74.2	17.6	56.6	50.7	72.8	17.7	55.2	51.3	75.6	17.6	58.0
46 (2034)	51.2	75.4	17.7	57.7	50.8	74.0	17.7	56.3	51.5	76.9	17.7	59.2
47 (2035)	51.3	76.8	17.8	59.0	51.0	75.3	17.8	57.4	51.7	78.3	17.8	60.5
48 (2036)	51.5	78.3	17.9	60.4	51.2	76.7	17.9	58.8	51.8	79.9	17.9	62.0
49 (2037)	51.7	80.0	18.1	61.9	51.3	78.4	18.1	60.3	52.0	81.6	18.0	63.6
50 (2038)	51.8	81.9	18.2	63.7	51.4	80.2	18.3	62.0	52.2	83.6	18.2	65.4
51 (2039)	51.9	83.8	18.4	65.4	51.6	82.0	18.4	63.6	52.3	85.5	18.4	67.1
52 (2040)	52.1	85.4	18.5	66.8	51.7	83.6	18.6	65.0	52.5	87.2	18.5	68.7
53 (2041)	52.2	86.8	18.7	68.1	51.8	84.9	18.7	66.3	52.6	88.7	18.6	70.0
54 (2042)	52.4	88.0	18.8	69.3	52.0	86.1	18.8	67.3	52.8	90.0	18.7	71.2
55 (2043)	52.5	89.1	18.8	70.3	52.1	87.2	18.8	68.3	52.9	91.1	18.8	72.3
56 (2044)	52.6	90.1	18.9	71.2	52.2	88.1	18.9	69.2	53.0	92.1	18.9	73.3
57 (2045)	52.8	90.9	18.9	72.0	52.3	88.9	18.9	70.0	53.2	93.0	18.9	74.1
58 (2046)	52.9	91.6	18.9	72.7	52.5	89.5	18.9	70.6	53.3	93.7	18.9	74.9
59 (2047)	53.0	92.2	18.9	73.4	52.6	90.1	18.9	71.2	53.4	94.4	18.9	75.6
60 (2048)	53.1	92.9	18.9	74.1	52.7	90.7	18.9	71.8	53.6	95.1	18.8	76.3
61 (2049)	53.3	93.6	18.8	74.7	52.8	91.3	18.8	72.5	53.7	95.8	18.8	77.0
62 (2050)	53.4	94.1	18.8	75.3	53.0	91.8	18.8	73.0	53.9	96.4	18.8	77.7
63 (2051)	53.5	94.5	18.7	75.8	53.1	92.2	18.7	73.4	54.0	96.8	18.7	78.2
64 (2052)	53.7	94.8	18.6	76.2	53.2	92.4	18.6	73.8	54.1	97.2	18.6	78.6
65 (2053)	53.8	95.1	18.5	76.6	53.4	92.7	18.5	74.1	54.3	97.5	18.5	79.0
66 (2054)	53.9	95.3	18.4	76.8	53.5	92.8	18.4	74.4	54.4	97.7	18.4	79.3
67 (2055)	54.1	95.3	18.3	77.0	53.6	92.8	18.3	74.5	54.6	97.9	18.3	79.6
68 (2056)	54.2	95.4	18.2	77.2	53.7	92.8	18.2	74.6	54.7	98.0	18.2	79.8
69 (2057)	54.3	95.5	18.1	77.4	53.8	92.9	18.1	74.8	54.8	98.2	18.1	80.1
70 (2058)	54.4	95.7	18.0	77.7	53.9	93.0	18.0	75.0	54.9	98.4	18.0	80.4
71 (2059)	54.5	96.0	18.0	78.0	54.0	93.2	18.0	75.3	55.1	98.8	17.9	80.8
72 (2060)	54.6	96.3	17.9	78.4	54.1	93.5	17.9	75.6	55.2	99.2	17.9	81.3

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』(国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口)による。従属人口指数とは、従属人口を生産年齢人口(15~64歳人口)で除した比であり、本表では生産年齢人口100に対する従属人口を表している。従属人口のうち年少人口(0~14歳人口)のみを除した比を年少従属人口指数、老年人口(65歳以上人口)のみを除した比を老年従属人口指数と呼び、表では単に年少人口、老年人口と標記している。従属人口指数は年少従属人口指数と老年従属人口指数の和となる。

図2-1 総人口の推移  
 — 出生中位(死亡中位・高位・低位)推計 —

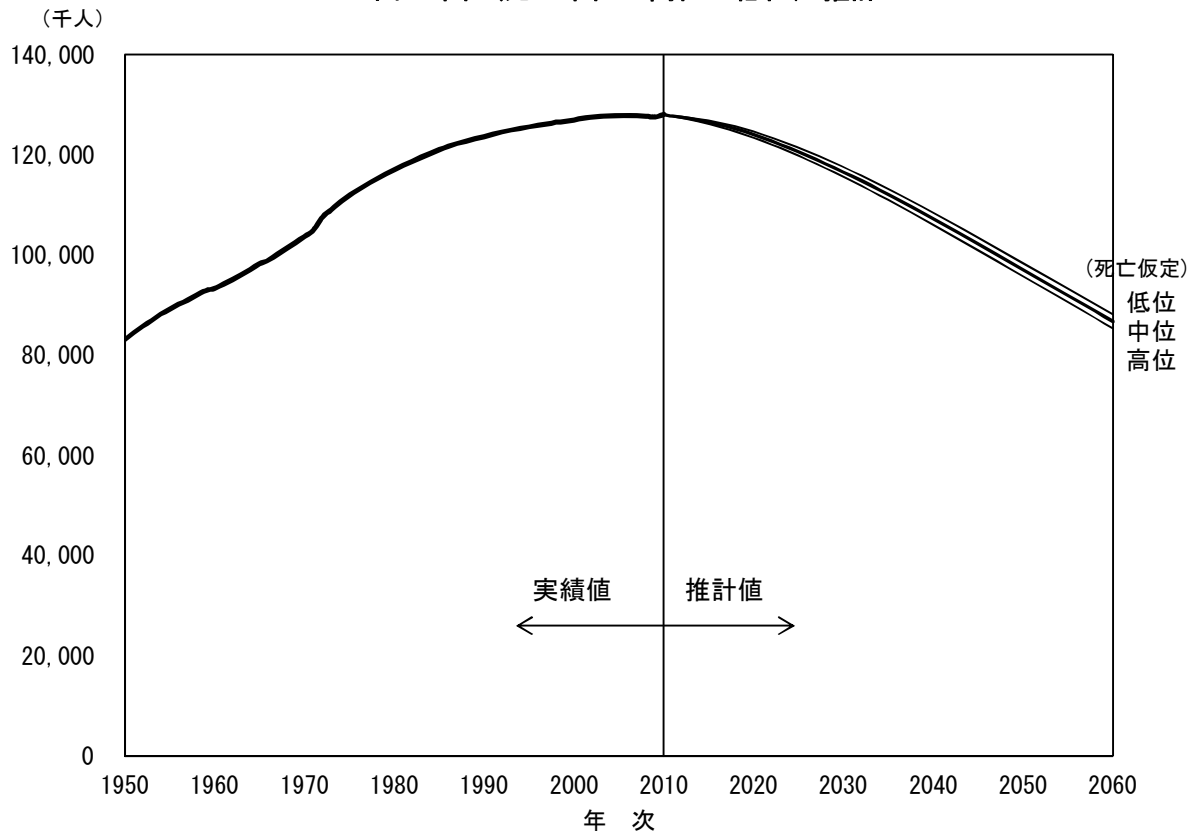
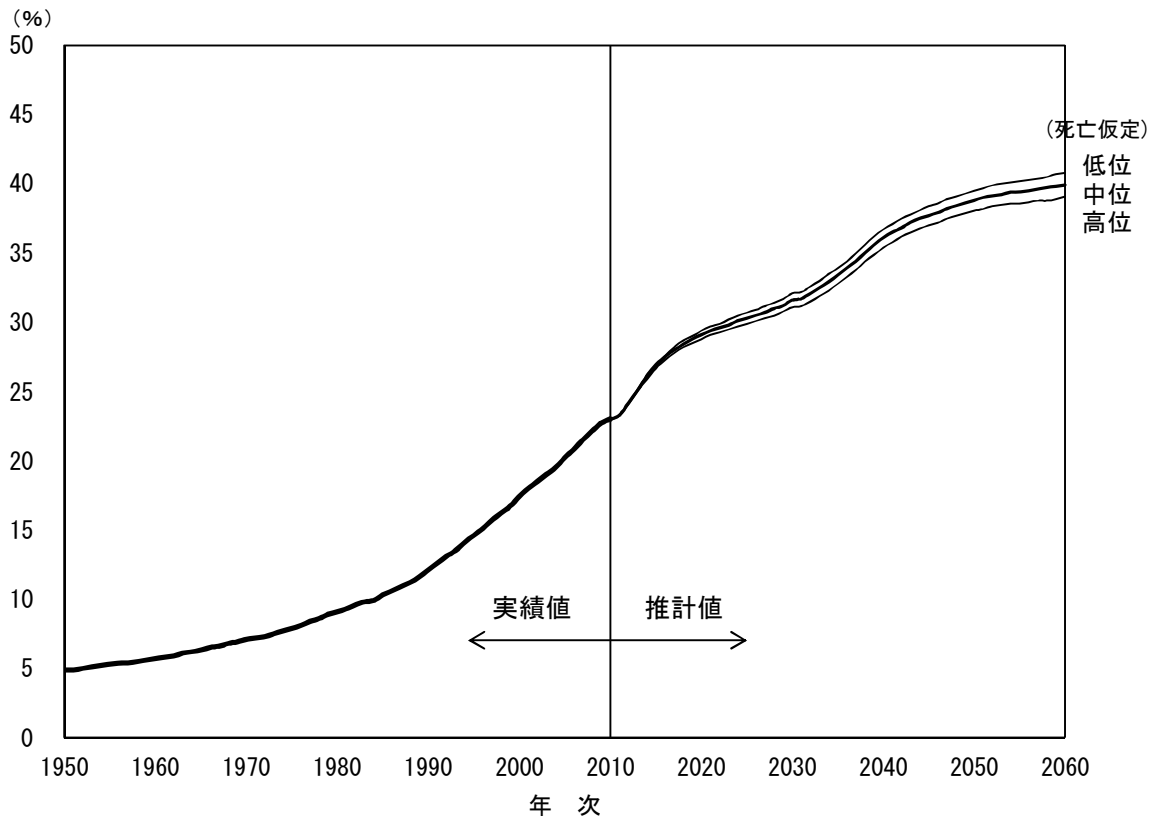


図2-2 老年(65歳以上)人口割合の推移  
 — 出生中位(死亡中位・高位・低位)推計 —





## 《各種推計結果比較》



表3-1 総人口：出生中位・高位・低位(死亡中位・高位・低位)各推計値

(1,000人)

年次	死亡中位仮定			死亡高位仮定			死亡低位仮定		
	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位
平成 22 (2010)	128,057	128,057	128,057	128,057	128,057	128,057	128,057	128,057	128,057
23 (2011)	127,753	127,785	127,710	127,690	127,722	127,648	127,808	127,841	127,766
24 (2012)	127,498	127,582	127,388	127,360	127,445	127,251	127,624	127,709	127,515
25 (2013)	127,247	127,402	127,054	127,040	127,194	126,847	127,441	127,595	127,248
26 (2014)	126,949	127,191	126,655	126,674	126,917	126,381	127,207	127,450	126,914
27 (2015)	126,597	126,947	126,188	126,259	126,609	125,850	126,917	127,268	126,508
28 (2016)	126,193	126,669	125,657	125,795	126,270	125,258	126,573	127,049	126,036
29 (2017)	125,739	126,356	125,066	125,283	125,900	124,610	126,175	126,792	125,501
30 (2018)	125,236	126,006	124,421	124,725	125,495	123,911	125,726	126,496	124,911
31 (2019)	124,689	125,620	123,729	124,126	125,057	123,167	125,230	126,161	124,270
32 (2020)	124,100	125,196	122,996	123,488	124,584	122,385	124,690	125,786	123,586
33 (2021)	123,474	124,735	122,226	122,816	124,076	121,568	124,111	125,372	122,862
34 (2022)	122,813	124,239	121,423	122,111	123,536	120,721	123,495	124,921	122,104
35 (2023)	122,122	123,709	120,592	121,378	122,964	119,848	122,846	124,434	121,315
36 (2024)	121,403	123,149	119,735	120,619	122,364	118,952	122,168	123,914	120,499
37 (2025)	120,659	122,559	118,855	119,837	121,737	118,034	121,462	123,363	119,657
38 (2026)	119,891	121,943	117,954	119,034	121,085	117,097	120,731	122,784	118,793
39 (2027)	119,102	121,302	117,034	118,211	120,410	116,143	119,977	122,178	117,907
40 (2028)	118,293	120,638	116,095	117,369	119,713	115,172	119,201	121,547	117,002
41 (2029)	117,465	119,951	115,139	116,509	118,994	114,185	118,404	120,891	116,077
42 (2030)	116,618	119,243	114,166	115,633	118,257	113,183	117,588	120,214	115,135
43 (2031)	115,752	118,514	113,176	114,740	117,500	112,164	116,751	119,515	114,174
44 (2032)	114,870	117,767	112,169	113,830	116,726	111,131	115,896	118,795	113,195
45 (2033)	113,970	117,003	111,146	112,905	115,936	110,082	115,023	118,057	112,198
46 (2034)	113,054	116,222	110,106	111,965	115,131	109,018	114,133	117,302	111,183
47 (2035)	112,124	115,427	109,051	111,011	114,313	107,940	113,226	116,531	110,152
48 (2036)	111,179	114,620	107,980	110,044	113,483	106,848	112,304	115,747	109,104
49 (2037)	110,220	113,802	106,895	109,065	112,644	105,742	111,367	114,950	108,040
50 (2038)	109,250	112,974	105,796	108,075	111,798	104,623	110,417	114,143	106,961
51 (2039)	108,268	112,140	104,683	107,075	110,945	103,492	109,454	113,328	105,867
52 (2040)	107,276	111,300	103,557	106,067	110,089	102,350	108,479	112,506	104,758
53 (2041)	106,275	110,457	102,419	105,052	109,230	101,198	107,495	111,679	103,637
54 (2042)	105,267	109,611	101,271	104,030	108,371	100,037	106,501	110,848	102,503
55 (2043)	104,253	108,766	100,114	103,003	107,514	98,868	105,500	110,016	101,359
56 (2044)	103,233	107,921	98,949	101,974	106,658	97,692	104,492	109,183	100,206
57 (2045)	102,210	107,078	97,777	100,941	105,806	96,511	103,480	108,351	99,044
58 (2046)	101,185	106,239	96,600	99,908	104,958	95,326	102,464	107,521	97,876
59 (2047)	100,158	105,403	95,420	98,873	104,114	94,138	101,446	106,694	96,704
60 (2048)	99,131	104,570	94,237	97,839	103,274	92,948	100,426	105,869	95,528
61 (2049)	98,103	103,741	93,052	96,804	102,438	91,756	99,405	105,047	94,350
62 (2050)	97,076	102,915	91,866	95,769	101,604	90,564	98,385	104,229	93,171
63 (2051)	96,048	102,091	90,680	94,734	100,772	89,370	97,365	103,412	91,992
64 (2052)	95,021	101,269	89,493	93,699	99,941	88,176	96,345	102,597	90,813
65 (2053)	93,993	100,446	88,307	92,662	99,110	86,981	95,325	101,783	89,635
66 (2054)	92,964	99,623	87,120	91,623	98,276	85,784	94,305	100,969	88,457
67 (2055)	91,933	98,797	85,933	90,582	97,439	84,586	93,285	100,154	87,279
68 (2056)	90,901	97,967	84,744	89,537	96,597	83,386	92,263	99,336	86,101
69 (2057)	89,865	97,134	83,554	88,489	95,751	82,184	91,239	98,514	84,923
70 (2058)	88,826	96,295	82,362	87,437	94,898	80,979	90,213	97,688	83,743
71 (2059)	87,783	95,450	81,168	86,381	94,040	79,772	89,183	96,857	82,562
72 (2060)	86,737	94,600	79,972	85,321	93,177	78,563	88,150	96,021	81,378

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』(国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口)による。

表3-2 年少人口割合（0～14歳）：出生中位・高位・低位（死亡中位・高位・低位）各推計値（％）

年次	死亡中位仮定			死亡高位仮定			死亡低位仮定		
	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位
平成 22 (2010)	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1
23 (2011)	13.1	13.1	13.0	13.1	13.1	13.0	13.1	13.1	13.0
24 (2012)	12.9	13.0	12.9	12.9	13.0	12.9	12.9	13.0	12.8
25 (2013)	12.8	12.9	12.7	12.8	12.9	12.7	12.8	12.9	12.6
26 (2014)	12.7	12.8	12.5	12.7	12.8	12.5	12.6	12.8	12.4
27 (2015)	12.5	12.7	12.2	12.5	12.8	12.2	12.5	12.7	12.2
28 (2016)	12.3	12.7	12.0	12.4	12.7	12.0	12.3	12.6	11.9
29 (2017)	12.2	12.6	11.7	12.2	12.6	11.7	12.1	12.6	11.7
30 (2018)	12.0	12.6	11.4	12.1	12.6	11.5	12.0	12.5	11.4
31 (2019)	11.9	12.5	11.2	11.9	12.6	11.2	11.8	12.5	11.1
32 (2020)	11.7	12.5	10.9	11.8	12.6	11.0	11.7	12.5	10.9
33 (2021)	11.6	12.5	10.7	11.7	12.6	10.7	11.5	12.4	10.6
34 (2022)	11.4	12.5	10.4	11.5	12.5	10.5	11.4	12.4	10.4
35 (2023)	11.3	12.4	10.1	11.3	12.5	10.2	11.2	12.3	10.1
36 (2024)	11.1	12.4	9.9	11.2	12.5	9.9	11.1	12.3	9.8
37 (2025)	11.0	12.4	9.6	11.0	12.4	9.7	10.9	12.3	9.6
38 (2026)	10.8	12.3	9.4	10.9	12.4	9.4	10.7	12.2	9.3
39 (2027)	10.7	12.2	9.2	10.7	12.3	9.2	10.6	12.1	9.1
40 (2028)	10.5	12.2	9.0	10.6	12.2	9.1	10.5	12.1	8.9
41 (2029)	10.4	12.1	8.9	10.5	12.2	8.9	10.3	12.0	8.8
42 (2030)	10.3	12.0	8.7	10.4	12.1	8.8	10.2	11.9	8.7
43 (2031)	10.2	11.9	8.7	10.3	12.0	8.7	10.2	11.8	8.6
44 (2032)	10.2	11.9	8.6	10.3	12.0	8.7	10.1	11.8	8.5
45 (2033)	10.1	11.8	8.6	10.2	11.9	8.6	10.0	11.7	8.5
46 (2034)	10.1	11.8	8.5	10.2	11.9	8.6	10.0	11.6	8.5
47 (2035)	10.1	11.7	8.5	10.2	11.8	8.6	10.0	11.6	8.5
48 (2036)	10.0	11.7	8.5	10.1	11.8	8.6	10.0	11.5	8.4
49 (2037)	10.0	11.6	8.5	10.1	11.7	8.6	9.9	11.5	8.4
50 (2038)	10.0	11.6	8.5	10.1	11.7	8.6	9.9	11.5	8.4
51 (2039)	10.0	11.6	8.5	10.1	11.7	8.6	9.9	11.4	8.4
52 (2040)	10.0	11.5	8.5	10.1	11.7	8.6	9.9	11.4	8.4
53 (2041)	10.0	11.5	8.5	10.1	11.7	8.6	9.9	11.4	8.4
54 (2042)	10.0	11.5	8.5	10.1	11.6	8.6	9.9	11.4	8.4
55 (2043)	10.0	11.5	8.4	10.1	11.6	8.5	9.8	11.4	8.3
56 (2044)	9.9	11.5	8.4	10.0	11.6	8.5	9.8	11.4	8.3
57 (2045)	9.9	11.5	8.4	10.0	11.6	8.5	9.8	11.4	8.2
58 (2046)	9.9	11.5	8.3	10.0	11.6	8.4	9.7	11.4	8.2
59 (2047)	9.8	11.5	8.2	9.9	11.7	8.3	9.7	11.4	8.1
60 (2048)	9.8	11.5	8.1	9.9	11.7	8.2	9.7	11.4	8.0
61 (2049)	9.7	11.5	8.0	9.8	11.7	8.1	9.6	11.4	7.9
62 (2050)	9.7	11.5	7.9	9.8	11.7	8.1	9.5	11.4	7.8
63 (2051)	9.6	11.5	7.8	9.7	11.7	8.0	9.5	11.4	7.7
64 (2052)	9.6	11.5	7.7	9.7	11.7	7.8	9.4	11.4	7.6
65 (2053)	9.5	11.5	7.6	9.6	11.7	7.7	9.4	11.4	7.5
66 (2054)	9.4	11.5	7.5	9.6	11.7	7.6	9.3	11.4	7.4
67 (2055)	9.4	11.5	7.4	9.5	11.7	7.5	9.2	11.4	7.3
68 (2056)	9.3	11.5	7.3	9.4	11.7	7.4	9.2	11.4	7.2
69 (2057)	9.3	11.5	7.2	9.4	11.7	7.4	9.1	11.4	7.1
70 (2058)	9.2	11.5	7.2	9.3	11.7	7.3	9.1	11.4	7.0
71 (2059)	9.2	11.5	7.1	9.3	11.7	7.2	9.0	11.3	7.0
72 (2060)	9.1	11.5	7.0	9.3	11.6	7.1	9.0	11.3	6.9

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』（国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口）による。

表3-3 生産年齢人口割合（15～64歳）：出生中位・高位・低位（死亡中位・高位・低位）各推計値（%）

年次	死亡中位仮定			死亡高位仮定			死亡低位仮定		
	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位
平成 22 (2010)	63.8	63.8	63.8	63.8	63.8	63.8	63.8	63.8	63.8
23 (2011)	63.6	63.6	63.7	63.7	63.6	63.7	63.6	63.6	63.6
24 (2012)	62.9	62.8	62.9	62.9	62.9	63.0	62.8	62.8	62.9
25 (2013)	62.1	62.0	62.2	62.2	62.1	62.3	62.0	61.9	62.1
26 (2014)	61.3	61.2	61.4	61.4	61.3	61.5	61.2	61.1	61.3
27 (2015)	60.7	60.5	60.9	60.8	60.6	61.0	60.6	60.4	60.7
28 (2016)	60.2	60.0	60.5	60.4	60.1	60.6	60.1	59.8	60.3
29 (2017)	59.8	59.6	60.2	60.0	59.7	60.4	59.7	59.4	60.0
30 (2018)	59.6	59.2	59.9	59.8	59.4	60.2	59.4	59.0	59.7
31 (2019)	59.4	58.9	59.8	59.6	59.1	60.0	59.1	58.7	59.6
32 (2020)	59.2	58.6	59.7	59.4	58.9	59.9	58.9	58.4	59.4
33 (2021)	59.0	58.4	59.6	59.3	58.7	59.9	58.8	58.2	59.4
34 (2022)	59.0	58.3	59.6	59.2	58.6	59.9	58.7	58.0	59.3
35 (2023)	58.9	58.1	59.6	59.2	58.4	60.0	58.6	57.8	59.3
36 (2024)	58.8	58.0	59.6	59.1	58.3	59.9	58.5	57.6	59.3
37 (2025)	58.7	57.8	59.6	59.1	58.1	60.0	58.4	57.5	59.3
38 (2026)	58.7	57.7	59.6	59.0	58.1	60.0	58.3	57.4	59.2
39 (2027)	58.6	57.6	59.5	59.0	58.0	59.9	58.2	57.3	59.2
40 (2028)	58.5	57.5	59.4	58.9	57.9	59.8	58.1	57.1	59.0
41 (2029)	58.3	57.3	59.3	58.7	57.7	59.7	57.9	56.9	58.8
42 (2030)	58.1	57.1	59.0	58.5	57.5	59.4	57.7	56.7	58.5
43 (2031)	58.1	57.1	58.9	58.5	57.5	59.4	57.6	56.7	58.5
44 (2032)	57.7	56.8	58.5	58.2	57.3	59.0	57.3	56.4	58.1
45 (2033)	57.4	56.6	58.1	57.9	57.0	58.6	56.9	56.1	57.7
46 (2034)	57.0	56.2	57.7	57.5	56.7	58.2	56.5	55.8	57.2
47 (2035)	56.6	55.9	57.2	57.1	56.4	57.7	56.1	55.4	56.7
48 (2036)	56.1	55.5	56.6	56.6	56.0	57.1	55.6	55.0	56.1
49 (2037)	55.6	55.0	56.0	56.1	55.5	56.5	55.1	54.6	55.5
50 (2038)	55.0	54.6	55.3	55.5	55.1	55.9	54.5	54.1	54.8
51 (2039)	54.4	54.1	54.7	54.9	54.6	55.2	53.9	53.6	54.2
52 (2040)	53.9	53.7	54.1	54.5	54.2	54.7	53.4	53.2	53.6
53 (2041)	53.5	53.4	53.6	54.1	53.9	54.2	53.0	52.9	53.1
54 (2042)	53.2	53.1	53.2	53.7	53.6	53.8	52.6	52.6	52.7
55 (2043)	52.9	52.8	52.8	53.4	53.4	53.4	52.3	52.3	52.3
56 (2044)	52.6	52.7	52.5	53.2	53.2	53.1	52.0	52.1	51.9
57 (2045)	52.4	52.5	52.2	52.9	53.0	52.8	51.8	51.9	51.6
58 (2046)	52.2	52.3	52.0	52.8	52.9	52.6	51.6	51.8	51.4
59 (2047)	52.0	52.2	51.7	52.6	52.8	52.3	51.4	51.7	51.1
60 (2048)	51.8	52.1	51.5	52.4	52.7	52.1	51.2	51.5	50.9
61 (2049)	51.7	52.0	51.2	52.3	52.5	51.9	51.1	51.4	50.6
62 (2050)	51.5	51.9	51.0	52.1	52.4	51.7	50.9	51.3	50.4
63 (2051)	51.4	51.8	50.9	52.0	52.4	51.5	50.8	51.2	50.2
64 (2052)	51.3	51.8	50.7	52.0	52.4	51.4	50.7	51.2	50.1
65 (2053)	51.3	51.7	50.6	51.9	52.3	51.3	50.6	51.1	49.9
66 (2054)	51.2	51.7	50.5	51.9	52.4	51.2	50.6	51.1	49.8
67 (2055)	51.2	51.8	50.4	51.9	52.4	51.1	50.5	51.1	49.7
68 (2056)	51.2	51.8	50.3	51.9	52.5	51.0	50.5	51.2	49.6
69 (2057)	51.1	51.8	50.2	51.8	52.5	50.9	50.5	51.2	49.4
70 (2058)	51.1	51.9	50.0	51.8	52.5	50.8	50.4	51.2	49.3
71 (2059)	51.0	51.9	49.9	51.8	52.6	50.6	50.3	51.2	49.1
72 (2060)	50.9	51.9	49.7	51.7	52.6	50.4	50.2	51.2	48.9

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』（国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口）による。

表3-4 老年人口割合（65歳以上）：出生中位・高位・低位（死亡中位・高位・低位）各推計値（％）

年次	死亡中位仮定			死亡高位仮定			死亡低位仮定		
	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位
平成 22 (2010)	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0
23 (2011)	23.3	23.3	23.3	23.3	23.3	23.3	23.3	23.3	23.3
24 (2012)	24.2	24.2	24.2	24.1	24.1	24.1	24.2	24.2	24.3
25 (2013)	25.1	25.1	25.2	25.0	25.0	25.1	25.2	25.2	25.3
26 (2014)	26.1	26.0	26.1	25.9	25.9	26.0	26.2	26.1	26.2
27 (2015)	26.8	26.7	26.9	26.7	26.6	26.7	27.0	26.9	27.1
28 (2016)	27.5	27.3	27.6	27.3	27.2	27.4	27.6	27.5	27.8
29 (2017)	28.0	27.8	28.1	27.8	27.6	27.9	28.2	28.1	28.3
30 (2018)	28.4	28.2	28.6	28.2	28.0	28.4	28.7	28.5	28.9
31 (2019)	28.8	28.6	29.0	28.5	28.3	28.7	29.0	28.8	29.3
32 (2020)	29.1	28.9	29.4	28.8	28.6	29.1	29.4	29.1	29.7
33 (2021)	29.4	29.1	29.7	29.1	28.8	29.4	29.7	29.4	30.0
34 (2022)	29.6	29.3	29.9	29.3	28.9	29.6	29.9	29.6	30.3
35 (2023)	29.8	29.5	30.2	29.5	29.1	29.8	30.2	29.8	30.6
36 (2024)	30.1	29.7	30.5	29.7	29.3	30.1	30.5	30.0	30.9
37 (2025)	30.3	29.8	30.8	29.9	29.4	30.4	30.7	30.2	31.2
38 (2026)	30.5	30.0	31.0	30.1	29.6	30.6	30.9	30.4	31.4
39 (2027)	30.7	30.2	31.3	30.3	29.7	30.8	31.2	30.6	31.7
40 (2028)	31.0	30.4	31.6	30.5	29.9	31.1	31.4	30.8	32.0
41 (2029)	31.2	30.6	31.9	30.8	30.1	31.4	31.7	31.1	32.4
42 (2030)	31.6	30.9	32.3	31.1	30.4	31.8	32.1	31.4	32.8
43 (2031)	31.7	30.9	32.4	31.2	30.4	31.9	32.2	31.4	32.9
44 (2032)	32.1	31.3	32.8	31.5	30.8	32.3	32.6	31.8	33.4
45 (2033)	32.5	31.6	33.3	31.9	31.1	32.7	33.0	32.2	33.9
46 (2034)	32.9	32.0	33.8	32.3	31.4	33.2	33.5	32.6	34.4
47 (2035)	33.4	32.4	34.3	32.8	31.8	33.7	33.9	33.0	34.9
48 (2036)	33.9	32.8	34.9	33.3	32.3	34.3	34.4	33.4	35.5
49 (2037)	34.4	33.3	35.5	33.8	32.7	34.9	35.0	33.9	36.1
50 (2038)	35.0	33.8	36.1	34.4	33.2	35.5	35.6	34.4	36.8
51 (2039)	35.6	34.3	36.8	34.9	33.7	36.1	36.2	34.9	37.4
52 (2040)	36.1	34.8	37.3	35.4	34.1	36.7	36.7	35.4	38.0
53 (2041)	36.5	35.1	37.9	35.8	34.5	37.2	37.1	35.7	38.5
54 (2042)	36.8	35.4	38.3	36.2	34.7	37.6	37.5	36.0	39.0
55 (2043)	37.2	35.6	38.7	36.5	35.0	38.0	37.8	36.3	39.4
56 (2044)	37.5	35.8	39.1	36.8	35.2	38.4	38.1	36.5	39.8
57 (2045)	37.7	36.0	39.4	37.0	35.3	38.7	38.4	36.7	40.1
58 (2046)	37.9	36.1	39.7	37.2	35.5	39.0	38.6	36.8	40.5
59 (2047)	38.2	36.3	40.1	37.5	35.6	39.3	38.9	37.0	40.8
60 (2048)	38.4	36.4	40.4	37.7	35.7	39.7	39.1	37.1	41.1
61 (2049)	38.6	36.5	40.7	37.9	35.8	40.0	39.3	37.2	41.4
62 (2050)	38.8	36.6	41.0	38.1	35.9	40.3	39.5	37.3	41.8
63 (2051)	39.0	36.7	41.3	38.2	35.9	40.5	39.7	37.4	42.0
64 (2052)	39.1	36.7	41.5	38.4	36.0	40.8	39.9	37.4	42.3
65 (2053)	39.2	36.7	41.8	38.5	36.0	41.0	40.0	37.5	42.5
66 (2054)	39.4	36.7	42.0	38.6	36.0	41.2	40.1	37.5	42.8
67 (2055)	39.4	36.7	42.2	38.6	35.9	41.4	40.2	37.5	43.0
68 (2056)	39.5	36.7	42.4	38.7	35.9	41.5	40.3	37.4	43.2
69 (2057)	39.6	36.6	42.6	38.8	35.8	41.7	40.4	37.4	43.4
70 (2058)	39.7	36.6	42.8	38.8	35.8	41.9	40.5	37.4	43.7
71 (2059)	39.8	36.6	43.1	38.9	35.8	42.2	40.7	37.4	43.9
72 (2060)	39.9	36.6	43.3	39.1	35.8	42.4	40.8	37.5	44.2

各年10月1日現在人口。平成22(2010)年は、総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』（国籍・年齢「不詳人口」をあん分補正した人口）による。

《 仮 定 値 》





表4-1 合計特殊出生率の推移

年次	中位	高位	低位
平成 22 (2010)	1.3873	1.3873	1.3873
23 (2011)	1.3879	1.4441	1.3138
24 (2012)	1.3705	1.4467	1.2746
25 (2013)	1.3897	1.4930	1.2663
26 (2014)	1.3864	1.5198	1.2361
27 (2015)	1.3798	1.5454	1.2043
28 (2016)	1.3715	1.5682	1.1743
29 (2017)	1.3626	1.5868	1.1486
30 (2018)	1.3539	1.6000	1.1279
31 (2019)	1.3461	1.6078	1.1124
32 (2020)	1.3397	1.6111	1.1017
33 (2021)	1.3348	1.6110	1.0949
34 (2022)	1.3315	1.6090	1.0911
35 (2023)	1.3298	1.6064	1.0899
36 (2024)	1.3294	1.6038	1.0906
37 (2025)	1.3302	1.6016	1.0925
38 (2026)	1.3316	1.5998	1.0952
39 (2027)	1.3333	1.5981	1.0981
40 (2028)	1.3348	1.5966	1.1008
41 (2029)	1.3361	1.5952	1.1032
42 (2030)	1.3373	1.5939	1.1053
43 (2031)	1.3383	1.5927	1.1072
44 (2032)	1.3392	1.5919	1.1089
45 (2033)	1.3401	1.5913	1.1104
46 (2034)	1.3410	1.5909	1.1118
47 (2035)	1.3418	1.5905	1.1131
48 (2036)	1.3425	1.5903	1.1144
49 (2037)	1.3433	1.5903	1.1156
50 (2038)	1.3441	1.5903	1.1168
51 (2039)	1.3449	1.5904	1.1180
52 (2040)	1.3457	1.5906	1.1192
53 (2041)	1.3465	1.5908	1.1203
54 (2042)	1.3472	1.5912	1.1213
55 (2043)	1.3479	1.5916	1.1222
56 (2044)	1.3486	1.5921	1.1230
57 (2045)	1.3492	1.5926	1.1236
58 (2046)	1.3497	1.5932	1.1241
59 (2047)	1.3502	1.5938	1.1244
60 (2048)	1.3505	1.5944	1.1246
61 (2049)	1.3508	1.5950	1.1246
62 (2050)	1.3509	1.5955	1.1245
63 (2051)	1.3510	1.5960	1.1242
64 (2052)	1.3510	1.5965	1.1239
65 (2053)	1.3510	1.5969	1.1235
66 (2054)	1.3509	1.5973	1.1231
67 (2055)	1.3508	1.5975	1.1227
68 (2056)	1.3507	1.5978	1.1224
69 (2057)	1.3507	1.5980	1.1222
70 (2058)	1.3506	1.5982	1.1220
71 (2059)	1.3507	1.5983	1.1219
72 (2060)	1.3507	1.5984	1.1219

人口動態統計と同定義に基づく合計特殊出生率。平成22(2010)年は実績値である。  
死亡中位推計による。

表4-2 平均寿命（出生時の平均余命）の推移

		死亡中位			死亡高位			死亡低位		
		男	女	男女差	男	女	男女差	男	女	男女差
平成	22 (2010)	79.64	86.39	6.75	79.64	86.39	6.75	79.64	86.39	6.75
	23 (2011)	79.27	85.93	6.66	78.59	85.23	6.64	79.89	86.56	6.67
	24 (2012)	79.96	86.67	6.72	79.34	86.05	6.71	80.57	87.30	6.73
	25 (2013)	80.09	86.80	6.72	79.47	86.17	6.71	80.70	87.43	6.73
	26 (2014)	80.21	86.93	6.72	79.59	86.30	6.71	80.83	87.56	6.73
	27 (2015)	80.34	87.05	6.72	79.71	86.42	6.71	80.96	87.69	6.73
	28 (2016)	80.46	87.18	6.72	79.83	86.54	6.71	81.09	87.81	6.73
	29 (2017)	80.58	87.30	6.72	79.95	86.66	6.71	81.21	87.94	6.73
	30 (2018)	80.70	87.42	6.72	80.06	86.77	6.71	81.33	88.06	6.73
	31 (2019)	80.81	87.53	6.72	80.17	86.88	6.71	81.45	88.18	6.73
	32 (2020)	80.93	87.65	6.72	80.28	86.99	6.71	81.57	88.30	6.73
	33 (2021)	81.04	87.76	6.72	80.39	87.10	6.71	81.68	88.41	6.73
	34 (2022)	81.15	87.87	6.72	80.49	87.20	6.71	81.80	88.53	6.73
	35 (2023)	81.25	87.98	6.72	80.59	87.31	6.71	81.91	88.64	6.73
	36 (2024)	81.36	88.08	6.72	80.69	87.41	6.71	82.02	88.75	6.73
	37 (2025)	81.46	88.18	6.72	80.79	87.50	6.71	82.13	88.86	6.73
	38 (2026)	81.56	88.29	6.72	80.89	87.60	6.71	82.24	88.97	6.73
	39 (2027)	81.66	88.39	6.72	80.98	87.69	6.72	82.34	89.08	6.74
	40 (2028)	81.76	88.49	6.72	81.07	87.79	6.72	82.45	89.18	6.74
	41 (2029)	81.86	88.58	6.73	81.16	87.88	6.72	82.55	89.29	6.74
	42 (2030)	81.95	88.68	6.73	81.25	87.97	6.72	82.65	89.39	6.74
	43 (2031)	82.05	88.77	6.73	81.33	88.05	6.72	82.75	89.49	6.74
	44 (2032)	82.14	88.86	6.73	81.42	88.14	6.72	82.85	89.59	6.74
	45 (2033)	82.23	88.96	6.73	81.50	88.22	6.72	82.95	89.69	6.74
	46 (2034)	82.31	89.04	6.73	81.58	88.30	6.72	83.04	89.79	6.74
	47 (2035)	82.40	89.13	6.73	81.66	88.38	6.72	83.14	89.88	6.74
	48 (2036)	82.49	89.22	6.73	81.74	88.46	6.72	83.23	89.97	6.74
	49 (2037)	82.57	89.30	6.73	81.81	88.54	6.72	83.32	90.07	6.74
	50 (2038)	82.65	89.39	6.73	81.89	88.61	6.72	83.42	90.16	6.74
	51 (2039)	82.74	89.47	6.73	81.96	88.69	6.72	83.51	90.25	6.74
	52 (2040)	82.82	89.55	6.73	82.03	88.76	6.72	83.59	90.34	6.75
	53 (2041)	82.89	89.63	6.73	82.10	88.83	6.72	83.68	90.43	6.75
	54 (2042)	82.97	89.71	6.74	82.17	88.90	6.73	83.77	90.51	6.75
	55 (2043)	83.05	89.78	6.74	82.24	88.97	6.73	83.85	90.60	6.75
	56 (2044)	83.12	89.86	6.74	82.31	89.03	6.73	83.94	90.68	6.75
	57 (2045)	83.20	89.94	6.74	82.37	89.10	6.73	84.02	90.77	6.75
	58 (2046)	83.27	90.01	6.74	82.44	89.16	6.73	84.10	90.85	6.75
	59 (2047)	83.34	90.08	6.74	82.50	89.23	6.73	84.18	90.93	6.75
	60 (2048)	83.41	90.15	6.74	82.56	89.29	6.73	84.26	91.01	6.75
	61 (2049)	83.48	90.22	6.74	82.62	89.35	6.73	84.34	91.09	6.75
	62 (2050)	83.55	90.29	6.74	82.68	89.41	6.73	84.42	91.17	6.75
	63 (2051)	83.62	90.36	6.74	82.74	89.47	6.73	84.49	91.25	6.75
	64 (2052)	83.69	90.43	6.74	82.80	89.53	6.73	84.57	91.32	6.76
	65 (2053)	83.75	90.49	6.74	82.85	89.59	6.73	84.64	91.40	6.76
	66 (2054)	83.82	90.56	6.74	82.91	89.64	6.73	84.72	91.47	6.76
	67 (2055)	83.88	90.62	6.74	82.96	89.70	6.73	84.79	91.55	6.76
	68 (2056)	83.94	90.69	6.75	83.02	89.75	6.73	84.86	91.62	6.76
	69 (2057)	84.00	90.75	6.75	83.07	89.81	6.74	84.93	91.69	6.76
	70 (2058)	84.07	90.81	6.75	83.12	89.86	6.74	85.00	91.76	6.76
	71 (2059)	84.13	90.87	6.75	83.17	89.91	6.74	85.07	91.83	6.76
	72 (2060)	84.19	90.93	6.75	83.22	89.96	6.74	85.14	91.90	6.76

平成22(2010)年は実績値である。

表4-3 男女、年齢別日本人入国超過率

期末年齢	男	女	期末年齢	男	女
0	-0.00481	-0.00479	55	-0.00065	-0.00028
1	-0.00386	-0.00386	56	-0.00065	-0.00027
2	-0.00254	-0.00256	57	-0.00068	-0.00026
3	-0.00148	-0.00151	58	-0.00074	-0.00022
4	-0.00114	-0.00117	59	-0.00077	-0.00015
5	-0.00143	-0.00145	60	-0.00074	-0.00006
6	-0.00179	-0.00180	61	-0.00062	0.00001
7	-0.00160	-0.00160	62	-0.00047	0.00006
8	-0.00120	-0.00121	63	-0.00034	0.00010
9	-0.00090	-0.00096	64	-0.00026	0.00014
10	-0.00086	-0.00097	65	-0.00021	0.00017
11	-0.00090	-0.00105	66	-0.00014	0.00018
12	-0.00078	-0.00088	67	-0.00008	0.00017
13	-0.00059	-0.00066	68	-0.00003	0.00015
14	-0.00051	-0.00060	69	0.00000	0.00014
15	-0.00054	-0.00048	70	0.00000	0.00014
16	-0.00060	-0.00033	71	0.00000	0.00014
17	-0.00074	-0.00054	72	0.00000	0.00013
18	-0.00109	-0.00146	73	0.00000	0.00012
19	-0.00151	-0.00259	74	0.00000	0.00009
20	-0.00179	-0.00311	75	0.00000	0.00006
21	-0.00175	-0.00264	76	0.00000	0.00003
22	-0.00135	-0.00148	77	0.00000	0.00000
23	-0.00084	-0.00060	78	0.00000	0.00000
24	-0.00051	-0.00050	79	0.00000	0.00000
25	-0.00037	-0.00077	80	0.00000	0.00000
26	-0.00035	-0.00087	81	0.00000	0.00000
27	-0.00034	-0.00073	82	0.00000	0.00000
28	-0.00041	-0.00072	83	0.00000	0.00000
29	-0.00051	-0.00086	84	0.00000	0.00000
30	-0.00061	-0.00103	85	0.00000	0.00000
31	-0.00064	-0.00111	86	0.00000	0.00000
32	-0.00061	-0.00111	87	0.00000	0.00000
33	-0.00058	-0.00112	88	0.00000	0.00000
34	-0.00055	-0.00114	89	0.00000	0.00000
35	-0.00056	-0.00117	90	0.00000	0.00000
36	-0.00061	-0.00114	91	0.00000	0.00000
37	-0.00064	-0.00107	92	0.00000	0.00000
38	-0.00060	-0.00099	93	0.00000	0.00000
39	-0.00054	-0.00094	94	0.00000	0.00000
40	-0.00050	-0.00090	95	0.00000	0.00000
41	-0.00050	-0.00083	96	0.00000	0.00000
42	-0.00051	-0.00075	97	0.00000	0.00000
43	-0.00048	-0.00068	98	0.00000	0.00000
44	-0.00042	-0.00064	99	0.00000	0.00000
45	-0.00038	-0.00061	100	0.00000	0.00000
46	-0.00040	-0.00058	101	0.00000	0.00000
47	-0.00049	-0.00057	102	0.00000	0.00000
48	-0.00056	-0.00056	103	0.00000	0.00000
49	-0.00058	-0.00056	104	0.00000	0.00000
50	-0.00058	-0.00056	105+	0.00000	0.00000
51	-0.00059	-0.00053			
52	-0.00060	-0.00048			
53	-0.00061	-0.00041			
54	-0.00064	-0.00033			

日本人人口に対する日本人入国超過率。

表4-4 男女別外国人入国超過数

期末年	男	女	期末年	男	女	期末年	男	女
2011	-16,181	-27,508	2018	33,071	36,819	2025	33,596	37,404
2012	14,594	16,248	2019	33,181	36,941	2026	33,637	37,449
2013	32,227	35,880	2020	33,277	37,048	2027	33,673	37,489
2014	32,444	36,121	2021	33,360	37,140	2028	33,703	37,523
2015	32,634	36,332	2022	33,432	37,221	2029	33,730	37,553
2016	32,800	36,517	2023	33,495	37,291	2030	33,753	37,578
2017	32,945	36,678	2024	33,549	37,351			

表4-5 男女、年齢別外国人入国超過年齢割合

期末年齢	男	女	期末年齢	男	女
0	0.00582	0.00627	55	-0.00230	-0.00154
1	0.00592	0.00674	56	-0.00214	-0.00145
2	0.00518	0.00613	57	-0.00231	-0.00145
3	0.00392	0.00470	58	-0.00259	-0.00160
4	0.00265	0.00330	59	-0.00271	-0.00175
5	0.00200	0.00266	60	-0.00255	-0.00187
6	0.00215	0.00304	61	-0.00212	-0.00181
7	0.00263	0.00377	62	-0.00172	-0.00157
8	0.00323	0.00438	63	-0.00150	-0.00128
9	0.00374	0.00458	64	-0.00141	-0.00108
10	0.00399	0.00444	65	-0.00135	-0.00095
11	0.00389	0.00413	66	-0.00114	-0.00080
12	0.00370	0.00407	67	-0.00091	-0.00066
13	0.00449	0.00500	68	-0.00075	-0.00058
14	0.00562	0.00532	69	-0.00067	-0.00052
15	0.00593	0.00597	70	-0.00054	-0.00048
16	0.01169	0.01357	71	-0.00027	-0.00039
17	0.02843	0.03384	72	0.00000	-0.00034
18	0.05056	0.06310	73	0.00010	-0.00028
19	0.07075	0.09067	74	0.00005	-0.00023
20	0.08543	0.10577	75	-0.00009	-0.00023
21	0.09392	0.10366	76	-0.00016	-0.00020
22	0.09787	0.08935	77	-0.00015	-0.00013
23	0.09838	0.07320	78	-0.00009	-0.00005
24	0.09231	0.05994	79	-0.00002	0.00002
25	0.07726	0.04984	80	0.00001	0.00003
26	0.06082	0.04250	81	0.00001	-0.00001
27	0.04972	0.03738	82	-0.00001	-0.00006
28	0.04182	0.03249	83	-0.00002	-0.00006
29	0.03456	0.02696	84	-0.00002	-0.00004
30	0.02766	0.02155	85	-0.00001	-0.00001
31	0.02151	0.01710	86	-0.00001	0.00001
32	0.01699	0.01380	87	-0.00003	0.00001
33	0.01350	0.01146	88	-0.00003	-0.00001
34	0.00953	0.00933	89	0.00000	-0.00002
35	0.00505	0.00723	90	0.00000	0.00000
36	0.00124	0.00550	91	0.00000	0.00000
37	-0.00089	0.00472	92	0.00000	0.00000
38	-0.00127	0.00487	93	0.00000	0.00000
39	-0.00105	0.00514	94	0.00000	0.00000
40	-0.00095	0.00510	95	0.00000	0.00000
41	-0.00117	0.00474	96	0.00000	0.00000
42	-0.00122	0.00415	97	0.00000	0.00000
43	-0.00100	0.00351	98	0.00000	0.00000
44	-0.00089	0.00288	99	0.00000	0.00000
45	-0.00096	0.00225	100	0.00000	0.00000
46	-0.00124	0.00179	101	0.00000	0.00000
47	-0.00141	0.00146	102	0.00000	0.00000
48	-0.00132	0.00110	103	0.00000	0.00000
49	-0.00127	0.00073	104	0.00000	0.00000
50	-0.00157	0.00029	105+	0.00000	0.00000
51	-0.00214	-0.00031			
52	-0.00265	-0.00090			
53	-0.00282	-0.00135			
54	-0.00262	-0.00153			

男女別外国人入国超過数を1とした場合の年齢別割合。

図4-1 合計特殊出生率の推移：中位・高位・低位推計

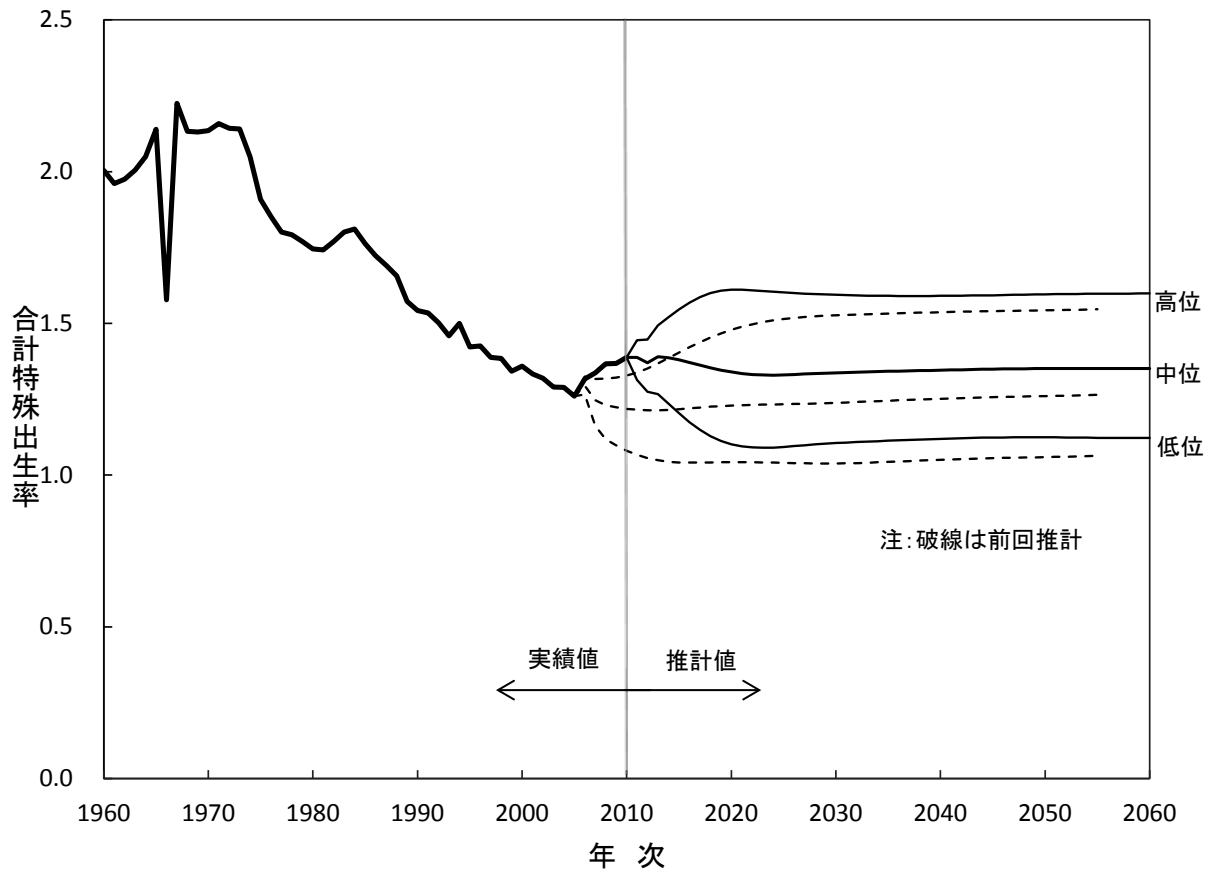


図4-2 平均寿命の推移：中位・高位・低位推計

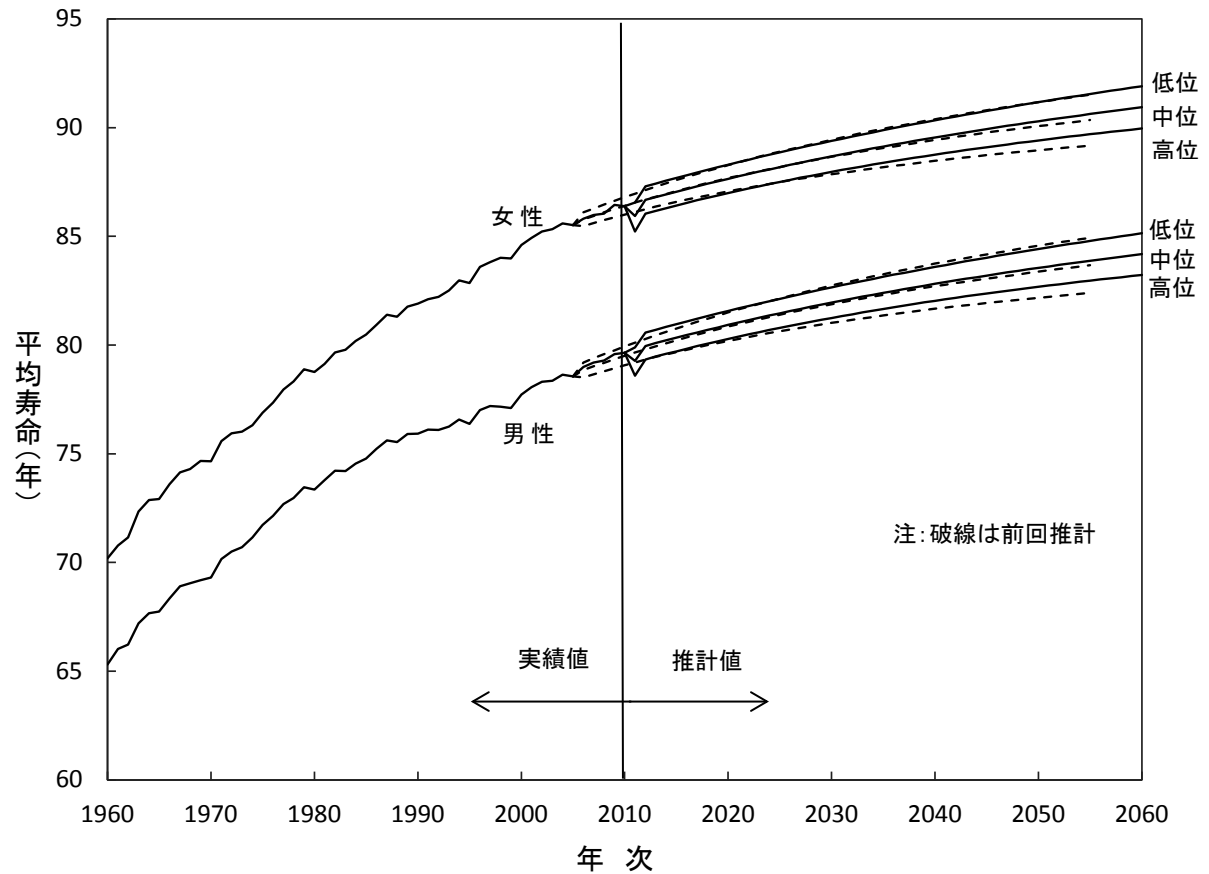


図4-3 男女、年齢別日本人入国超過率

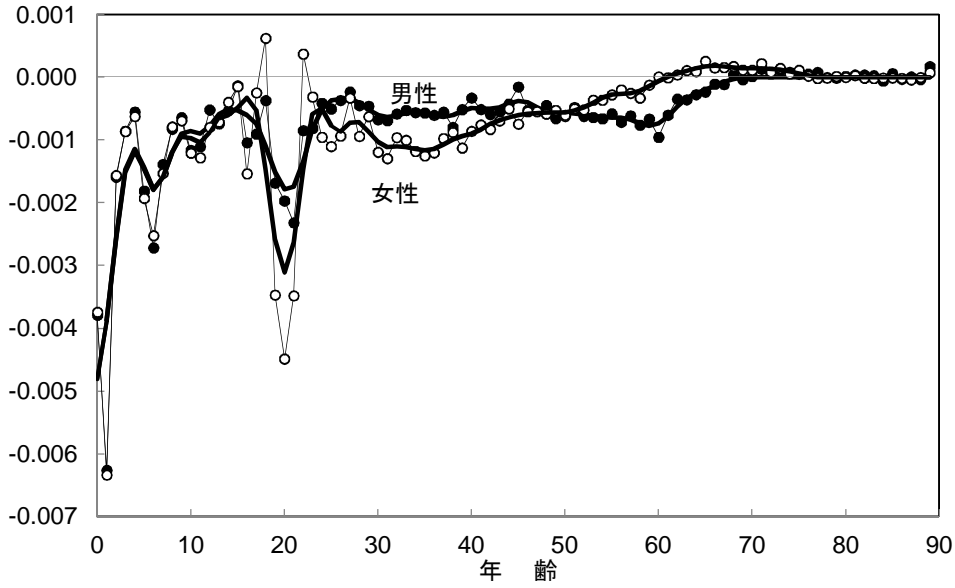


図4-4 外国人入国超過数(男女計)

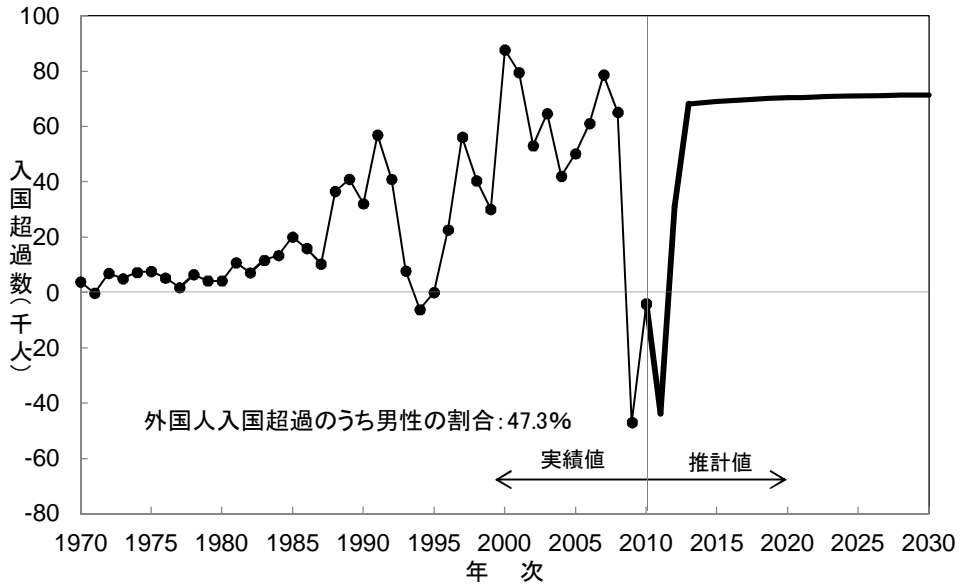
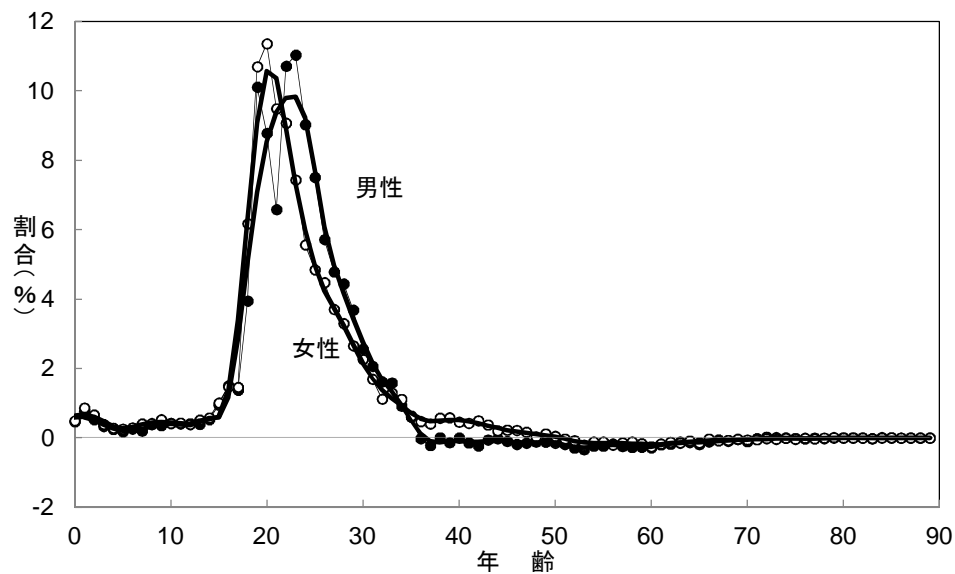


図4-5 男女、年齢別外国人入国超過年齢割合



## 《 参 考 推 計 結 果 》

長期の人口推計分析の参考とするため、平成 73(2061)年から平成 122(2110)年について参考推計を行った。生残率、出生率、出生性比、国際人口移動率は平成 73(2061)年以降一定とした。





参考表1 総人口、年齢3区分(0～14歳, 15～64歳, 65歳以上)別人口及び年齢構造係数:出生中位(死亡中位)推計

年次	人口(1,000人)				割合(%)		
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 73 (2061)	85,680	7,788	43,595	34,296	9.1	50.9	40.0
74 (2062)	84,611	7,671	42,989	33,951	9.1	50.8	40.1
75 (2063)	83,533	7,560	42,368	33,605	9.0	50.7	40.2
76 (2064)	82,446	7,454	41,754	33,238	9.0	50.6	40.3
77 (2065)	81,355	7,354	41,132	32,869	9.0	50.6	40.4
78 (2066)	80,260	7,259	40,512	32,490	9.0	50.5	40.5
79 (2067)	79,165	7,167	39,897	32,100	9.1	50.4	40.5
80 (2068)	78,072	7,080	39,302	31,690	9.1	50.3	40.6
81 (2069)	76,984	6,994	38,718	31,272	9.1	50.3	40.6
82 (2070)	75,904	6,911	38,165	30,829	9.1	50.3	40.6
83 (2071)	74,834	6,828	37,603	30,403	9.1	50.2	40.6
84 (2072)	73,776	6,746	37,029	30,001	9.1	50.2	40.7
85 (2073)	72,731	6,663	36,446	29,622	9.2	50.1	40.7
86 (2074)	71,702	6,580	35,888	29,234	9.2	50.1	40.8
87 (2075)	70,689	6,495	35,329	28,865	9.2	50.0	40.8
88 (2076)	69,693	6,410	34,755	28,528	9.2	49.9	40.9
89 (2077)	68,714	6,323	34,210	28,181	9.2	49.8	41.0
90 (2078)	67,751	6,234	33,678	27,839	9.2	49.7	41.1
91 (2079)	66,805	6,144	33,163	27,498	9.2	49.6	41.2
92 (2080)	65,875	6,053	32,670	27,152	9.2	49.6	41.2
93 (2081)	64,960	5,962	32,197	26,801	9.2	49.6	41.3
94 (2082)	64,060	5,869	31,745	26,445	9.2	49.6	41.3
95 (2083)	63,173	5,777	31,310	26,085	9.1	49.6	41.3
96 (2084)	62,298	5,685	30,890	25,722	9.1	49.6	41.3
97 (2085)	61,434	5,594	30,482	25,358	9.1	49.6	41.3
98 (2086)	60,582	5,504	30,084	24,994	9.1	49.7	41.3
99 (2087)	59,740	5,415	29,693	24,632	9.1	49.7	41.2
100 (2088)	58,907	5,329	29,306	24,273	9.0	49.7	41.2
101 (2089)	58,084	5,244	28,922	23,918	9.0	49.8	41.2
102 (2090)	57,269	5,161	28,540	23,568	9.0	49.8	41.2
103 (2091)	56,463	5,081	28,158	23,224	9.0	49.9	41.1
104 (2092)	55,665	5,004	27,776	22,886	9.0	49.9	41.1
105 (2093)	54,876	4,929	27,393	22,554	9.0	49.9	41.1
106 (2094)	54,095	4,857	27,010	22,227	9.0	49.9	41.1
107 (2095)	53,322	4,788	26,627	21,907	9.0	49.9	41.1
108 (2096)	52,558	4,721	26,245	21,592	9.0	49.9	41.1
109 (2097)	51,803	4,656	25,864	21,282	9.0	49.9	41.1
110 (2098)	51,056	4,593	25,485	20,978	9.0	49.9	41.1
111 (2099)	50,319	4,532	25,108	20,679	9.0	49.9	41.1
112 (2100)	49,591	4,472	24,733	20,386	9.0	49.9	41.1
113 (2101)	48,873	4,414	24,362	20,097	9.0	49.8	41.1
114 (2102)	48,164	4,356	23,994	19,814	9.0	49.8	41.1
115 (2103)	47,465	4,299	23,631	19,535	9.1	49.8	41.2
116 (2104)	46,777	4,243	23,273	19,261	9.1	49.8	41.2
117 (2105)	46,098	4,187	22,921	18,991	9.1	49.7	41.2
118 (2106)	45,430	4,131	22,574	18,725	9.1	49.7	41.2
119 (2107)	44,772	4,075	22,234	18,463	9.1	49.7	41.2
120 (2108)	44,124	4,019	21,901	18,205	9.1	49.6	41.3
121 (2109)	43,487	3,962	21,575	17,949	9.1	49.6	41.3
122 (2110)	42,860	3,906	21,257	17,697	9.1	49.6	41.3

各年10月1日現在人口。

参考表2 総人口, 年齢3区分(0~14歳, 15~64歳, 65歳以上) 別人口及び年齢構造係数: 出生高位(死亡中位) 推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
平成 73 (2061)	93,738	10,754	48,688	34,296	11.5	51.9	36.6
74 (2062)	92,863	10,642	48,269	33,951	11.5	52.0	36.6
75 (2063)	91,976	10,531	47,840	33,605	11.5	52.0	36.5
76 (2064)	91,081	10,421	47,421	33,238	11.4	52.1	36.5
77 (2065)	90,179	10,313	46,997	32,869	11.4	52.1	36.4
78 (2066)	89,274	10,207	46,578	32,490	11.4	52.2	36.4
79 (2067)	88,368	10,103	46,165	32,100	11.4	52.2	36.3
80 (2068)	87,466	10,003	45,773	31,690	11.4	52.3	36.2
81 (2069)	86,568	9,905	45,391	31,272	11.4	52.4	36.1
82 (2070)	85,679	9,811	45,039	30,829	11.5	52.6	36.0
83 (2071)	84,801	9,720	44,678	30,403	11.5	52.7	35.9
84 (2072)	83,936	9,632	44,303	30,001	11.5	52.8	35.7
85 (2073)	83,086	9,547	43,917	29,622	11.5	52.9	35.7
86 (2074)	82,252	9,464	43,554	29,234	11.5	53.0	35.5
87 (2075)	81,436	9,384	43,187	28,865	11.5	53.0	35.4
88 (2076)	80,637	9,306	42,773	28,558	11.5	53.0	35.4
89 (2077)	79,856	9,229	42,368	28,259	11.6	53.1	35.4
90 (2078)	79,093	9,154	41,957	27,982	11.6	53.0	35.4
91 (2079)	78,346	9,079	41,545	27,722	11.6	53.0	35.4
92 (2080)	77,616	9,005	41,134	27,476	11.6	53.0	35.4
93 (2081)	76,900	8,931	40,727	27,241	11.6	53.0	35.4
94 (2082)	76,197	8,857	40,325	27,015	11.6	52.9	35.5
95 (2083)	75,507	8,783	39,929	26,795	11.6	52.9	35.5
96 (2084)	74,829	8,708	39,542	26,579	11.6	52.8	35.5
97 (2085)	74,160	8,633	39,164	26,363	11.6	52.8	35.5
98 (2086)	73,499	8,556	38,795	26,148	11.6	52.8	35.6
99 (2087)	72,847	8,479	38,436	25,932	11.6	52.8	35.6
100 (2088)	72,202	8,401	38,085	25,715	11.6	52.7	35.6
101 (2089)	71,563	8,323	37,742	25,497	11.6	52.7	35.6
102 (2090)	70,929	8,244	37,405	25,280	11.6	52.7	35.6
103 (2091)	70,301	8,165	37,073	25,063	11.6	52.7	35.7
104 (2092)	69,677	8,086	36,746	24,846	11.6	52.7	35.7
105 (2093)	69,059	8,007	36,422	24,629	11.6	52.7	35.7
106 (2094)	68,444	7,928	36,103	24,413	11.6	52.7	35.7
107 (2095)	67,834	7,851	35,787	24,197	11.6	52.8	35.7
108 (2096)	67,229	7,774	35,474	23,981	11.6	52.8	35.7
109 (2097)	66,628	7,698	35,165	23,765	11.6	52.8	35.7
110 (2098)	66,031	7,623	34,858	23,550	11.5	52.8	35.7
111 (2099)	65,439	7,550	34,553	23,336	11.5	52.8	35.7
112 (2100)	64,851	7,478	34,251	23,122	11.5	52.8	35.7
113 (2101)	64,268	7,408	33,950	22,910	11.5	52.8	35.6
114 (2102)	63,690	7,340	33,651	22,699	11.5	52.8	35.6
115 (2103)	63,116	7,273	33,352	22,491	11.5	52.8	35.6
116 (2104)	62,546	7,208	33,053	22,285	11.5	52.8	35.6
117 (2105)	61,980	7,144	32,755	22,081	11.5	52.8	35.6
118 (2106)	61,419	7,081	32,457	21,881	11.5	52.8	35.6
119 (2107)	60,861	7,019	32,159	21,683	11.5	52.8	35.6
120 (2108)	60,308	6,959	31,862	21,488	11.5	52.8	35.6
121 (2109)	59,759	6,899	31,565	21,295	11.5	52.8	35.6
122 (2110)	59,214	6,840	31,269	21,105	11.6	52.8	35.6

各年10月1日現在人口。

参考表3 総人口, 年齢3区分(0~14歳, 15~64歳, 65歳以上) 別人口及び年齢構造係数: 出生低位(死亡中位) 推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
平成 73 (2061)	78,766	5,493	38,977	34,296	7.0	49.5	43.5
74 (2062)	77,550	5,379	38,220	33,951	6.9	49.3	43.8
75 (2063)	76,326	5,275	37,446	33,605	6.9	49.1	44.0
76 (2064)	75,095	5,179	36,678	33,238	6.9	48.8	44.3
77 (2065)	73,860	5,091	35,901	32,869	6.9	48.6	44.5
78 (2066)	72,623	5,009	35,124	32,490	6.9	48.4	44.7
79 (2067)	71,386	4,932	34,354	32,100	6.9	48.1	45.0
80 (2068)	70,152	4,859	33,604	31,690	6.9	47.9	45.2
81 (2069)	68,925	4,788	32,864	31,272	6.9	47.7	45.4
82 (2070)	67,705	4,719	32,157	30,829	7.0	47.5	45.5
83 (2071)	66,496	4,650	31,443	30,403	7.0	47.3	45.7
84 (2072)	65,300	4,580	30,718	30,001	7.0	47.0	45.9
85 (2073)	64,118	4,509	29,987	29,622	7.0	46.8	46.2
86 (2074)	62,952	4,436	29,282	29,234	7.0	46.5	46.4
87 (2075)	61,802	4,360	28,578	28,865	7.1	46.2	46.7
88 (2076)	60,671	4,282	27,899	28,489	7.1	46.0	47.0
89 (2077)	59,557	4,201	27,275	28,080	7.1	45.8	47.1
90 (2078)	58,461	4,119	26,682	27,661	7.0	45.6	47.3
91 (2079)	57,383	4,034	26,122	27,227	7.0	45.5	47.4
92 (2080)	56,321	3,947	25,600	26,774	7.0	45.5	47.5
93 (2081)	55,277	3,860	25,111	26,306	7.0	45.4	47.6
94 (2082)	54,248	3,772	24,651	25,825	7.0	45.4	47.6
95 (2083)	53,234	3,684	24,214	25,336	6.9	45.5	47.6
96 (2084)	52,234	3,596	23,796	24,842	6.9	45.6	47.6
97 (2085)	51,249	3,510	23,391	24,348	6.8	45.6	47.5
98 (2086)	50,276	3,425	22,995	23,856	6.8	45.7	47.4
99 (2087)	49,316	3,343	22,605	23,368	6.8	45.8	47.4
100 (2088)	48,368	3,263	22,218	22,887	6.7	45.9	47.3
101 (2089)	47,433	3,187	21,832	22,414	6.7	46.0	47.3
102 (2090)	46,509	3,113	21,445	21,951	6.7	46.1	47.2
103 (2091)	45,596	3,043	21,056	21,497	6.7	46.2	47.1
104 (2092)	44,696	2,977	20,666	21,053	6.7	46.2	47.1
105 (2093)	43,807	2,914	20,274	20,619	6.7	46.3	47.1
106 (2094)	42,930	2,855	19,880	20,196	6.6	46.3	47.0
107 (2095)	42,066	2,799	19,485	19,782	6.7	46.3	47.0
108 (2096)	41,215	2,745	19,090	19,379	6.7	46.3	47.0
109 (2097)	40,377	2,695	18,696	18,986	6.7	46.3	47.0
110 (2098)	39,553	2,647	18,303	18,603	6.7	46.3	47.0
111 (2099)	38,742	2,601	17,913	18,229	6.7	46.2	47.1
112 (2100)	37,947	2,556	17,526	17,865	6.7	46.2	47.1
113 (2101)	37,166	2,513	17,144	17,510	6.8	46.1	47.1
114 (2102)	36,401	2,470	16,768	17,163	6.8	46.1	47.2
115 (2103)	35,652	2,428	16,398	16,826	6.8	46.0	47.2
116 (2104)	34,919	2,386	16,037	16,496	6.8	45.9	47.2
117 (2105)	34,202	2,345	15,684	16,174	6.9	45.9	47.3
118 (2106)	33,502	2,303	15,341	15,858	6.9	45.8	47.3
119 (2107)	32,818	2,261	15,009	15,549	6.9	45.7	47.4
120 (2108)	32,152	2,218	14,687	15,246	6.9	45.7	47.4
121 (2109)	31,501	2,176	14,377	14,948	6.9	45.6	47.5
122 (2110)	30,867	2,133	14,079	14,655	6.9	45.6	47.5

各年10月1日現在人口。

参考表4 総人口、年齢3区分(0～14歳, 15～64歳, 65歳以上)別人口及び年齢構造係数:出生中位(死亡高位)推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 73 (2061)	84,252	7,781	43,508	32,964	9.2	51.6	39.1
74 (2062)	83,174	7,663	42,902	32,608	9.2	51.6	39.2
75 (2063)	82,088	7,552	42,281	32,255	9.2	51.5	39.3
76 (2064)	80,997	7,446	41,667	31,883	9.2	51.4	39.4
77 (2065)	79,904	7,346	41,046	31,512	9.2	51.4	39.4
78 (2066)	78,810	7,251	40,426	31,133	9.2	51.3	39.5
79 (2067)	77,719	7,160	39,811	30,748	9.2	51.2	39.6
80 (2068)	76,633	7,072	39,217	30,344	9.2	51.2	39.6
81 (2069)	75,555	6,987	38,633	29,935	9.2	51.1	39.6
82 (2070)	74,487	6,903	38,080	29,504	9.3	51.1	39.6
83 (2071)	73,432	6,821	37,518	29,093	9.3	51.1	39.6
84 (2072)	72,390	6,738	36,945	28,707	9.3	51.0	39.7
85 (2073)	71,364	6,656	36,363	28,345	9.3	51.0	39.7
86 (2074)	70,354	6,572	35,805	27,976	9.3	50.9	39.8
87 (2075)	69,360	6,488	35,247	27,626	9.4	50.8	39.8
88 (2076)	68,384	6,402	34,674	27,309	9.4	50.7	39.9
89 (2077)	67,425	6,315	34,130	26,981	9.4	50.6	40.0
90 (2078)	66,483	6,226	33,599	26,658	9.4	50.5	40.1
91 (2079)	65,557	6,136	33,085	26,335	9.4	50.5	40.2
92 (2080)	64,645	6,046	32,592	26,008	9.4	50.4	40.2
93 (2081)	63,748	5,954	32,121	25,674	9.3	50.4	40.3
94 (2082)	62,864	5,862	31,669	25,334	9.3	50.4	40.3
95 (2083)	61,993	5,769	31,234	24,989	9.3	50.4	40.3
96 (2084)	61,133	5,678	30,815	24,640	9.3	50.4	40.3
97 (2085)	60,284	5,586	30,408	24,289	9.3	50.4	40.3
98 (2086)	59,444	5,496	30,010	23,938	9.2	50.5	40.3
99 (2087)	58,615	5,408	29,619	23,588	9.2	50.5	40.2
100 (2088)	57,794	5,321	29,233	23,241	9.2	50.6	40.2
101 (2089)	56,982	5,236	28,850	22,897	9.2	50.6	40.2
102 (2090)	56,179	5,154	28,467	22,558	9.2	50.7	40.2
103 (2091)	55,384	5,074	28,086	22,224	9.2	50.7	40.1
104 (2092)	54,597	4,997	27,704	21,897	9.2	50.7	40.1
105 (2093)	53,818	4,922	27,322	21,575	9.1	50.8	40.1
106 (2094)	53,048	4,850	26,939	21,259	9.1	50.8	40.1
107 (2095)	52,287	4,780	26,557	20,949	9.1	50.8	40.1
108 (2096)	51,534	4,713	26,175	20,645	9.1	50.8	40.1
109 (2097)	50,790	4,648	25,795	20,347	9.2	50.8	40.1
110 (2098)	50,055	4,586	25,416	20,054	9.2	50.8	40.1
111 (2099)	49,330	4,525	25,039	19,766	9.2	50.8	40.1
112 (2100)	48,614	4,465	24,665	19,484	9.2	50.7	40.1
113 (2101)	47,909	4,406	24,295	19,208	9.2	50.7	40.1
114 (2102)	47,213	4,349	23,928	18,936	9.2	50.7	40.1
115 (2103)	46,527	4,292	23,565	18,670	9.2	50.6	40.1
116 (2104)	45,852	4,236	23,208	18,408	9.2	50.6	40.1
117 (2105)	45,186	4,180	22,856	18,151	9.2	50.6	40.2
118 (2106)	44,531	4,124	22,510	17,898	9.3	50.5	40.2
119 (2107)	43,886	4,068	22,171	17,648	9.3	50.5	40.2
120 (2108)	43,252	4,012	21,838	17,402	9.3	50.5	40.2
121 (2109)	42,628	3,955	21,513	17,159	9.3	50.5	40.3
122 (2110)	42,014	3,899	21,196	16,919	9.3	50.4	40.3

各年10月1日現在人口。

参考表5 総人口、年齢3区分(0～14歳, 15～64歳, 65歳以上)別人口及び年齢構造係数:出生中位(死亡低位)推計

年次	人 口 (1,000人)				割 合 (%)		
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 73 (2061)	87,105	7,795	43,675	35,635	8.9	50.1	40.9
74 (2062)	86,047	7,678	43,069	35,300	8.9	50.1	41.0
75 (2063)	84,977	7,566	42,448	34,963	8.9	50.0	41.1
76 (2064)	83,897	7,461	41,834	34,602	8.9	49.9	41.2
77 (2065)	82,808	7,361	41,211	34,237	8.9	49.8	41.3
78 (2066)	81,714	7,265	40,590	33,859	8.9	49.7	41.4
79 (2067)	80,617	7,174	39,975	33,468	8.9	49.6	41.5
80 (2068)	79,520	7,086	39,381	33,053	8.9	49.5	41.6
81 (2069)	78,424	7,001	38,796	32,627	8.9	49.5	41.6
82 (2070)	77,334	6,917	38,242	32,174	8.9	49.5	41.6
83 (2071)	76,250	6,835	37,680	31,736	9.0	49.4	41.6
84 (2072)	75,177	6,753	37,105	31,319	9.0	49.4	41.7
85 (2073)	74,116	6,670	36,522	30,923	9.0	49.3	41.7
86 (2074)	73,068	6,587	35,964	30,517	9.0	49.2	41.8
87 (2075)	72,035	6,502	35,404	30,129	9.0	49.1	41.8
88 (2076)	71,019	6,417	34,829	29,773	9.0	49.0	41.9
89 (2077)	70,019	6,329	34,283	29,406	9.0	49.0	42.0
90 (2078)	69,036	6,241	33,751	29,044	9.0	48.9	42.1
91 (2079)	68,070	6,151	33,235	28,684	9.0	48.8	42.1
92 (2080)	67,120	6,060	32,740	28,320	9.0	48.8	42.2
93 (2081)	66,187	5,969	32,267	27,951	9.0	48.8	42.2
94 (2082)	65,268	5,876	31,814	27,578	9.0	48.7	42.3
95 (2083)	64,364	5,784	31,379	27,201	9.0	48.8	42.3
96 (2084)	63,474	5,692	30,958	26,823	9.0	48.8	42.3
97 (2085)	62,595	5,601	30,550	26,444	8.9	48.8	42.2
98 (2086)	61,729	5,511	30,152	26,067	8.9	48.8	42.2
99 (2087)	60,874	5,422	29,760	25,692	8.9	48.9	42.2
100 (2088)	60,028	5,335	29,373	25,320	8.9	48.9	42.2
101 (2089)	59,193	5,251	28,989	24,954	8.9	49.0	42.2
102 (2090)	58,367	5,168	28,606	24,593	8.9	49.0	42.1
103 (2091)	57,549	5,088	28,224	24,238	8.8	49.0	42.1
104 (2092)	56,741	5,011	27,841	23,889	8.8	49.1	42.1
105 (2093)	55,940	4,936	27,458	23,546	8.8	49.1	42.1
106 (2094)	55,148	4,864	27,074	23,210	8.8	49.1	42.1
107 (2095)	54,364	4,794	26,691	22,879	8.8	49.1	42.1
108 (2096)	53,589	4,727	26,309	22,553	8.8	49.1	42.1
109 (2097)	52,822	4,662	25,927	22,233	8.8	49.1	42.1
110 (2098)	52,064	4,599	25,547	21,917	8.8	49.1	42.1
111 (2099)	51,315	4,538	25,170	21,607	8.8	49.0	42.1
112 (2100)	50,575	4,479	24,795	21,302	8.9	49.0	42.1
113 (2101)	49,844	4,420	24,423	21,001	8.9	49.0	42.1
114 (2102)	49,123	4,363	24,055	20,706	8.9	49.0	42.2
115 (2103)	48,412	4,306	23,691	20,415	8.9	48.9	42.2
116 (2104)	47,710	4,249	23,332	20,128	8.9	48.9	42.2
117 (2105)	47,018	4,193	22,979	19,846	8.9	48.9	42.2
118 (2106)	46,337	4,137	22,632	19,568	8.9	48.8	42.2
119 (2107)	45,666	4,081	22,292	19,293	8.9	48.8	42.2
120 (2108)	45,005	4,025	21,958	19,022	8.9	48.8	42.3
121 (2109)	44,354	3,969	21,632	18,754	8.9	48.8	42.3
122 (2110)	43,714	3,912	21,313	18,489	8.9	48.8	42.3

各年10月1日現在人口。

参考表6 総人口：出生中位・高位・低位(死亡中位・高位・低位)各推計値

(1,000人)

年次	死亡中位仮定			死亡高位仮定			死亡低位仮定		
	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位	出生中位	出生高位	出生低位
平成 73 (2061)	85,680	93,738	78,766	84,252	92,302	77,346	87,105	95,171	80,185
74 (2062)	84,611	92,863	77,550	83,174	91,416	76,121	86,047	94,307	78,979
75 (2063)	83,533	91,976	76,326	82,088	90,522	74,890	84,977	93,429	77,763
76 (2064)	82,446	91,081	75,095	80,997	89,621	73,655	83,897	92,540	76,538
77 (2065)	81,355	90,179	73,860	79,904	88,717	72,418	82,808	91,642	75,305
78 (2066)	80,260	89,274	72,623	78,810	87,813	71,182	81,714	90,738	74,069
79 (2067)	79,165	88,368	71,386	77,719	86,911	69,950	80,617	89,831	72,829
80 (2068)	78,072	87,466	70,152	76,633	86,014	68,724	79,520	88,924	71,590
81 (2069)	76,984	86,568	68,925	75,555	85,126	67,507	78,424	88,020	70,354
82 (2070)	75,904	85,679	67,705	74,487	84,249	66,300	77,334	87,121	69,124
83 (2071)	74,834	84,801	66,496	73,432	83,384	65,106	76,250	86,230	67,901
84 (2072)	73,776	83,936	65,300	72,390	82,535	63,927	75,177	85,351	66,689
85 (2073)	72,731	83,086	64,118	71,364	81,702	62,764	74,116	84,485	65,489
86 (2074)	71,702	82,252	62,952	70,354	80,887	61,618	73,068	83,633	64,304
87 (2075)	70,689	81,436	61,802	69,360	80,089	60,489	72,035	82,798	63,134
88 (2076)	69,693	80,637	60,671	68,384	79,310	59,379	71,019	81,980	61,982
89 (2077)	68,714	79,856	59,557	67,425	78,548	58,286	70,019	81,179	60,846
90 (2078)	67,751	79,093	58,461	66,483	77,804	57,211	69,036	80,397	59,729
91 (2079)	66,805	78,346	57,383	65,557	77,075	56,153	68,070	79,631	58,630
92 (2080)	65,875	77,616	56,321	64,645	76,362	55,112	67,120	78,882	57,548
93 (2081)	64,960	76,900	55,277	63,748	75,662	54,086	66,187	78,149	56,483
94 (2082)	64,060	76,197	54,248	62,864	74,975	53,075	65,268	77,430	55,435
95 (2083)	63,173	75,507	53,234	61,993	74,300	52,078	64,364	76,725	54,404
96 (2084)	62,298	74,829	52,234	61,133	73,634	51,095	63,474	76,031	53,387
97 (2085)	61,434	74,160	51,249	60,284	72,977	50,125	62,595	75,349	52,385
98 (2086)	60,582	73,499	50,276	59,444	72,329	49,167	61,729	74,676	51,397
99 (2087)	59,740	72,847	49,316	58,615	71,687	48,222	60,874	74,013	50,422
100 (2088)	58,907	72,202	48,368	57,794	71,051	47,288	60,028	73,357	49,460
101 (2089)	58,084	71,563	47,433	56,982	70,421	46,366	59,193	72,708	48,510
102 (2090)	57,269	70,929	46,509	56,179	69,797	45,455	58,367	72,065	47,572
103 (2091)	56,463	70,301	45,596	55,384	69,177	44,556	57,549	71,428	46,646
104 (2092)	55,665	69,677	44,696	54,597	68,562	43,669	56,741	70,796	45,733
105 (2093)	54,876	69,059	43,807	53,818	67,951	42,794	55,940	70,169	44,830
106 (2094)	54,095	68,444	42,930	53,048	67,344	41,931	55,148	69,547	43,940
107 (2095)	53,322	67,834	42,066	52,287	66,742	41,082	54,364	68,929	43,062
108 (2096)	52,558	67,229	41,215	51,534	66,144	40,245	53,589	68,316	42,196
109 (2097)	51,803	66,628	40,377	50,790	65,550	39,422	52,822	67,707	41,343
110 (2098)	51,056	66,031	39,553	50,055	64,961	38,614	52,064	67,103	40,504
111 (2099)	50,319	65,439	38,742	49,330	64,376	37,820	51,315	66,503	39,678
112 (2100)	49,591	64,851	37,947	48,614	63,796	37,041	50,575	65,908	38,866
113 (2101)	48,873	64,268	37,166	47,909	63,220	36,278	49,844	65,318	38,068
114 (2102)	48,164	63,690	36,401	47,213	62,649	35,530	49,123	64,732	37,286
115 (2103)	47,465	63,116	35,652	46,527	62,082	34,799	48,412	64,150	36,519
116 (2104)	46,777	62,546	34,919	45,852	61,519	34,084	47,710	63,573	35,768
117 (2105)	46,098	61,980	34,202	45,186	60,960	33,386	47,018	63,000	35,033
118 (2106)	45,430	61,419	33,502	44,531	60,406	32,704	46,337	62,432	34,314
119 (2107)	44,772	60,861	32,818	43,886	59,856	32,039	45,666	61,867	33,612
120 (2108)	44,124	60,308	32,152	43,252	59,310	31,390	45,005	61,307	32,927
121 (2109)	43,487	59,759	31,501	42,628	58,768	30,758	44,354	60,750	32,258
122 (2110)	42,860	59,214	30,867	42,014	58,230	30,142	43,714	60,198	31,606

各年10月1日現在人口。

お問い合わせ先：TEL (03)3595-2984 内線 4416・4473  
この資料は、国立社会保障・人口問題研究所のホームページに掲載しています。

<http://www.ipss.go.jp>

# 日本の将来推計人口

(平成24年1月推計)

推計手法と仮定設定に関する説明資料

平成24年1月30日

国立社会保障・人口問題研究所

<http://www.ipss.go.jp/>



# 将来人口推計(平成24年1月推計)の基本枠組みと基準人口

## ◎ 推計の枠組み(コホート要因法)

- ・ 推計期間:2011～2060年(参考推計期間 2061～2110年)
- ・ 対象:外国人を含め、日本に常住する総人口(国勢調査の対象と同一定義)
- ・ 属性分類:男女・年齢(0～104歳各歳、105歳以上一括)

※ 平成22(2010)年までの実績データに基づき推計を行った。  
(ただし震災の影響等評価のため一部その後のデータを参考とした)

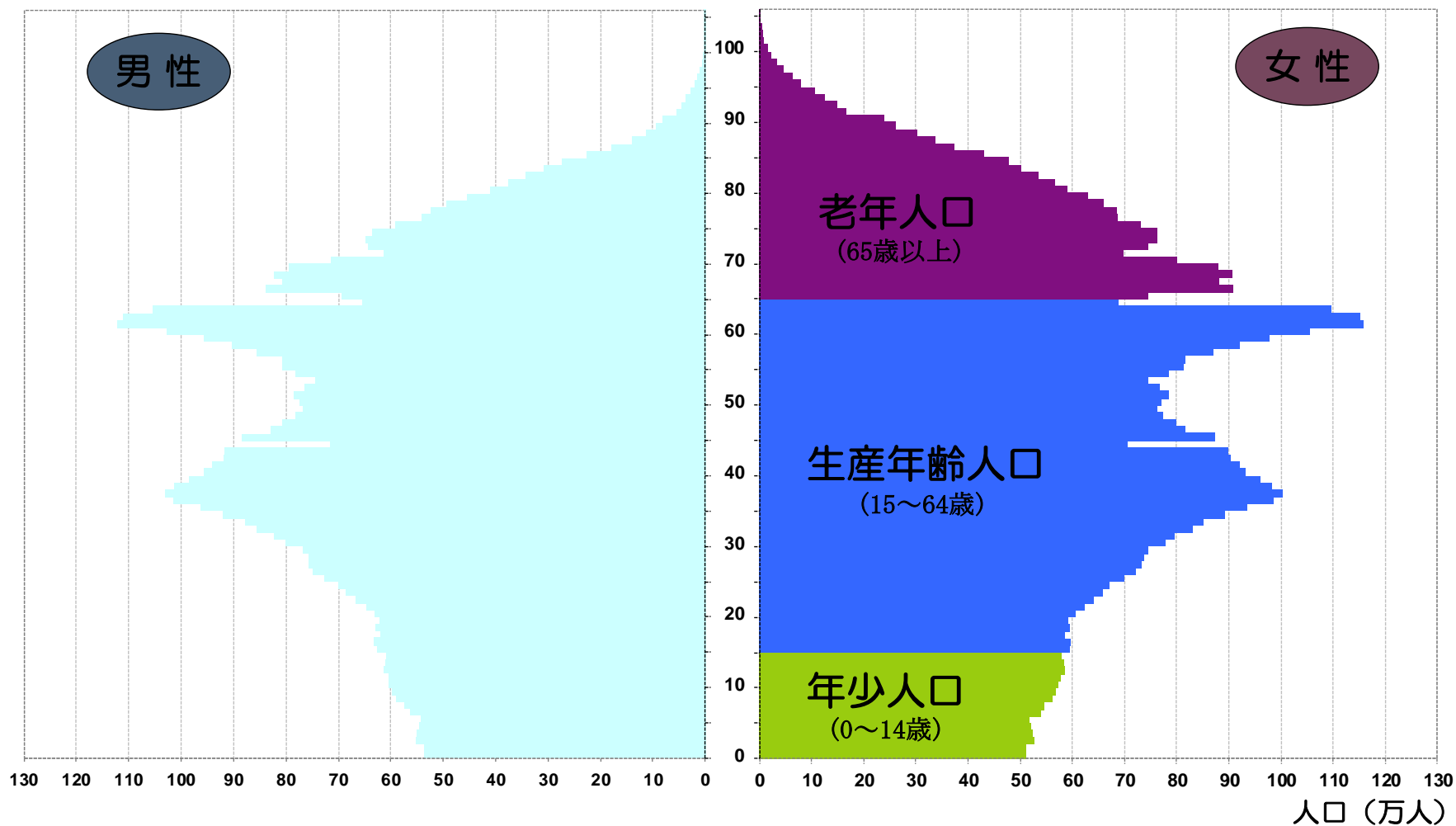
## ◎ 基準人口

- ・ 総務省統計局『平成22年国勢調査による基準人口』による  
平成22(2010)年10月1日現在男女年齢各歳別人口(総人口)

※ 総務省統計局が国勢調査による人口を基準としてその後の人口の推計を行うため、平成22年国勢調査人口(人口等基本集計結果)に含まれる国籍及び年齢不詳人口をあん分して、平成22年国勢調査による基準人口(平成22年10月1日現在)として算出したもの。

# 基準人口の姿

平成22年国勢調査による基準人口 — 平成22(2010)年10月1日現在



# 日本の将来推計人口の仮定値

- (1) 出生の仮定 — 将来各年次における  
国籍(日本人・外国人)・出生順位(1子～4子以上)・  
年齢(各歳)別、出生率、および 出生性比
- (2) 死亡の仮定 — 将来各年次における  
男女・年齢(各歳)別、生命表(生残率)
- (3) 国際人口移動の仮定 — 将来各年次における  
国籍(日本人・外国人)・男女・年齢(各歳)別、  
入国超過数(率)

※ 以上のほか、推計の精密化のために、男女・年齢(各歳)別  
国籍異動率に関する仮定を用いている。

# 将来人口推計(平成24年1月推計)の仮定の概略

## (1) 出生の仮定

今後完結水準に至るコーホートについて、各要素の低下傾向が緩んでいる結果、出生率は平成18年推計の仮定よりやや高く推移する(ただし直近の2011～12年においては、震災による一時的な影響を見込む)。

## (2) 死亡の仮定

将来の平均寿命は平成18年推計同様、速度は緩やかになりつつも今後も改善を続けながら推移する(ただし直近の2011年においては、震災による一時的な影響を見込む)。

## (3) 国際人口移動の仮定

日本人については直近平年の状況が継続して推移する。外国人の移動は過去の動向による長期的な趨勢に従う(ただし直近の2011～12年においては、世界同時不況および震災による一時的な影響を見込む)。

# 出生の仮定

## ◎ 出生仮定値設定コーホートの種類

- 参照コーホート：1995年生まれ
- 最終コーホート：2010年生まれ

※ 仮定値は最終コーホートまで変化が進行

## ◎ 総人口、日本人人口別、出生率の把握

- 総人口(外国人含む)の出生率の投影

※ 外国人の出生年齢パターンを把握し、日本人の出生率との関係を保つように投影を行う。

## ◎ 出生モデル — 経験補正型 一般化対数ガンマモデル

## ◎ 参照コーホートに対し、要因別投影で出生仮定値を設定

# 参照コーホートの出生仮定設定の考え方

コーホートの合計特殊出生率は、以下のような変動要素によって構成される。将来推計に際しては、各要素の実績値推移の投影を行い、参照コーホートの各要素の値を求めることによって、そのコーホート合計特殊出生率を求め、長期仮定として設定する。

コーホート合計特殊出生率

$$\begin{aligned} &= (1 - \text{生涯未婚率}) \times \text{結婚する女性の割合} \\ &\times \text{期待夫婦完結出生児数} \\ &\times \text{結婚出生力変動係数} \\ &\times \text{離死別再婚効果係数} \end{aligned}$$

夫婦の最終的な平均出生子ども数

平均初婚年齢

離死別、再婚の影響度

↑  
国勢調査

↑  
人口動態統計

↑  
出生動向基本調査

# 出生の仮定に関する考え方

要因 (指標)		実績値	現状からみた傾向	平成24年推計 中位仮定値	(参考) 平成24年推計 中位仮定値	平成18年推計 中位仮定値
コホート合計特殊出生率 (日本人女性出生率)		(1960年生) 1.81	参照コホート =1995年生まれ	(1995年生) 1.30	(1990年生) 1.30	(1990年生) 1.20
(人口動態統計定義)		1.83		1.34	1.34	1.24
結婚 (女性)	結婚年齢 (平均初婚年齢)	25.7歳 (1960年生) 人口動態統計 (届出遅れ補整値)		上昇傾向が続く	28.2歳 (1995年生)	28.2歳 (1990年生)
	生涯未婚 (生涯未婚率)	9.4% (1960年生) 人口動態統計 (届出遅れ補整値)	平均初婚年齢の上昇にともなう構造的な生涯未婚の増加に加え、選択的な生涯未婚傾向も <u>緩やかに進む</u> <sup>(1)</sup>	20.1% (1995年生)	20.0% (1990年生)	23.5% (1990年生)
夫婦完結出生力	晩婚化の影響 (初婚年齢別完結出生児数)	2.07人 (1960年生推定) 出生動向基本調査	平均初婚年齢の上昇にともない夫婦完結出生児数は以前より速いペースで減少する <sup>(2)</sup>	1.74人 (1995年生)	1.74人 (1990年生)	1.70人 (1990年生)
	晩婚化以外の影響 (結婚出生力変動係数)	人口動態統計	妻1960年代出生コホートで顕著な低下が進行するが、 <u>70年代以降のコホートでは進行のペースがわずかに緩む</u>			
離死別効果 (離死別再婚効果係数)		0.962 (1960年生) 出生動向基本調査 人口動態・国勢調査	離婚率の上昇傾向は <u>やや緩み</u> 、これによりコホートの平均子ども数は <u>緩やかに低下</u> する	0.938 (1995年生)	0.938 (1990年生)	0.925 (1990年生)
出生性比		105.5 (2006～10年)	直近5年間の平均値で一定	105.5	105.5	105.4

(1) 平均初婚年齢の上昇にともなう構造的な生涯未婚の増加とは、晩婚化に伴って生ずる初婚の逸失によるものであり、晩婚化の想定に伴って算出可能な部分である。一方、選択的な生涯未婚傾向とは、晩婚化とは独立な今後の結婚選択行動の変化に伴って生ずる傾向のことである。

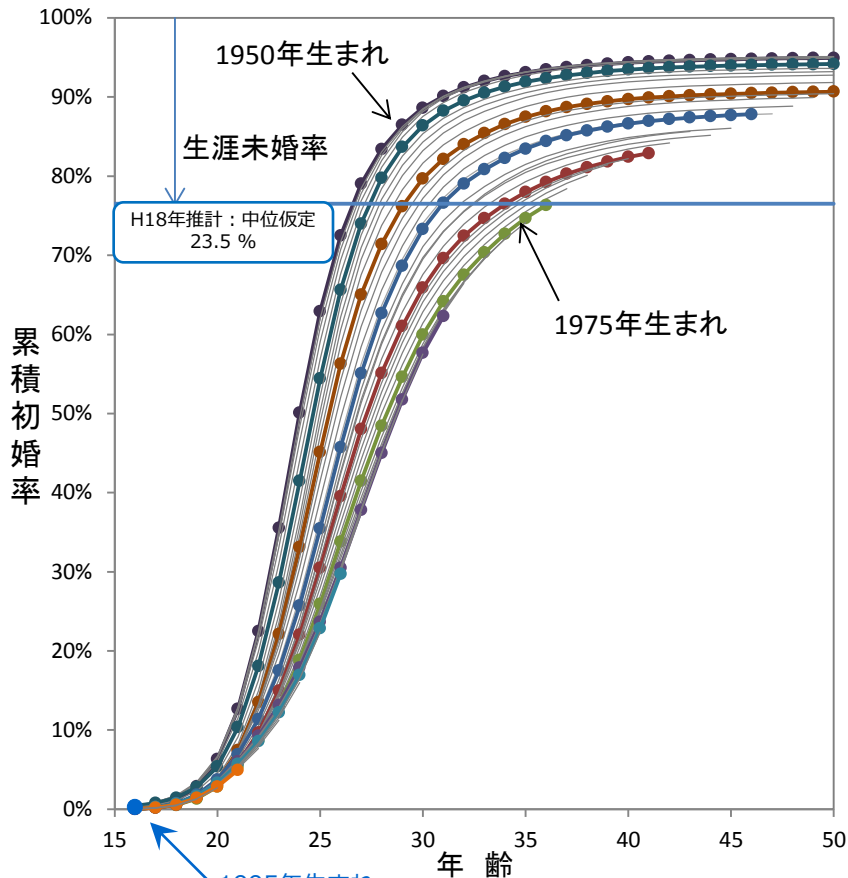
(2) 結婚年齢が高くなるほど夫婦の完結出生児数は加率的に減少するため、結婚年齢の上昇幅が同じであっても、子ども数の減少幅は高い年齢においてより大きくなる傾向がある。

※ 実績値のうち、コホート値は暫定的な推定値である。

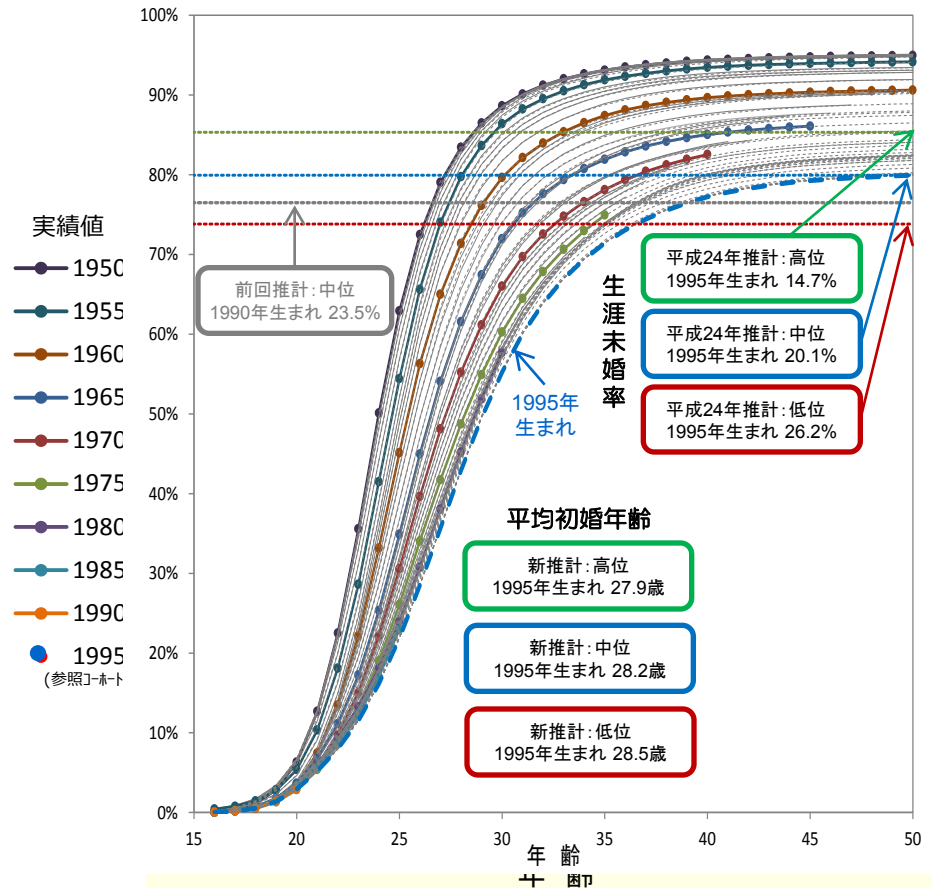
# 女性コーホート累積初婚率の投影

結婚(初婚)に関する変動を表す指標(平均初婚年齢と生涯未婚率)の仮定設定のために、女性コーホートについて年齢別初婚率の測定と、その投影を実施した。測定された年齢別累積初婚率(≒各年齢の既婚率)の実績値を左図に示す。50歳時点の累積初婚率を100%から減じたものが生涯未婚率に相当する。新たな実績値を追加して行った投影(右図)によれば、1970年代前半以降の生まれのコーホートで、年齢別累積初婚率が平成18年推計の仮定より高く(したがって生涯未婚率は低く)推移する。

## 女性コーホート年齢別累積初婚率の実績値



## 女性コーホート年齢別累積初婚率の投影



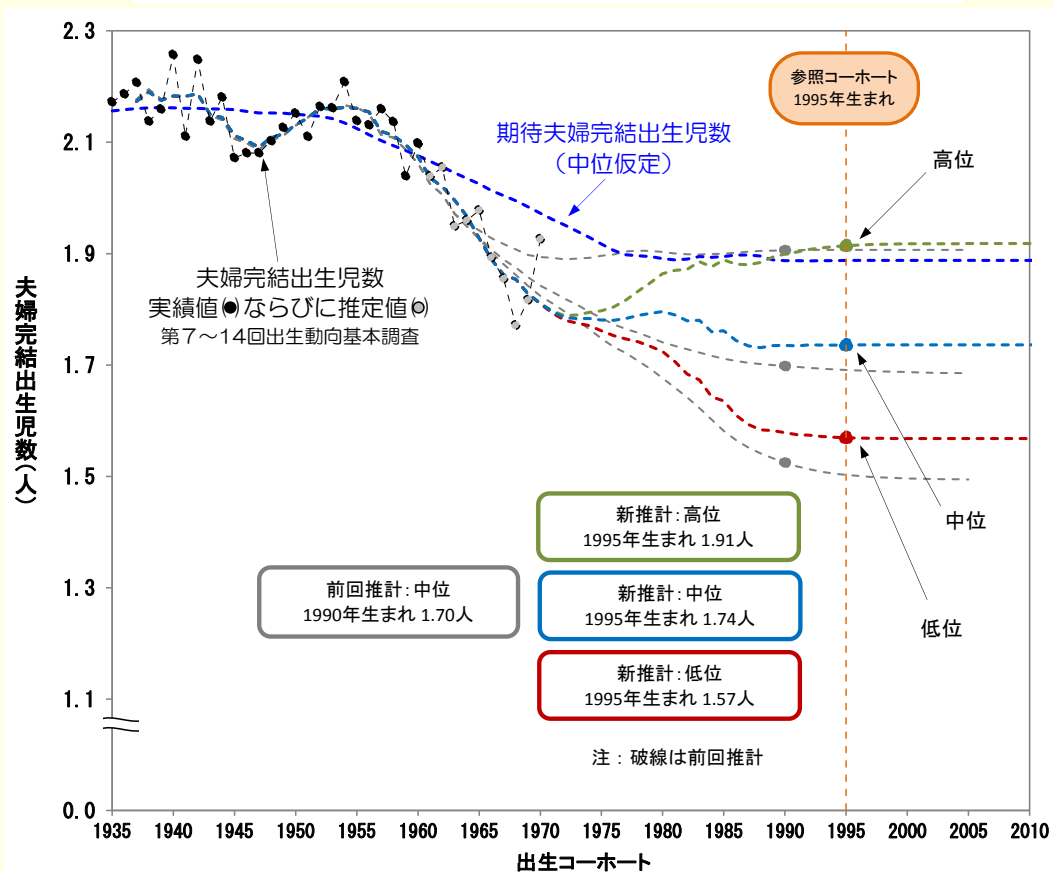
年齢別初婚率は、人口動態統計による年齢別初婚数(届出遅れ補正済)と国勢調査・(現在)推計人口による年齢別女子人口(日本人)より算出。累積初婚率は、年齢別初婚率を年齢にしたがって累積したものの。



# 女性コーホート夫婦完結出生児数の投影

夫婦における妻の初婚年齢別出生確率が安定的であると仮定した場合、夫婦の完結出生児数は妻の初婚年齢分布にのみ依存して変化する。これが期待夫婦完結出生児数であり、女性コーホートの晩婚化の進行にともなって低下することが見込まれる。さらに、1960年代以降に生まれた女性コーホートでは、晩婚化以外の要因(結婚後の夫婦の出生行動変化)によっても夫婦完結出生児数の低下が見られる。こうした傾向を出生過程途上のコーホートのデータも考慮して、その後続く世代に投影した結果によれば、参照コーホート(1995年生まれ)では、1.74を中心、1.57から1.91の範囲となる。

女性コーホート別による夫婦完結出生児数の推移



女性コーホート別にみた夫婦完結出生児数の実績は、「出生動向基本調査」各回による5年移動平均値。

# 離死別再婚効果係数の仮定設定

出生率に対する離婚や死別、再婚の効果は、それらを経験した女性の完結出生児数とそれら配偶関係構造変化の動向により求めた。実績値を投影した結果、出生過程を完結した初婚どうし夫婦の出生水準を基準（1.0）として、離死別・再婚の効果は、1960年生まれコーホートの実績値 0.962 から、参照コーホート(1995年生まれ)の 0.938 まで進む。

結婚経験分類				平均完結出生児数 (第13回、第14回 出生動向基本調査: 45~49歳女性)		初婚どうし 出生児数との比		女性構成比			
								最新実績		参照コーホート	
						1960 年生まれ		1995 年生まれ			
未婚(s)				Cs	0.00	Rs	-	$\gamma$	9.4%	$\gamma$	20.1%
離別(d)				Cd	1.60	Rd	0.77	Pd	12.5%	Pd	15.3%
初婚 夫婦以外	妻再婚	離別後(rd)		Crd	1.71	Rrd	0.82	Prd	7.1%	Prd	8.0%
		死別後(rw)									
	妻初婚×夫再婚(fr)		(その他)	Co	1.89	Ro	0.91	Po	9.4%	Po	9.9%
死別(w)											
初婚どうし夫婦(ff)				Cff	2.08	Rff	1.00	Pff	61.7%	Pff	46.7%
離死別・再婚効果係数 $\delta'$				[(PdRd+PrdRrd+PoRo+Pff)/(1- $\gamma$ )] =				0.946		0.928	
調整係数 $\eta$				標本調査等の誤差を調整				1.02		1.01	
調整済み 離死別・再婚効果係数 $\delta'$				$\delta' \cdot \eta =$				<b>0.962</b>		<b>0.938</b>	

$\gamma$  :生涯未婚率  
 $R_d = C_d / C_{ff}$  など

離死別再婚効果係数( $\delta$ )  $\longrightarrow$

$$\delta = \frac{1}{1 - \gamma} \{ P_d R_d + P_{rd} R_{rd} + P_o R_o + P_{ff} \}$$

コーホート出生力に対する  
 離婚・再婚の効果を示す  
 $\delta=1.0$  は、全夫婦が初婚どうし夫婦  
 と同じ出生力を保つことを示す

## 女性コーホートの各種出生力指標：実績値、および参照コーホート

### 結婚・出生関連指標、およびコーホート合計特殊出生率

仮定の種類	生涯未婚率 (%)	平均初婚年齢 (歳)	夫婦完結 出生児数	結婚出生力		調整済み離死別 再婚効果係数	コーホート 合計特殊出生率 (日本人女性出生率)	コーホート 合計特殊出生率 (人口動態統計定義)
				期待夫婦完結 出生児数	結婚出生力 変動係数			
実績値 (1960年生まれ)	9.4	25.7	2.07	2.08	0.999	0.962	1.808	1.827
中位の仮定 (1995年生まれ)	20.1	28.2	1.74	1.89	0.920	0.938	1.301	1.339
高位の仮定 (1995年生まれ)	14.7	27.9	1.91	1.91	1.000	0.937	1.531	1.576
低位の仮定 (1995年生まれ)	26.2	28.5	1.57	1.86	0.842	0.938	1.087	1.118

### コーホート合計特殊出生率、および出生児数分布

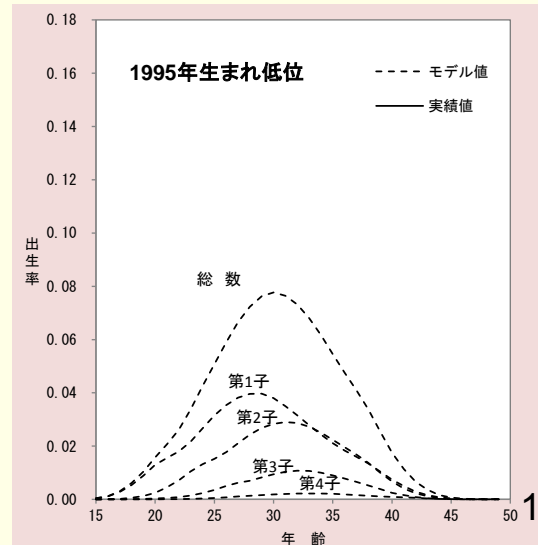
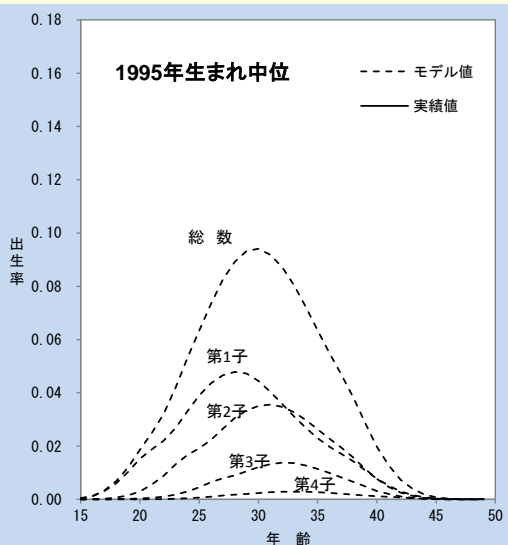
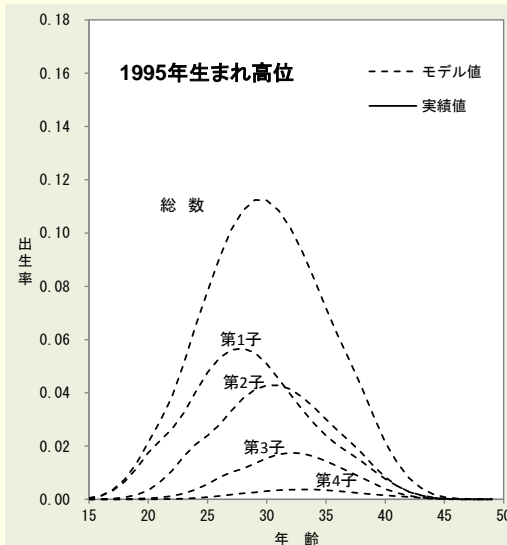
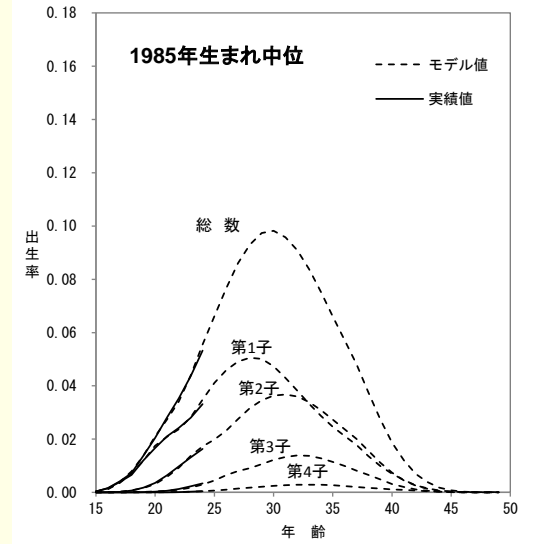
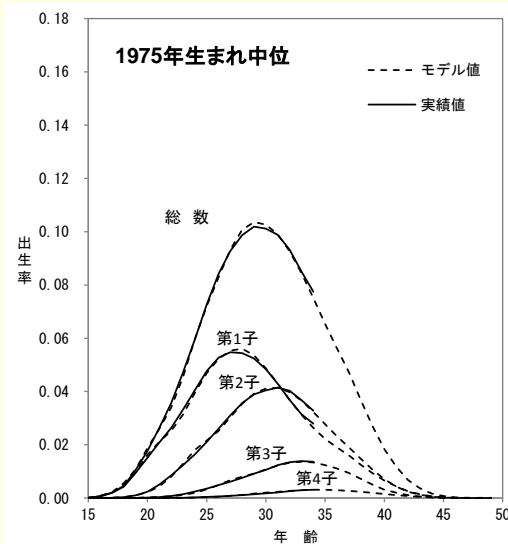
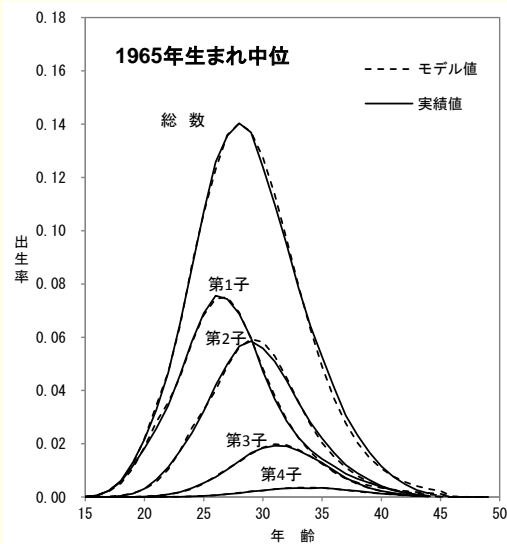
仮定の種類	コーホート 合計出生率	出生児数分布 (%)				
		無子	1人	2人	3人	4人以上
実績値 (1960年生まれ)	1.808	17.5	13.9	43.5	20.4	4.7
中位の仮定 (1995年生まれ)	1.301	35.6	18.2	30.3	12.4	3.5
高位の仮定 (1995年生まれ)	1.531	26.6	18.3	35.0	15.5	4.6
低位の仮定 (1995年生まれ)	1.147	41.2	19.1	26.6	10.2	2.9

※ 参照コーホート = 1995年生まれコーホート



# 実績および推定されたコーホートの出生順位・年齢別出生率

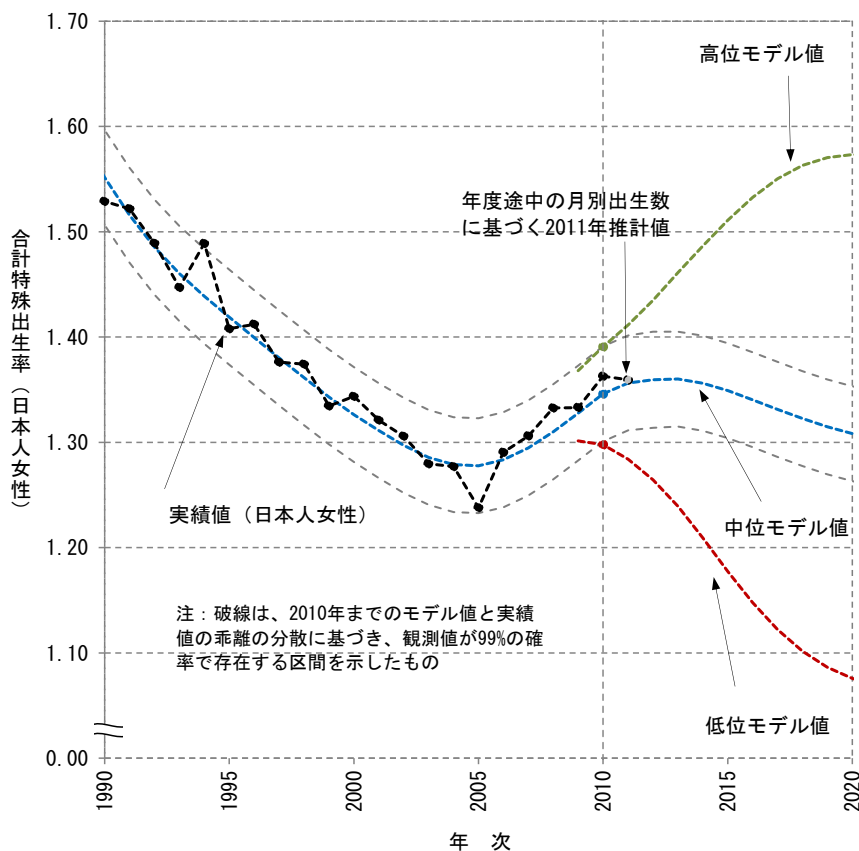
1965年、1975年、1985年生まれ（中位）、および参照コーホート(高位、中位、低位)



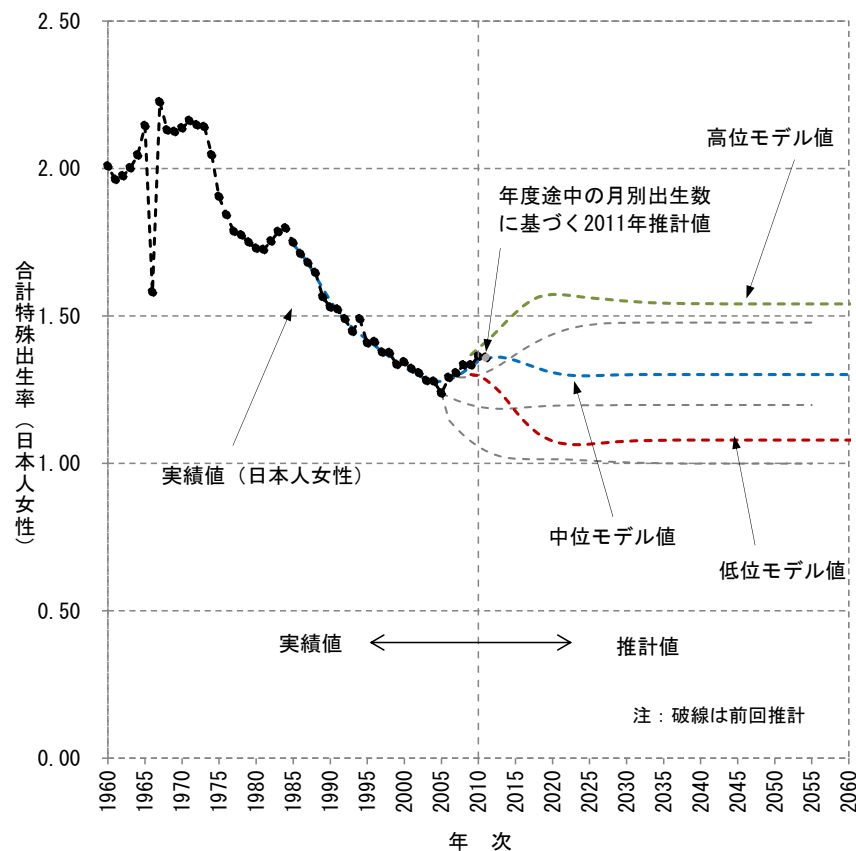
# 年次別合計特殊出生率：高位・低位仮定への期間変動の反映

年々の出生率は、コーホート出生率の推移にともなう変化だけでなく、一時的な変動(期間変動)をも含む。今回の推計における出生仮定設定においては、コーホート出生率の推計だけでなく、こうした期間変動を考慮し、直近の年次について高位仮定、低位仮定に対して実績値から求めた変動幅を反映した。ただし、中・長期的にはコーホート出生率の仮定に回帰する。

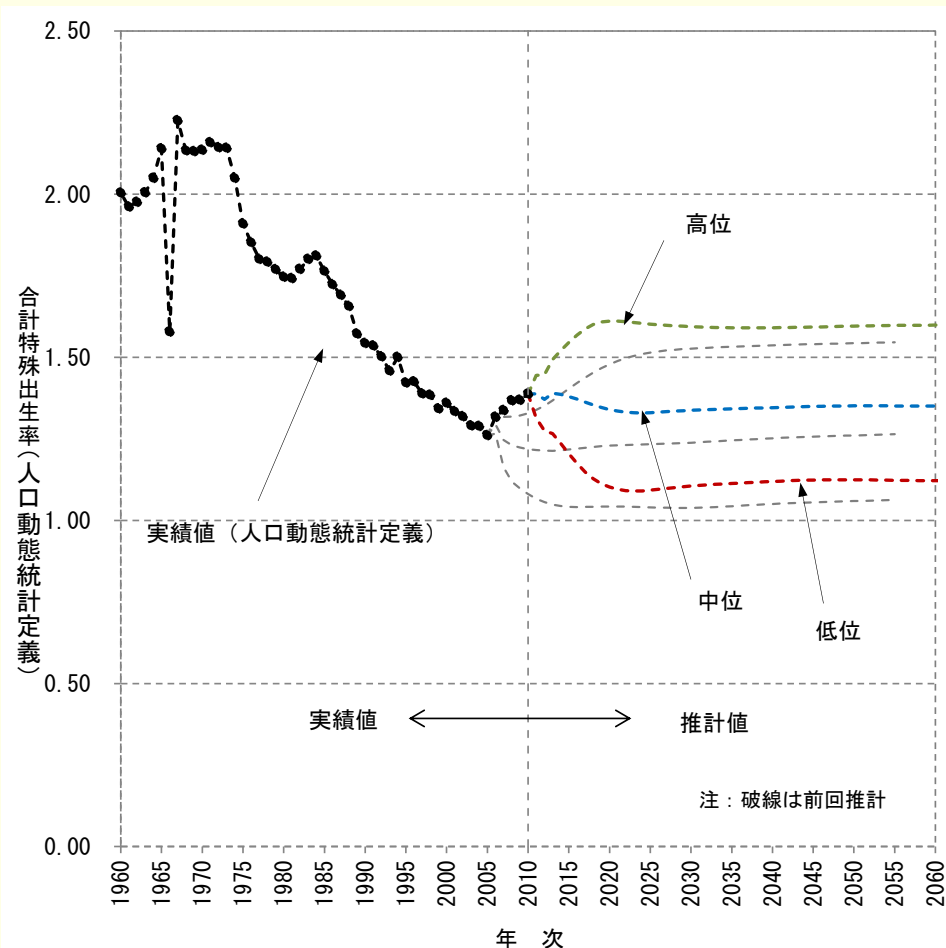
## 期間変動幅の測定と高位・低位仮定への反映



## 期間変動を反映した出生率仮定の推移



# 人口動態統計の定義による合計特殊出生率の推移：実績値と仮定値



## 出生仮定における東日本大震災の影響の取り扱い

平成23(2011)年3月に東日本大震災が発生したことから、平成23(2011)年および平成24(2012)年については、阪神淡路大震災が発生した平成7(1995)年における出生数の変動実績ならびに最近における妊娠届出数等を参考にして別途推計を行い、これを仮定値として用いた。ただし、平成25(2013)年以降は長期的趨勢に回帰する取扱いとした。

# 死亡の仮定設定について

## ◎ 将来生命表の作成

- ・ 将来生命表：男女・年齢（各歳－0-105歳）
- ・ 投影期間：2010年～2060年

※ 総人口に対して日本人人口と同一の生命表を仮定

## ◎ 年齢別死亡率モデル

- ・ 修正リー・カーター・モデル

※ リー・カーター・モデルをベースに、わが国の死亡遅延パターンを反映できるように拡張



## 生命表のリー・カーター・モデル(LCモデル)

リー・カーターによって開発された生命表のリレーショナルモデル(リー・カーター・モデル)は、年齢別死亡率を、標準となる年齢パターン、死亡の一般的水準(死亡指数)、死亡指数の動きに対する年齢別死亡率変化率および誤差項に分解することで、死亡の一般的水準の変化に応じて年齢ごとに異なる変化率を記述するモデルであり、現在国際機関や各国が行う将来推計においては標準的なモデルとして広く用いられている。

$$\ln(m_{x,t}) = a_x + b_x \cdot k_t + \varepsilon_{x,t}$$

$\ln(m_{x,t})$  年次( $t$ )、年齢( $x$ )の死亡率の対数値

$a_x$  標準となる年齢パターン

$k_t$  死亡の一般的水準(死亡指数)

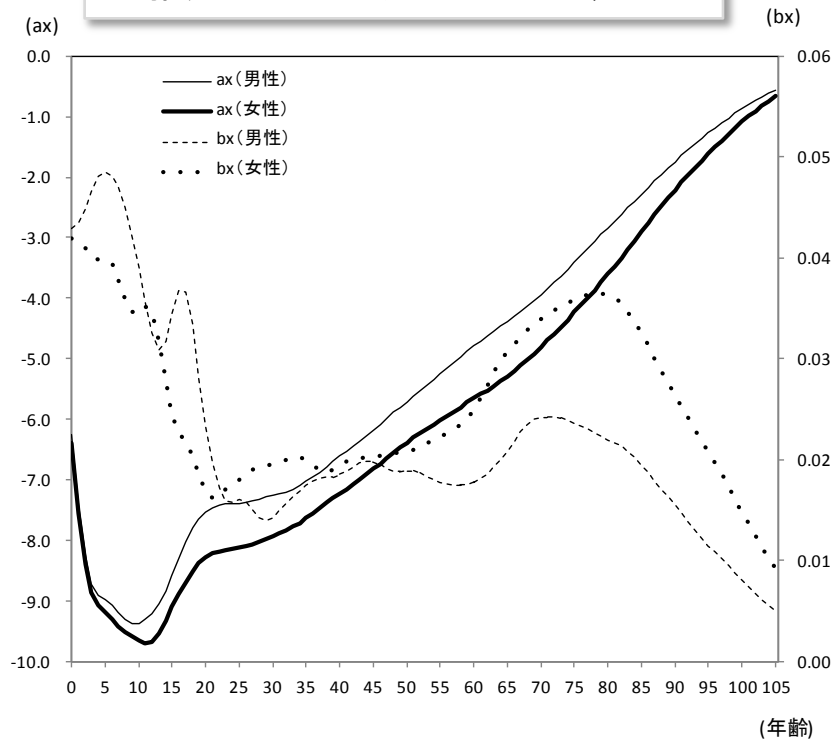
$b_x$  死亡指数の動きに対する年齢別死亡率変化率

$\varepsilon_{x,t}$  誤差項

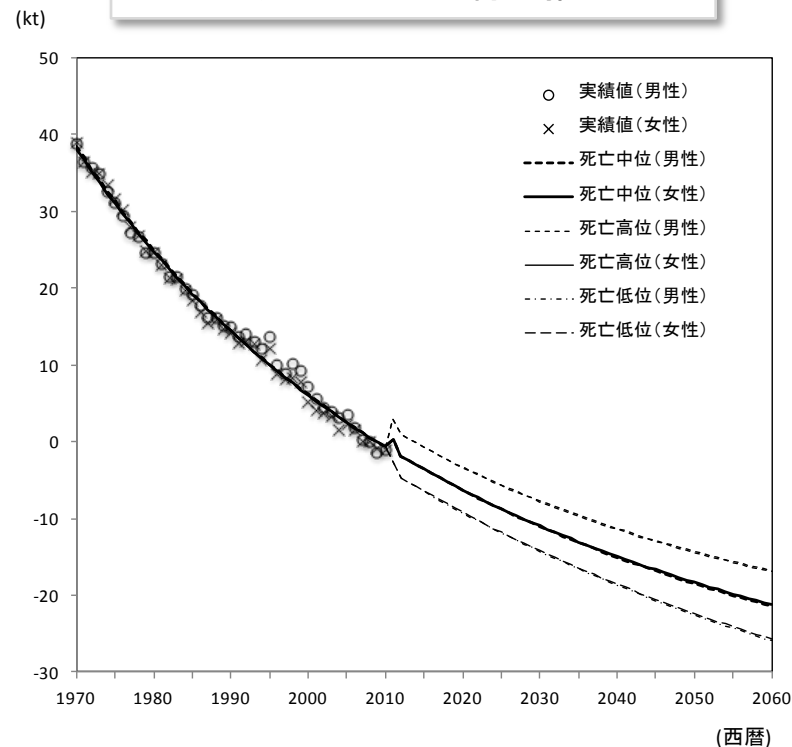
# 生命表のリー・カーター・モデル(LCモデル)

リー・カーター・モデルのパラメータ推定・将来推計結果は以下の通りである。なお、近年の死亡水準の改善が従来の理論の想定を超えた動向を示しつつあることから、前回推計同様、今後の死亡率推移ならびに到達水準については不確実性が高いものと判断し、複数の仮定を与えることによって一定の幅による推計を行うものとした。すなわち、標準となる死亡率推移の死亡指数パラメータの分散をブートストラップ法等により求め、これを用いて死亡指数が確率99%で存在する区間を推定した。

推定されたパラメータ :  $a_x$ ,  $b_x$



パラメータ  $k_t$  の将来推計



# 高齢死亡率の線形差分モデル(LDモデル)

今回の推計では、若年層ではリー・カーター・モデルを用いつつ、高齢層では、死亡率改善を死亡率曲線の高齢側へのシフトとして表現するモデル（線形差分モデル）を組みあわせることにより、死亡率改善の著しいわが国の死亡状況に適合させた。なお、線形差分モデルとは、高齢死亡率曲線の横方向へのシフトの差分を年齢の線形関数として表すモデルである。

$$\tau_{y,t} = f'_t + g'_t x$$

$\tau_{y,t}$  年次( $t$ )、対数死亡率( $y$ )の年齢シフト(差分)

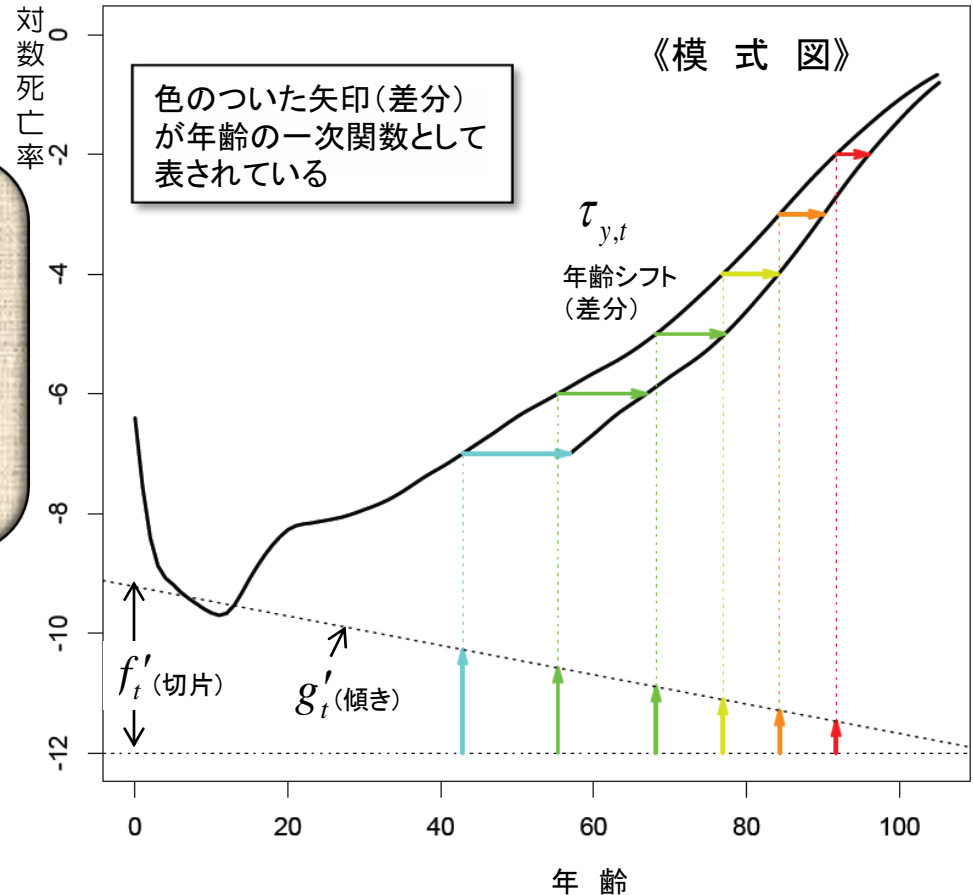
$f'_t$  差分を線形関数で表したときの切片

$g'_t$  差分を線形関数で表したときの傾き

\* 実際のパラメータ推定は、この式を変形して対数死亡率の逆関数を

$$v_{y,t} = f_t + g_t x + a_y$$

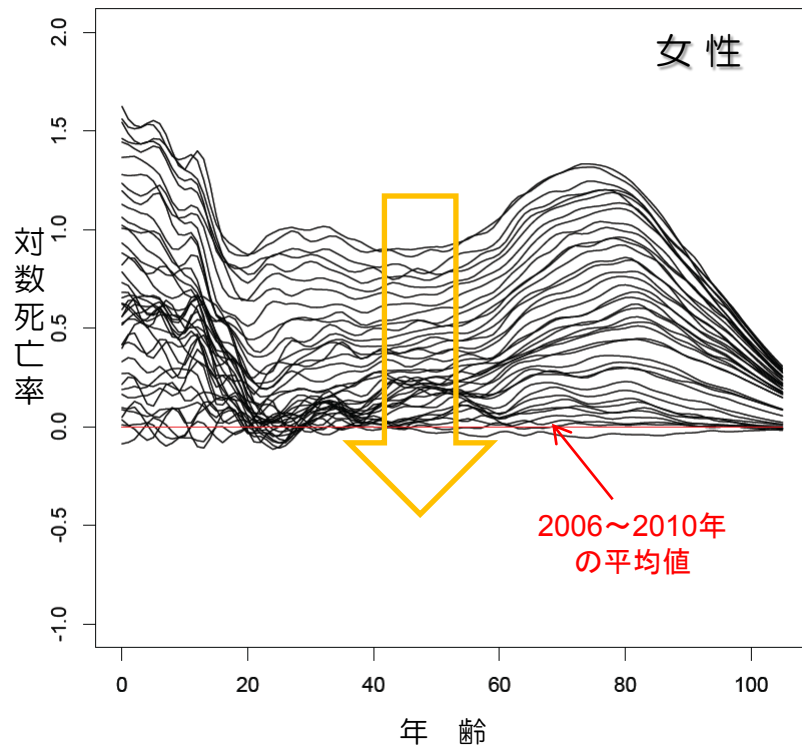
と表して行う。また、将来推計にあたっては、まず、死亡率曲線全体のシフト量 $S_t$ を、対数死亡率を2パラメータロジスティック曲線にあてはめたとした時に変曲点となる点を用いて測定しておき、これと $g_t$ の値を用いて $f_t$ を求めて行っている。



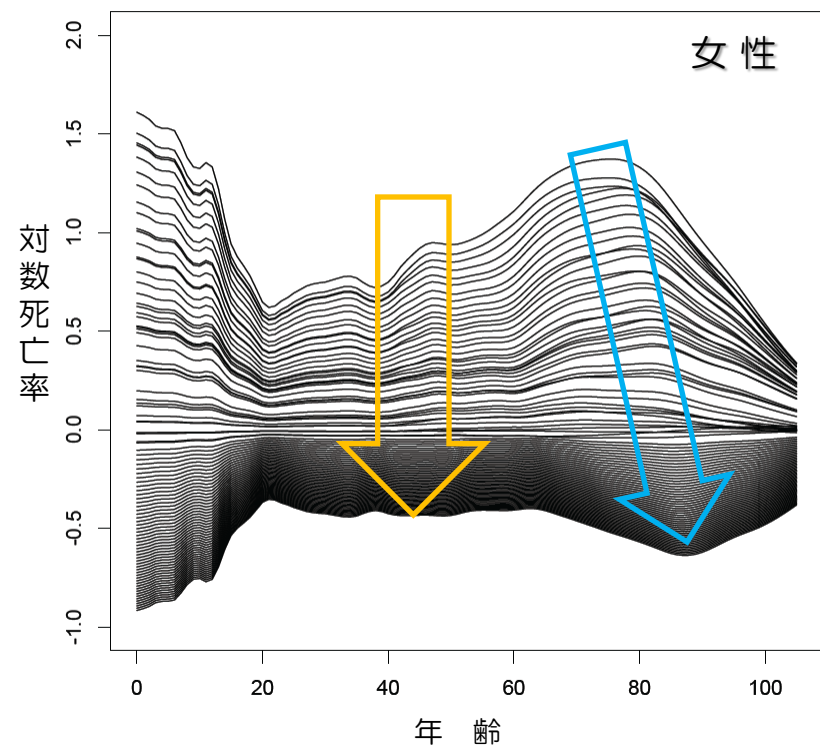
# 死亡率の相対的水準

2006～2010年を基準とした年齢別死亡率の相対的水準の実績値（左図）からは、全体的な死亡水準の低下とともに、高齢層で改善が大きい部分が高齢側にシフトしていく様子が見られる。修正リー・カーター・モデルでは、このような動きと整合的な死亡率の投影が行われる（右図）。

年次別に見た年齢別死亡率の相対的水準の推移：1970～2010年



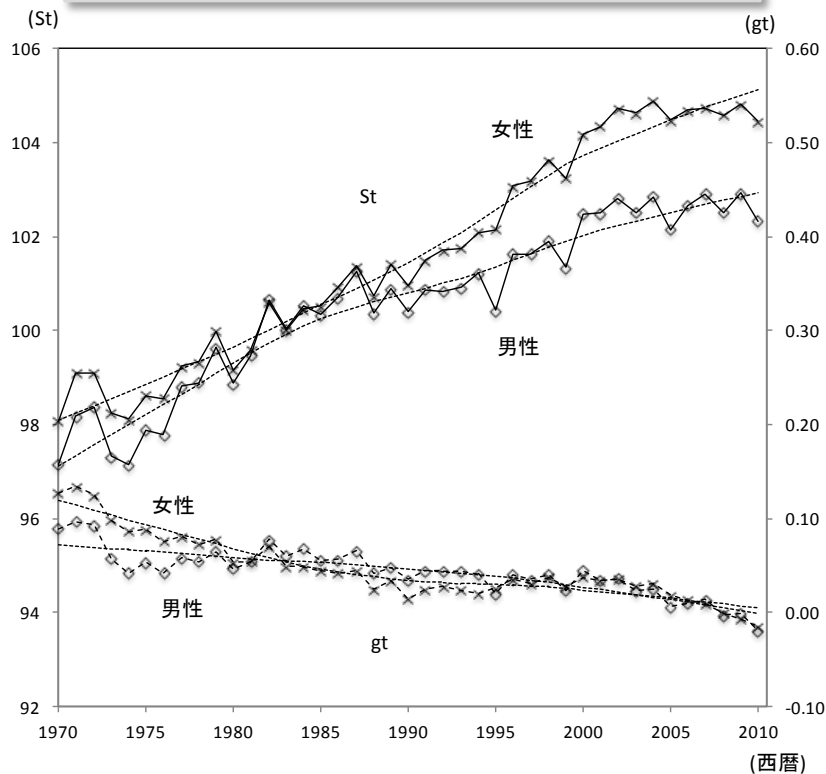
修正リー・カーター・モデルによる相対的水準の投影：1970～2060年



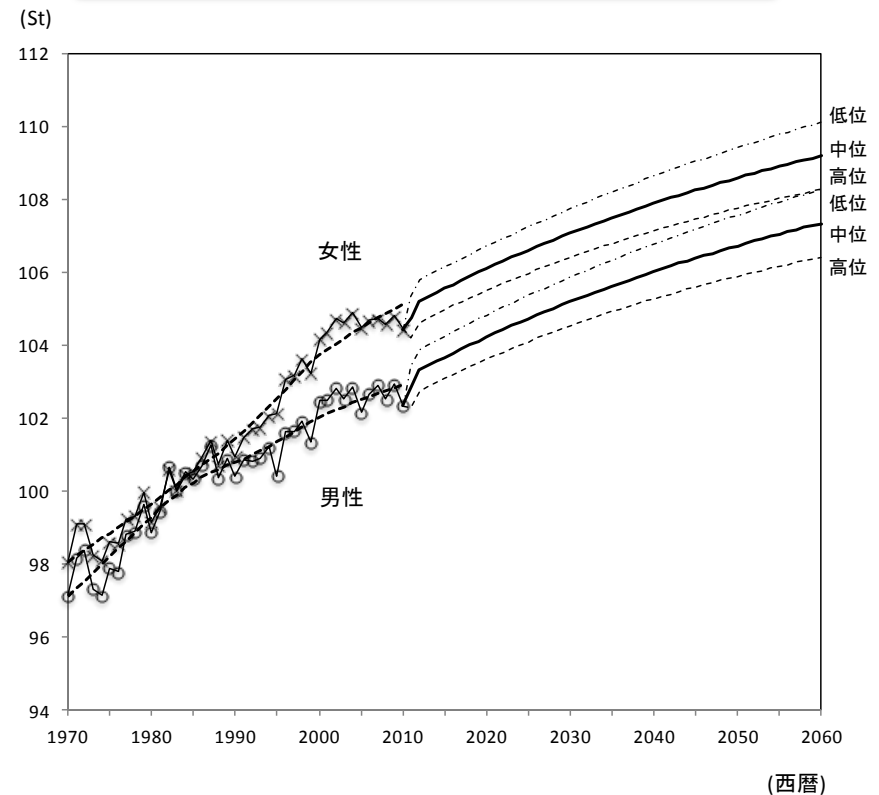
# 高齢死亡率の線形差分モデル(LDモデル)

線形差分モデルのパラメータ推定・将来推計結果は以下の通りである。将来推計にあたっては、死亡率曲線全体のシフト量を示す $St$ については過去15年間の死亡指数に対する変化率を用いて将来推計し、勾配の相対値 $gt$ については直近の平均値（過去5年分）を将来に向けて固定した。

推定されたパラメータ値の推移：  
 $St$ ,  $gt$



パラメータ $St$ の将来推計



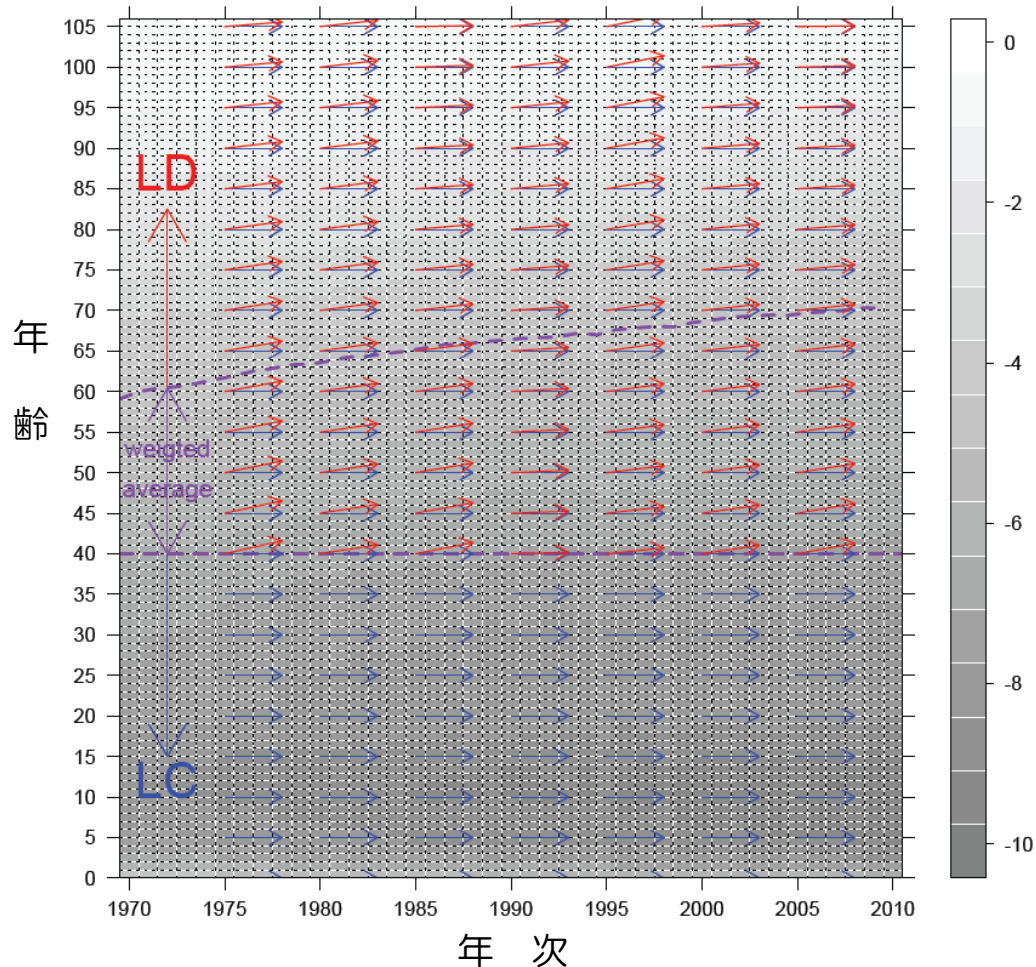
# レキシス平面における対数死亡率曲面の接ベクトル場

今回の推計では、修正リー・カーター・モデルとしてリー・カーター・モデルに線形差分モデルを組み込む観点から、対数死亡率曲面上の接ベクトル場の概念を利用し、「各時点・各年齢での死亡率改善方向の特定」をモデリングの基礎として、死亡率曲線の自由な方向（縦横を含む）への変化を统一的に扱う数理モデルとする手法の洗練を行った。

対数死亡率曲面上の死亡率改善方向をレキシス平面に投影したものを矢印によって示す。

LD:線形差分モデル

LC:リー・カーターモデル



対数死亡率曲面上の接ベクトル場の例

## 死亡・寿命動向の見方と仮定設定の考え方

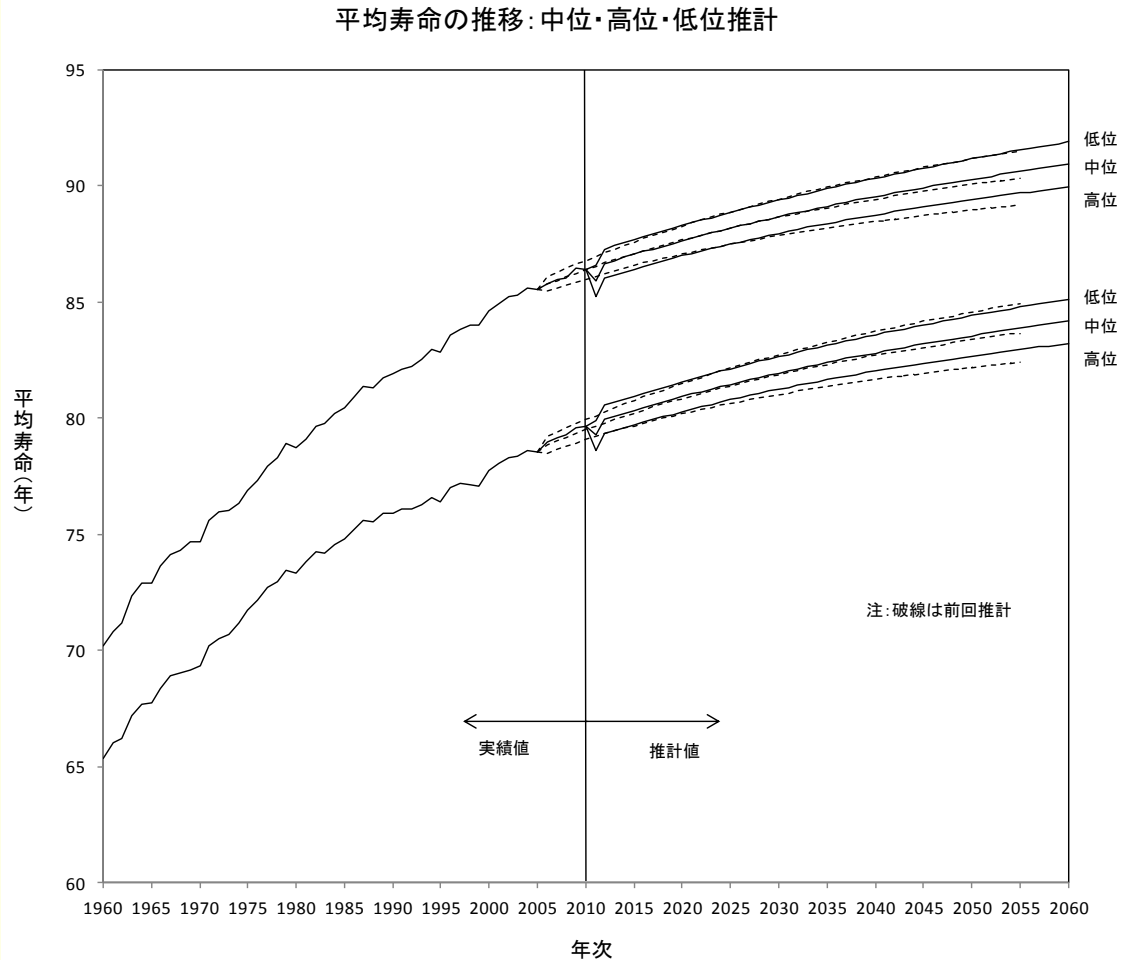
要因	現在の傾向	実績値				今後の傾向	中位推計値	
				1970年	2010年		2060年	
死亡の全体水準	速度は緩やかになりつつも改善が続く	平均寿命	男性	69.31年	79.64年	速度は緩やかになりつつも改善が続く	84.19年	
			女性	74.66年	86.39年		90.93年	
		10年改善率	男性	6.1%	2.5%		0.8%	
			女性	6.4%	2.1%		0.7%	
高齢死亡率改善	高年齢の死亡率が改善(年齢シフトの効果)	75歳平均余命 10年改善率	男性	8.2%	7.7%	高年齢の死亡率改善の傾向が続く	3.1%	
			女性	8.6%	8.4%		2.8%	
		<u>75歳平均余命10年改善率</u>		男性	1.34		3.13	4.09
		平均寿命10年改善率		女性	1.35		3.96	3.92
寿命の男女差	長期的には拡大してきたが直近では横ばいかやや減少	平均寿命の男女差		5.35年	6.75年	横ばい傾向が続く	6.75年	

### 死亡仮定における東日本大震災の影響の取り扱い

- 平成23(2011)年については東日本大震災が発生したことから、人口動態統計の死亡数、及び警察庁、岩手・宮城・福島県警察による被害状況データを用い、震災の影響を織り込んだ生命表を別途算定して仮定した。ただし、2012年以降は長期的趨勢に回帰する取扱いとした。

# 平均寿命の推移：実績値と仮定値

男女の平均寿命は、東日本大震災の影響を受ける平成23(2011)年を除いて、推計期間を通して一貫して上昇し、平成72(2060)年には、中位仮定では男性84.19年、女性90.93年、高位では男性83.22年、女性89.96年、低位では男性85.14年、女性91.90年となる。





# 国際人口移動の仮定

## ◎ 日本人の国際人口移動

- ・ 近年の平均的※ 男女・年齢(各歳)別入国超過率が継続するものとする。

※ 2004年～2009年(前年10月→当該年9月)の間の男女年齢別入国超過率の平均値(年齢ごとに最大値、最小値を除いた平均値)を平滑化

- ・ 東日本大震災による日本人の国際人口移動への影響(年単位)は、明瞭な変動が見られないことから、将来推計においてはその効果を見込まない。

## ◎ 外国人の国際人口移動

- ・ 過去の入国超過数の動向による長期的な趨勢に従う。

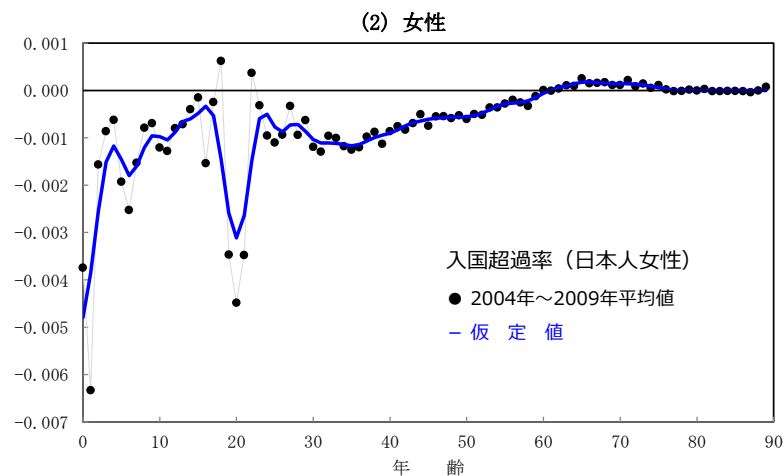
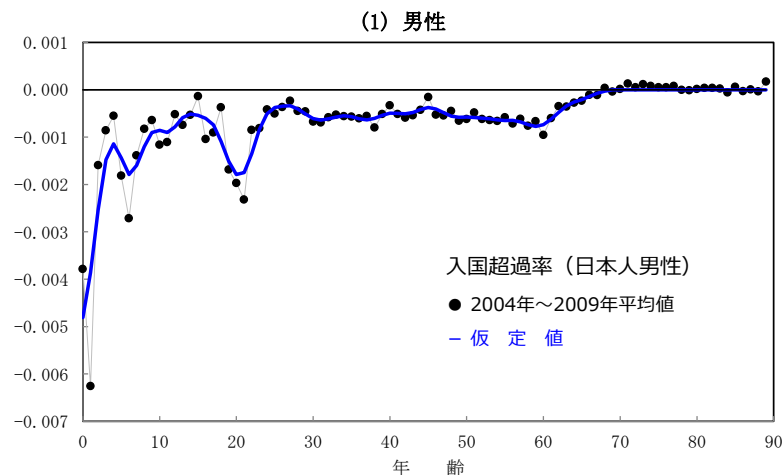
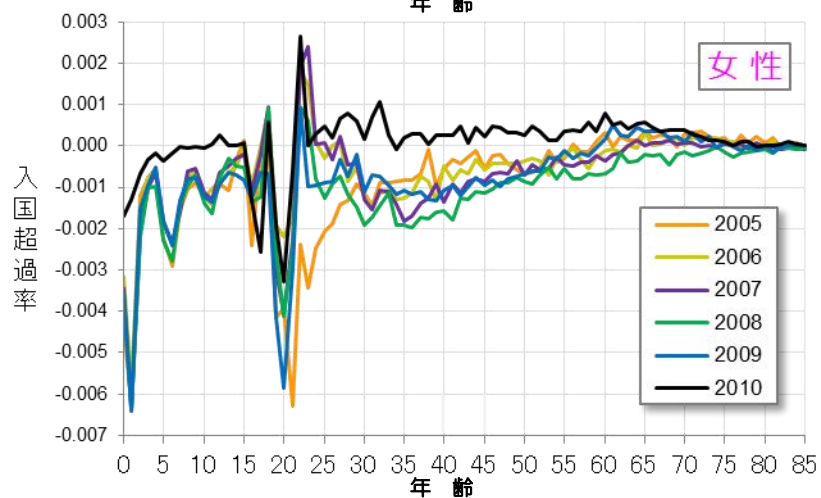
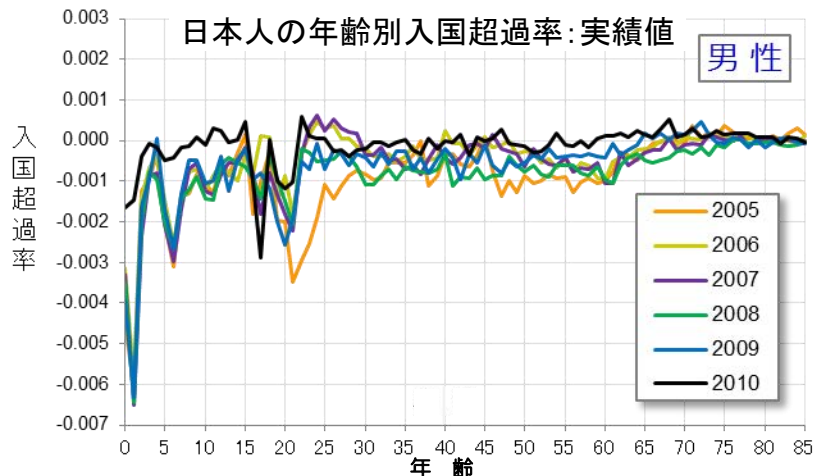
※ 男女合計について投影を行い、過去の男女構成、年齢別分布を用いて、男女・年齢(各歳)別入国超過数を定める。ただし、2030年以降は2030年男女・年齢(各歳)別入国超過率が一定で続くと仮定。

- ・ 直近においては、世界同時不況(リーマンショック)ならびに東日本大震災(2011年3月以降)の影響による変動を考慮し、短期的に出国超過の効果を見込む。

※ 世界同時不況は主に2009年以降、東日本大震災は2011年3月以降の月別変動を参考に、2012年までの仮定値に反映。

# 国際人口移動の仮定設定：日本人

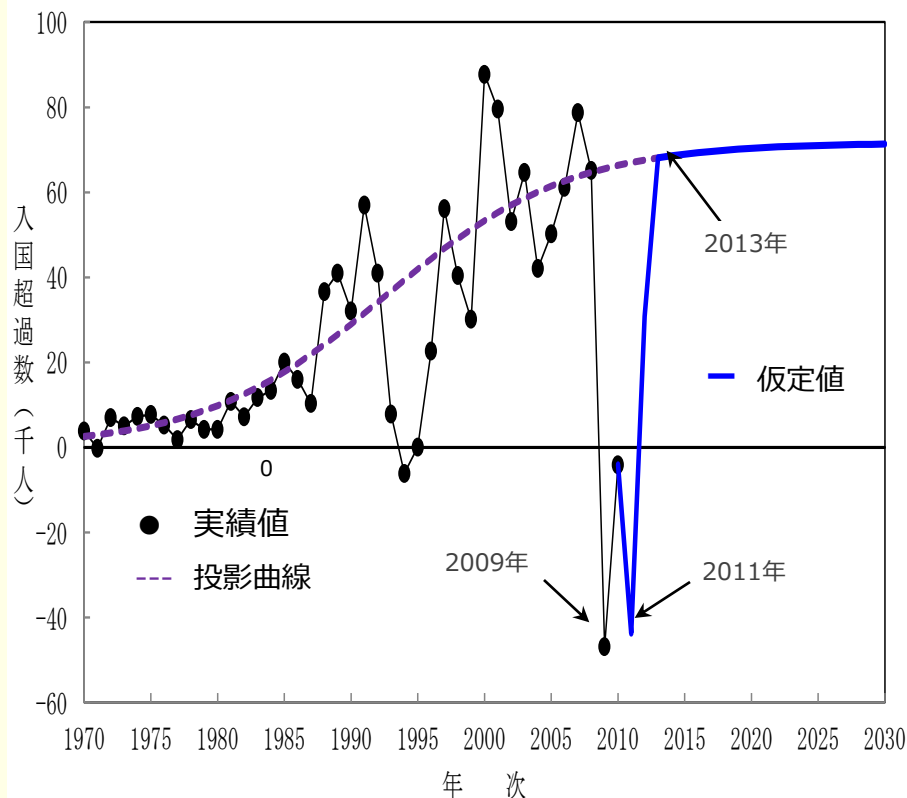
日本人の国際人口移動の実績をみると、概ね出国超過の傾向がみられる。また、男女別入国超過率(純移動率)の年齢パターンも比較的安定していることから、平成16(2004)~21(2009)年における日本人の男女年齢別入国超過率の平均値を求め(ただし、年齢ごとに最大値、最小値を除く4か年の値を用いる)、これらから偶然変動を除くための平滑化を行い、平成23(2011)年以降における日本人の入国超過率として仮定した。



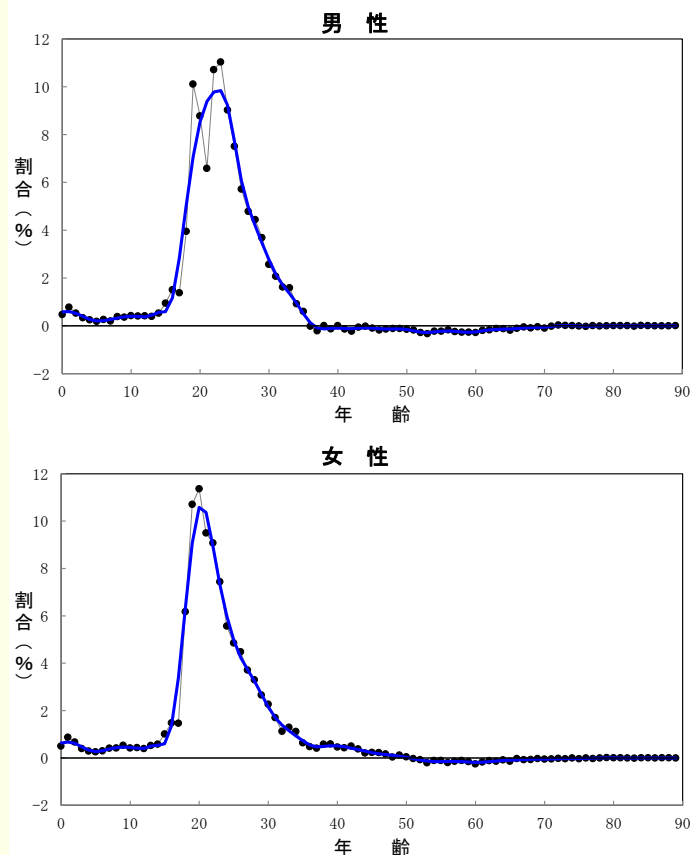
# 国際人口移動の仮定設定：外国人

外国人の国際人口移動については、1985年10月以降2010年9月までの26か年の入国超過数(男女合計)の実績値の内、一時的な事象による変動を示す年次を除いた後、趨勢を将来に投影することによって長期的な仮定を設定した(男女の内訳については実績に基づき一定値とした)。ただし、直近においては、世界同時不況(リーマンショック)ならびに東日本大震災(2011年3月以降)の影響による変動を考慮し、短期的に出国超過の効果を見込んだ上で、長期的趨勢に復帰するものとした

## 外国人入国超過数の推移：実績値と仮定値



## 外国人入国超過年齢割合：実績値と仮定値



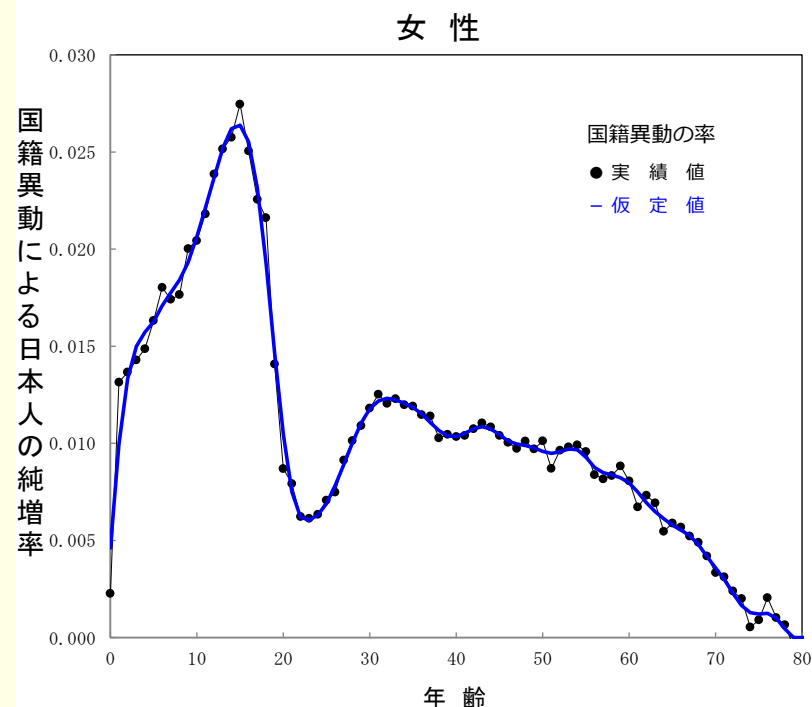
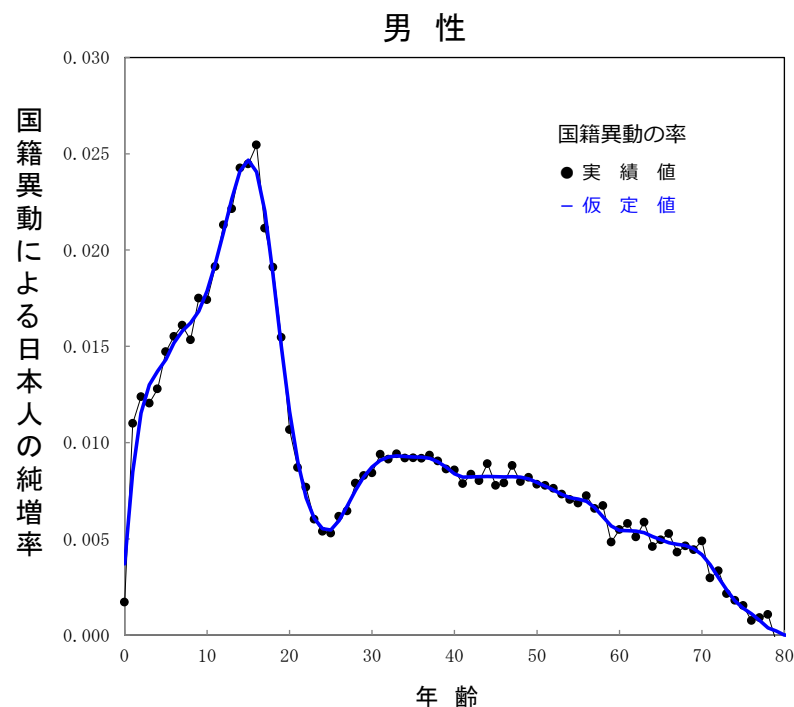
外国人入国超過のうち男性の割合：47.3%

# 国籍異動の仮定設定：日本人 ↔ 外国人

本推計では出生ならびに国際人口移動の仮定において日本人と外国人を別に扱うことにより精密な総人口の推計を行うこととしているが、このために国籍異動を考慮している。国内の外国人人口を分母とした男女年齢別国籍異動による日本人の純増率について2004年～2010年(前年10月→当該年9月)の7年次の平均値を平滑化し、これを国籍異動の仮定値とした。

## 男女・年齢別 国籍異動の率：実績値と仮定値

国籍異動による日本人の純増率 = (日本国籍取得者数 - 同離脱者数) / 外国人人口



※ 日本人とは日本国籍をもつ者。実績値：2004年～2010年(前年10月→当該年9月)の平均値。年間純異動数平均15,487人